

飯田市議会要覧

平成 26 年 9 月

飯田市議会事務局

飯田市市民憲章

わたくしたちの飯田市は、美しい自然に恵まれ、長い歴史と尊い伝統文化につつまれた人情豊かなまちとして知られ、伊那谷の中心都市として躍進しています。

わたくしたちは、このまちの市民としての誇りをもち、明るく健康で豊かな市民生活を築くために、全市民のねがいをこめてこの憲章をかかげ、たがいにはげましあい、手を取りあって進みます。

わたくしたちは

- 1 自然を大切にし、美しい環境の飯田市をつくります。
- 2 心身をきたえ、健康で明るい飯田市をつくります。
- 3 伝統を生かし、文化の香り高い飯田市をつくります。
- 4 善意を広め、思いやりの心で幸せな飯田市をつくります。
- 5 楽しく働き、豊かな産業の飯田市をつくります。

(昭和52年6月21日 制定)

目次

I 沿革

| | |
|----------------------|----|
| 1 沿革 | 3 |
| 2 人口と世帯の推移 | 5 |
| 3 市議会議員選挙執行状況 | 6 |
| 4 歴代市議会議員 | |
| (1) 歴代議長 | 7 |
| (2) 歴代副議長 | 8 |
| (3) 歴代総務常任委員会正副委員長 | 9 |
| (4) 歴代社会文教常任委員会正副委員長 | 10 |
| (5) 歴代産業建設常任委員会正副委員長 | 11 |
| (6) 歴代建設環境常任委員会正副委員長 | 12 |
| (7) 歴代議会運営委員会正副委員長 | 13 |
| (8) 歴代監査委員（議会選出） | 14 |
| (9) 歴代事務局長 | 15 |
| (10) 歴代市議会議員 | 16 |

II 市議会の構成

| | |
|-----------------------|----|
| 1 構成 | 22 |
| 2 議員名簿 | 24 |
| 3 正副議長及び各委員会委員名簿 | 25 |
| 4 監査委員及び南信州広域連合議会議員名簿 | 25 |
| 5 議会選出の各種委員等 | 26 |
| 6 各会派及び各会派の代表者氏名 | 27 |

III 1年間の活動

| | |
|----------------------|----|
| 1 市議会の活動状況 | |
| (1) 市議会招集回数 10 か年比較表 | 28 |
| (2) 議会開会状況 | 28 |
| (3) 議会審議状況 | 29 |
| (4) 付議事件及び議決結果一覧表 | 30 |
| (5) 議会において執行した選挙・選任等 | 44 |
| (6) 委員会活動開催状況 | 44 |
| (7) 請願陳情 | 45 |
| (8) 定例会の質問事項 | 47 |
| (9) 本会議等傍聴状況 | 82 |
| 2 報酬・その他 | 83 |
| 3 定期刊行物 | 84 |
| 4 市議会会議録 | 84 |
| 5 議会事務局の事務分掌 | 85 |

参考資料

| | |
|-----------------------------|------|
| ◎ 平成26年度飯田市各会計及び一般会計当初予算の概要 | 資 1 |
| ◎ 飯田市行政組織機構図 | 資 9 |
| ◎ 職員の定数 | 資 11 |
| ◎ 都市宣言 | 資 12 |
| ◎ 市制提携に関する覚書 | 資 16 |
| ◎ 友好都市締結 | 資 16 |
| ◎ 飯田市の主要年表 | 資 17 |
| ◎ 飯田市自治基本条例 | 資 27 |

I 沿革

1-1 飯田市の沿革

飯田市は、長野県の最南端に位置する伊那谷の中心都市である。諏訪湖に源を發し、伊那谷を南下して太平洋に注ぐ天竜川の全長のほぼ中央に位置し、東に南アルプス国立公園、西に中央アルプス県立公園をひかえ、豊かな自然、優れた景観及び四季に富んだ暮らしやすい温暖な気候に恵まれている。伊那盆地の河岸段丘に位置する市街地から南アルプスの山懐に抱かれる遠山郷までにわたる658.73平方キロメートルの市域に104,954人（平成26年4月1日現在）の人口を擁し、地域に根ざした特色ある文化や産業活動が幅広く展開されている。

飯田城の城下町であり、街並みの様相から「小京都」と呼ばれてきたが、昭和22年4月に市街地の3分の2を焼失する大火に見舞われた。以後面目を改め、近年は防火モデル都市、文化都市として注目されている。

近世の太宰春台、近代の菱田春草、河竹繁俊、日夏耿之介等学芸の士の生誕地であり、りんご並木のまち、人形劇のまちとして親しまれ、名勝天龍峡があり、豪快な天竜川下りが楽しめるほか、遠山郷の霜月まつり、各地に伝わる獅子舞など、伝統文化が豊富な地である。

昭和12年4月1日に飯田町と上飯田町が合併して市制を施行、以来、15町村と合併し、今日の飯田市の市域を成している。



「伊那谷の夜明け」とまで言われ、多くの市民が期待していた中央自動車道西宮線は、昭和50年8月23日に中津川一駒ヶ根間が開通し、昭和57年11月10日に全線開通となり、飯田地方と中京圏、首都圏との経済、文化の交流が飛躍的に拡大した。

また、東海地域と飯田を結ぶ三遠南信自動車道においては、平成6年3月29日に矢筈トンネルが、平成20年4月13日には飯田山本IC—天龍峡IC間が開通し、その後も全線開通を目指しての建設が進行している。

さらに、平成39年開業予定のリニア中央新幹線については、平成25年9月にルート及び長野県駅が飯田市上郷飯沼に設置される計画が公表された。三遠南信地域連携ビジョン等ともあいまって、激的に近くなる首都圏と中京圏との連結地域として本市の果たす役割が期待される。

1-2 市議会の沿革

飯田市議会は、昭和31年に1市7か村を廃し、その区域をもって市制を施行したことに伴い、旧市村の議員が引き続き市議会議員（総員149人）として在任、同年10月8日に臨時会が開かれ、初代議長に代田源六郎氏、初代副議長に伊藤清氏が選出された。

市議会議員の定数は、昭和32年3月12日の定例会において「飯田市議会議員の選挙区及び各選挙区における議員の数に関する条例」（小選挙区制）を可決、以後、議員定数の見直しと合併による増員などの変遷を経てきた。

平成19年5月、新しい時代にふさわしい地方議会の在り方を模索する中で、市民にとってわかりやすく開かれた議会を目指し「議会改革検討委員会」を設置した。委員会では、「議員の在り方の変革を目指して」ほか5項目を議論する中、平成21年4月19日執行の議員選挙から定数を29人から23人に削減し、常任委員会の所属についても複数所属とし、一人の議員が二つの常任委員会に所属することとした。平成25年4月21日執行の議員選挙後は委員会活動をさらに充実させるため、議員は一つの常任委員会に所属することとした。

飯田市議会の近年の取組として最も注目されるのは、「飯田市自治基本条例」の制定である（平成19年4月施行）。その端緒は、平成15年5月、政策立案型議会への転換を目指した議会議案検討委員会の設置にある。翌16年5月20日には、市民を委員として「わがまちの“憲法”を考える市民会議」が発足、同会議は条例の制定に向けた研究を行い、同年12月28日にその成果を最終答申書にまとめ、議長に提出した。市議会は翌17年5月に自治基本条例特別委員会を設置し、2度にわたる地区懇談会及び議会によるパブリックコメントの実施を経た後、自治基本条例の案を平成18年9月21日に議会議案として提案し、全会一致で可決した。

この条例の制定を契機に、平成20年度から「議会による行政評価」が、平成21年度から開かれた議会を実現するための「議会報告会」がそれぞれスタートした。平成23年1月から、条例中の「議会の役割」について議会による検証が開始され、平成24年3月には、これまでの検討を踏まえ「議会改革・運営ビジョン」を取りまとめ、常設の機関として「議会改革推進会議」を設置した。議会改革推進会議では、1年をかけ課題として整理した29項目すべてを検討し、平成25年3月に「議会改革・運営ビジョン実現に向けた取組み（まとめ）」として取りまとめた。

その後、平成25年4月には議会報告会を含む広報広聴活動を充実させるため、「広報広聴委員会」を設置している。

なお、飯田市自治基本条例への取組については、平成25年度末までに152団体、1,531人が視察に訪れている。



人形劇フェスタのイメージキャラクター「ぼお」です。太り気味の妖精でリンゴ並木に住んでいるそうです。

2 人口と世帯の推移

(単位：世帯・人・km²)

| 年 月 | 世帯数 | 人口 | 男 | 女 | 面積 |
|---------|--------|---------|--------|--------|--------|
| 昭和31. 9 | 14,627 | 69,235 | | | 199.78 |
| 昭和36. 3 | 16,018 | 69,538 | | | 206.07 |
| 昭和39. 3 | 19,179 | 79,541 | | | 293.03 |
| 昭和54. 4 | 20,870 | 77,860 | 36,794 | 41,066 | 〃 |
| 昭和55. 4 | 21,054 | 78,151 | 36,853 | 41,098 | 〃 |
| 昭和56. 4 | 21,697 | 78,306 | 37,018 | 41,288 | 〃 |
| 昭和57. 4 | 22,114 | 78,693 | 37,368 | 41,325 | 〃 |
| 昭和58. 4 | 21,928 | 78,410 | 37,059 | 41,351 | 〃 |
| 昭和59. 4 | 21,872 | 78,665 | 37,331 | 41,334 | 〃 |
| 昭和60. 4 | 26,458 | 92,132 | 43,776 | 48,356 | 299.23 |
| 昭和61. 4 | 26,469 | 92,096 | 43,709 | 48,387 | 〃 |
| 昭和62. 4 | 26,573 | 92,179 | 43,783 | 48,396 | 〃 |
| 昭和63. 4 | 26,709 | 92,050 | 43,810 | 48,240 | 〃 |
| 平成 1. 4 | 26,824 | 91,846 | 43,778 | 48,068 | 〃 |
| 平成 2. 4 | 27,033 | 91,806 | 43,721 | 48,085 | 298.90 |
| 平成 3. 4 | 27,277 | 91,723 | 43,739 | 47,984 | 〃 |
| 平成 4. 4 | 27,467 | 91,612 | 43,695 | 47,917 | 〃 |
| 平成 5. 4 | 27,732 | 91,684 | 43,819 | 47,865 | 〃 |
| 平成 6. 4 | 32,507 | 106,104 | 50,754 | 55,350 | 325.35 |
| 平成 7. 4 | 32,829 | 106,233 | 50,841 | 55,392 | 〃 |
| 平成 8. 4 | 33,183 | 106,472 | 50,991 | 55,481 | 〃 |
| 平成 9. 4 | 33,577 | 106,495 | 50,971 | 55,524 | 〃 |
| 平成10. 4 | 33,975 | 106,695 | 51,142 | 55,553 | 〃 |
| 平成11. 4 | 34,233 | 106,464 | 51,093 | 55,371 | 〃 |
| 平成12. 4 | 34,519 | 106,479 | 51,135 | 55,344 | 〃 |
| 平成13. 4 | 34,870 | 106,456 | 51,093 | 55,363 | 〃 |
| 平成14. 4 | 35,056 | 106,161 | 50,947 | 55,214 | 〃 |
| 平成15. 4 | 35,382 | 106,078 | 50,893 | 55,185 | 〃 |
| 平成16. 4 | 35,656 | 105,846 | 50,728 | 55,118 | 〃 |
| 平成17. 4 | 35,807 | 105,411 | 50,511 | 54,900 | 〃 |
| 平成18. 4 | 37,190 | 107,593 | 51,640 | 55,953 | 658.76 |
| 平成19. 4 | 37,395 | 106,993 | 51,253 | 55,740 | 〃 |
| 平成20. 4 | 37,787 | 106,770 | 51,138 | 55,632 | 〃 |
| 平成21. 4 | 37,682 | 105,867 | 50,693 | 55,174 | 〃 |
| 平成22. 4 | 37,801 | 105,372 | 50,407 | 54,965 | 658.73 |
| 平成23. 4 | 37,886 | 104,771 | 50,146 | 54,625 | 〃 |
| 平成24. 4 | 38,087 | 104,291 | 49,931 | 54,360 | 〃 |
| 平成25. 4 | 39,040 | 105,750 | 50,445 | 55,305 | 〃 |
| 平成26. 4 | 39,108 | 104,954 | 50,076 | 54,878 | 〃 |

※平成25.4以後は住民基本台帳法の改正により外国人を含む数字

特記事項

- ・昭和31年 9月 : 飯田市、座光寺村、松尾村、竜丘村、三穂村、伊賀良村、山本村及び下久堅村の1市7か村を合併
- ・昭和36年 3月 : 川路村を編入合併
- ・昭和39年 3月 : 上久堅村、千代村及び龍江村を編入合併
- ・昭和59年12月 : 鼎町を編入合併
- ・平成 5年 7月 : 上郷町を編入合併
- ・平成17年10月 : 上村及び南信濃村を編入合併
- ・平成22年 2月 : 天竜村との境界を修正

3 市議会議員選挙執行状況

| | |
|-------------|-----------------------|
| 昭和32年4月28日 | 合併による設置選挙 |
| 昭和35年10月25日 | 飯田地区補欠選挙 |
| 昭和36年4月23日 | 任期満了一般選挙 |
| 昭和39年5月15日 | 龍江・千代・上久堅3か村合併による増員選挙 |
| 昭和39年8月28日 | 伊賀良地区補欠選挙 |
| 昭和39年10月25日 | 飯田地区補欠選挙 |
| 昭和40年4月25日 | 任期満了一般選挙 |
| 昭和43年10月20日 | 補欠選挙 |
| 昭和44年4月20日 | 任期満了一般選挙 |
| 昭和47年10月22日 | 補欠選挙 |
| 昭和48年4月22日 | 任期満了一般選挙 |
| 昭和51年10月17日 | 補欠選挙 |
| 昭和52年4月17日 | 任期満了一般選挙 |
| 昭和55年10月19日 | 補欠選挙 |
| 昭和56年4月19日 | 任期満了一般選挙 |
| 昭和60年4月21日 | 任期満了一般選挙 |
| 昭和63年10月16日 | 補欠選挙 |
| 平成元年4月23日 | 任期満了一般選挙 |
| 平成4年10月18日 | 補欠選挙 |
| 平成5年4月25日 | 任期満了一般選挙 |
| 平成5年8月1日 | 上郷町合併による増員選挙 |
| 平成8年10月20日 | 補欠選挙 |
| 平成9年4月20日 | 任期満了一般選挙 |
| 平成12年10月15日 | 補欠選挙 |
| 平成13年4月22日 | 任期満了一般選挙 |
| 平成16年10月24日 | 補欠選挙 |
| 平成17年4月24日 | 任期満了一般選挙 |
| 平成17年10月30日 | 補欠選挙 |
| 平成21年4月19日 | 任期満了一般選挙 |
| 平成25年4月21日 | 任期満了一般選挙 |

4 歴代市議会議員

(1) 歴代議長

| 代 | 氏 名 | 就任年月日 | 退任年月日 |
|------|-------|-------------|-------------|
| 初 代 | 代田源六郎 | 昭和31. 10. 8 | 昭和32. 4. 27 |
| | | 昭和32. 5. 10 | 昭和36. 4. 27 |
| | | 昭和36. 5. 15 | 昭和40. 4. 27 |
| | | 昭和40. 5. 6 | 昭和41. 5. 13 |
| | | 昭和41. 5. 13 | 昭和42. 5. 11 |
| 2 代 | 辻 虎松 | 昭和42. 5. 11 | 昭和44. 4. 27 |
| 3 代 | 近松 宗一 | 昭和44. 5. 7 | 昭和46. 5. 7 |
| | | 昭和46. 5. 7 | 昭和48. 4. 27 |
| 4 代 | 伊原 悦雄 | 昭和48. 5. 8 | 昭和50. 5. 7 |
| | | 昭和50. 5. 7 | 昭和52. 4. 27 |
| 5 代 | 林 昌平 | 昭和52. 5. 6 | 昭和54. 4. 13 |
| | | 昭和54. 4. 13 | 昭和56. 4. 27 |
| | | 昭和56. 5. 7 | 昭和58. 4. 22 |
| 6 代 | 松嶋 健次 | 昭和58. 4. 22 | 昭和60. 4. 27 |
| | | 昭和60. 5. 10 | 昭和62. 5. 12 |
| 7 代 | 平澤 與一 | 昭和62. 5. 12 | 平成元. 4. 27 |
| 8 代 | 塩澤 昭 | 平成元. 5. 10 | 平成3. 1. 31 |
| 9 代 | 竹村 仁實 | 平成3. 1. 31 | 平成3. 5. 9 |
| 10 代 | 實原 裕 | 平成3. 5. 9 | 平成5. 4. 27 |
| 11 代 | 今村 八束 | 平成5. 5. 13 | 平成7. 5. 12 |
| | | 平成7. 5. 12 | 平成9. 4. 27 |
| 12 代 | 小林 利一 | 平成9. 5. 13 | 平成11. 5. 13 |
| | | 平成11. 5. 13 | 平成13. 4. 27 |
| 13 代 | 西尾 喜好 | 平成13. 5. 15 | 平成15. 5. 14 |
| 14 代 | 岩崎 和男 | 平成15. 5. 14 | 平成17. 4. 27 |
| 15 代 | 熊谷 富夫 | 平成17. 5. 13 | 平成19. 5. 11 |
| 16 代 | 上澤 義一 | 平成19. 5. 11 | 平成21. 4. 27 |
| 17 代 | 中島武津雄 | 平成21. 5. 12 | 平成23. 5. 13 |
| 18 代 | 上澤 義一 | 平成23. 5. 13 | 平成25. 4. 27 |
| 19 代 | 林 幸次 | 平成25. 5. 13 | |

(2) 歴代副議長

| 代 | 氏名 | 就任年月日 | 退任年月日 |
|-----|-------|-------------|--------------|
| 初代 | 伊藤 清 | 昭和31. 10. 8 | 昭和32. 4. 27 |
| 2代 | 片山 均 | 昭和32. 5. 10 | 昭和36. 4. 27 |
| | | 昭和36. 5. 15 | 昭和39. 8. 1 |
| 3代 | 熊谷 一郎 | 昭和39. 9. 15 | 昭和40. 4. 27 |
| | | 昭和40. 5. 6 | 昭和41. 5. 13 |
| 4代 | 小林 新吾 | 昭和41. 5. 13 | 昭和42. 5. 11 |
| 5代 | 市村 保人 | 昭和42. 5. 11 | 昭和44. 4. 27 |
| 6代 | 今村 輝男 | 昭和44. 5. 7 | 昭和46. 5. 7 |
| | | 昭和46. 5. 7 | 昭和48. 4. 27 |
| 7代 | 新井 安男 | 昭和48. 5. 8 | 昭和50. 5. 7 |
| 8代 | 林 昌平 | 昭和50. 5. 7 | 昭和52. 4. 27 |
| 9代 | 松江 良夫 | 昭和52. 5. 6 | 昭和54. 4. 13 |
| 10代 | 片桐 勲 | 昭和54. 4. 13 | 昭和56. 4. 27 |
| 11代 | 松江 良夫 | 昭和56. 5. 7 | 昭和58. 4. 22 |
| 12代 | 平澤 與一 | 昭和58. 4. 22 | 昭和60. 4. 27 |
| | | 昭和60. 5. 10 | 昭和62. 5. 12 |
| 13代 | 細田 直彦 | 昭和62. 5. 12 | 昭和63. 11. 10 |
| 14代 | 関島 一郎 | 昭和63. 12. 2 | 平成元. 4. 27 |
| 15代 | 竹村 仁實 | 平成元. 5. 10 | 平成3. 1. 31 |
| 16代 | 松江 良夫 | 平成3. 1. 31 | 平成3. 5. 9 |
| 17代 | 内山 照美 | 平成3. 5. 9 | 平成5. 4. 27 |
| 18代 | 澤柳辨治郎 | 平成5. 5. 13 | 平成7. 5. 12 |
| 19代 | 松島 年一 | 平成7. 5. 12 | 平成8. 10. 31 |
| | | 平成8. 10. 31 | 平成9. 4. 27 |
| 20代 | 片桐 司郎 | 平成9. 5. 13 | 平成11. 5. 13 |
| | | 平成11. 5. 13 | 平成13. 4. 27 |
| 21代 | 中田 佳甫 | 平成13. 5. 15 | 平成15. 5. 14 |
| 22代 | 牧内 信臣 | 平成15. 5. 14 | 平成17. 4. 27 |
| 23代 | 渡 淳 | 平成17. 5. 13 | 平成19. 5. 11 |
| 24代 | 矢澤 芳文 | 平成19. 5. 11 | 平成21. 4. 27 |
| 25代 | 清水 可晴 | 平成21. 5. 12 | 平成23. 5. 13 |
| 26代 | 村松まり子 | 平成23. 5. 13 | 平成25. 4. 27 |
| 27代 | 木下 克志 | 平成25. 5. 13 | |

(3) 歴代総務常任委員会正副委員長

| 代 | 委員会名 | 委員長名 | 副委員長名 | 就任年月日 | 退任年月日 |
|-----|---------|--------|----------------|-------------|-------------|
| 1代 | 総務部委員会 | 木下 章雄 | 近松 宗一 前島 秀夫 | 昭和31. 10. 8 | 昭和32. 4. 27 |
| 2代 | 〃 | 島岡 利雄 | 伊藤 誠一 | 昭和32. 5. 10 | 昭和34. 5. 17 |
| 3代 | 〃 | 佐々木利夫 | 佐々木清信 | 昭和34. 5. 18 | 昭和36. 4. 27 |
| 4代 | 〃 | 熊谷 一郎 | 伊藤 誠一 | 昭和36. 5. 15 | 昭和38. 5. 22 |
| 5代 | 〃 | 〃 | 〃 | 昭和38. 5. 23 | 昭和40. 4. 27 |
| 6代 | 〃 | 近松 宗一 | 大平 節蔵 | 昭和40. 5. 6 | 昭和41. 5. 13 |
| 7代 | 〃 | 関島彦四郎 | 北原 正司 | 昭和41. 5. 14 | 昭和42. 5. 11 |
| 8代 | 〃 | 近松 宗一 | 前島 秀夫 | 昭和42. 5. 12 | 昭和44. 4. 27 |
| 9代 | 〃 | 辻 虎松 | 松島 健次 | 昭和44. 5. 7 | 昭和46. 5. 6 |
| 10代 | 〃 | 鳴海 衛 | 宮嶋 繁 | 昭和46. 5. 7 | 昭和48. 4. 27 |
| 11代 | 総務文教委員会 | 市村 保人 | 橋部 肇 | 昭和48. 5. 8 | 昭和50. 5. 7 |
| 12代 | 〃 | 茂木立好則 | 前島 成光 | 昭和50. 5. 8 | 昭和52. 4. 27 |
| 13代 | 〃 | 斉藤 為良 | 細田 直彦 | 昭和52. 5. 6 | 昭和54. 5. 5 |
| 14代 | 〃 | 内田 篤 | 川手 守 | 昭和54. 5. 6 | 昭和56. 4. 27 |
| 15代 | 〃 | 〃 | 原 廣男 | 昭和56. 5. 8 | 昭和58. 5. 7 |
| 16代 | 〃 | 片桐七右衛門 | 前島 成光 | 昭和58. 5. 8 | 昭和60. 4. 27 |
| 17代 | 〃 | 細田 直彦 | 塩澤 文朗 | 昭和60. 5. 10 | 昭和62. 5. 11 |
| 18代 | 〃 | 竹村 仁實 | 熊谷 康登 | 昭和62. 5. 12 | 平成元. 4. 27 |
| 19代 | 〃 | 今村 八束 | 今村 淳 | 平成元. 5. 10 | 平成3. 5. 9 |
| 20代 | 〃 | 久保田 元 | 吉川 昌子 | 平成3. 5. 10 | 平成5. 4. 27 |
| 21代 | 〃 | 松島 年一 | 今村 淳 | 平成5. 5. 13 | 平成7. 5. 12 |
| 22代 | 〃 | 小林 利一 | 牧内 信臣 | 平成7. 5. 13 | 平成9. 4. 27 |
| 23代 | 〃 | 吉村徳一郎 | 渡 淳 | 平成9. 5. 13 | 平成11. 5. 12 |
| 24代 | 〃 | 岩崎 和男 | 〃 | 平成11. 5. 13 | 平成13. 4. 27 |
| 25代 | 〃 | 熊谷 富夫 | 小池 清 | 平成13. 5. 15 | 平成15. 5. 14 |
| 26代 | 〃 | 下平 政幸 | 中島武津雄 | 平成15. 5. 15 | 平成17. 4. 27 |
| 27代 | 〃 | 上澤 義一 | 村松まり子 | 平成17. 5. 13 | 平成19. 5. 11 |
| 28代 | 〃 | 原 勉 | 森本美保子 | 平成19. 5. 12 | 平成21. 4. 27 |
| 29代 | 〃 | 林 幸次 | 原 和世 | 平成21. 5. 13 | 平成23. 5. 13 |
| 30代 | 〃 | 木下 容子 | 森本美保子 | 平成23. 5. 13 | 平成25. 4. 27 |
| 31代 | 総務委員会 | 清水 勇 | 原 和世 | 平成25. 5. 14 | |

※ 議会改革によりH25. 4. 28から4 常任委員会複数所属から3 常任委員会単独所属に移行

(4) 歴代社会文教常任委員会正副委員長

| 代 | 委員会名 | 委員長名 | 副委員長名 | 就任年月日 | 退任年月日 |
|-----|---------|-------|---------------|-------------|-------------|
| 1代 | 社会部委員会 | 児島 栄次 | 久保田安美 宮内 昇 | 昭和31. 10. 8 | 昭和32. 4. 27 |
| 2代 | 〃 | 実原 徳重 | 知久陽之祐 | 昭和32. 5. 10 | 昭和34. 5. 17 |
| 3代 | 〃 | 〃 | 田口 秀男 | 昭和34. 5. 18 | 昭和36. 4. 27 |
| 4代 | 〃 | 辻 虎松 | 漆原 恒実 | 昭和36. 5. 15 | 昭和38. 5. 22 |
| 5代 | 〃 | 〃 | 〃 | 昭和38. 5. 23 | 昭和40. 4. 27 |
| 6代 | 〃 | 〃 | 〃 | 昭和40. 5. 6 | 昭和41. 5. 13 |
| 7代 | 〃 | 漆原 恒実 | 榊田 太一 | 昭和41. 5. 14 | 昭和42. 5. 11 |
| 8代 | 〃 | 佐々木清信 | 松江 良夫 | 昭和42. 5. 12 | 昭和44. 4. 27 |
| 9代 | 〃 | 斉藤 宗義 | 熊谷政一郎 | 昭和44. 5. 7 | 昭和46. 5. 6 |
| 10代 | 〃 | 林 昌平 | 伊東 秀彦 | 昭和46. 5. 7 | 昭和48. 4. 27 |
| 11代 | 社会民生委員会 | 西尾 仁一 | 松下 茂 | 昭和48. 5. 8 | 昭和50. 5. 7 |
| 12代 | 〃 | 松江 良夫 | 片桐七右衛門 | 昭和50. 5. 8 | 昭和52. 4. 27 |
| 13代 | 社会委員会 | 片桐 勲 | 佐々木文雄 | 昭和52. 5. 6 | 昭和54. 5. 5 |
| 14代 | 〃 | 松江 良夫 | 中島 勝美 | 昭和54. 5. 6 | 昭和56. 4. 27 |
| 15代 | 〃 | 尾沢 貞夫 | 片桐 芳朗 | 昭和56. 5. 8 | 昭和58. 5. 7 |
| 16代 | 〃 | 松下 茂 | 平田 友畝 | 昭和58. 5. 8 | 昭和60. 4. 27 |
| 17代 | 〃 | 森本 藤登 | 今村 八束 | 昭和60. 5. 10 | 昭和62. 5. 11 |
| 18代 | 〃 | 西尾 保雄 | 吉川 義治 | 昭和62. 5. 12 | 平成元. 4. 27 |
| 19代 | 〃 | 〃 | 小林 利一 | 平成元. 5. 10 | 平成3. 5. 9 |
| 20代 | 〃 | 片桐 司郎 | 関島 秀夫 | 平成3. 5. 10 | 平成5. 4. 27 |
| 21代 | 〃 | 櫻井 俊夫 | 西尾 喜好 | 平成5. 5. 13 | 平成7. 5. 12 |
| 22代 | 〃 | 下平 一郎 | 中田 佳甫 | 平成7. 5. 13 | 平成9. 4. 27 |
| 23代 | 〃 | 中田 佳甫 | 熊谷 富夫 | 平成9. 5. 13 | 平成11. 5. 12 |
| 24代 | 〃 | 牛山 重一 | 井坪 隆 | 平成11. 5. 13 | 平成13. 4. 27 |
| 25代 | 〃 | 菅沼 立男 | 中島武津雄 | 平成13. 5. 15 | 平成15. 5. 14 |
| 26代 | 〃 | 柄澤 紀春 | 荒木 興利 | 平成15. 5. 15 | 平成17. 4. 27 |
| 27代 | 〃 | 原 勉 | 森本美保子 | 平成17. 5. 13 | 平成19. 5. 11 |
| 28代 | 〃 | 中島武津雄 | 木下 容子 | 平成19. 5. 12 | 平成21. 4. 27 |
| 29代 | 〃 | 森本美保子 | 村松まり子 | 平成21. 5. 13 | 平成23. 5. 13 |
| 30代 | 〃 | 木下 克志 | 後藤 荘一 | 平成23. 5. 13 | 平成25. 4. 27 |
| 31代 | 社会文教委員会 | 井坪 隆 | 湯澤 啓次 | 平成25. 5. 14 | |

※ 議会改革によりH25. 4. 28から4常任委員会複数所属から3常任委員会単独所属に移行

(5) 歴代産業建設常任委員会正副委員長

| 代 | 委員会名 | 委員長名 | 副委員長名 | 就任年月日 | 退任年月日 |
|-----|----------|-------|----------------|--------------|--------------|
| 1代 | 産業部委員会 | 田中 伝 | 宮下 綱六 宮川藤次郎 | 昭和31. 10. 8 | 昭和32. 4. 27 |
| 2代 | 〃 | 小林 新吾 | 堀 保麿 | 昭和32. 5. 10 | 昭和34. 5. 17 |
| 3代 | 〃 | 〃 | 丸山 治郎 | 昭和34. 5. 18 | 昭和36. 4. 27 |
| 4代 | 〃 | 葛岡 利治 | 〃 | 昭和36. 5. 15 | 昭和38. 5. 22 |
| 5代 | 〃 | 丸山 治郎 | 松重 新一 | 昭和38. 5. 23 | 昭和40. 4. 27 |
| 6代 | 〃 | 〃 | 宮脇 省 | 昭和40. 5. 6 | 昭和41. 5. 13 |
| 7代 | 産業経済部委員会 | 新井 安男 | 原 茂 | 昭和41. 5. 14 | 昭和42. 5. 11 |
| 8代 | 〃 | 今村 輝男 | 新井 安男 | 昭和42. 5. 11 | 昭和44. 4. 27 |
| 9代 | 〃 | 林 昌平 | 原田 正志 | 昭和44. 5. 7 | 昭和46. 5. 6 |
| 10代 | 〃 | 北原 正司 | 小松 芳男 | 昭和46. 5. 7 | 昭和48. 4. 27 |
| 11代 | 産業経済委員会 | 原 茂 | 佐々木 勝 | 昭和48. 5. 8 | 昭和50. 5. 7 |
| 12代 | 〃 | 北原 正司 | 橋部 肇 | 昭和50. 5. 8 | 昭和52. 4. 27 |
| 13代 | 〃 | 平沢 與一 | 原 廣男 | 昭和52. 5. 6 | 昭和54. 5. 5 |
| 14代 | 〃 | 原 康次 | 林 利実 | 昭和54. 5. 6 | 昭和56. 4. 27 |
| 15代 | 〃 | 平澤 與一 | 竹村 仁實 | 昭和56. 5. 8 | 昭和58. 5. 7 |
| 16代 | 〃 | 片桐 勲 | 〃 | 昭和58. 5. 8 | 昭和59. 10. 14 |
| 17代 | 〃 | 竹村 仁實 | 中田 修 | 昭和59. 10. 26 | 昭和60. 4. 27 |
| 18代 | 〃 | 〃 | 塩澤 昭 | 昭和60. 5. 10 | 昭和62. 5. 11 |
| 19代 | 〃 | 酒井 米 | 小林 三郎 | 昭和62. 5. 12 | 平成元. 4. 27 |
| 20代 | 〃 | 内山 照美 | 下平 一郎 | 平成元. 5. 10 | 平成3. 5. 9 |
| 21代 | 〃 | 下平 一郎 | 小林 利一 | 平成3. 5. 10 | 平成5. 4. 27 |
| 22代 | 〃 | 〃 | 伊原 与一 | 平成5. 5. 13 | 平成7. 5. 12 |
| 23代 | 〃 | 佐藤 好英 | 吉川 義治 | 平成7. 5. 13 | 平成9. 4. 27 |
| 24代 | 〃 | 西尾 喜好 | 岩崎 和男 | 平成9. 5. 13 | 平成11. 5. 12 |
| 25代 | 〃 | 下平 政幸 | 熊谷 富夫 | 平成11. 5. 13 | 平成13. 4. 27 |
| 26代 | 〃 | 渡 淳 | 上澤 義一 | 平成13. 5. 15 | 平成15. 5. 14 |
| 27代 | 〃 | 矢澤 芳文 | 佐々木重光 | 平成15. 5. 15 | 平成17. 4. 27 |
| 28代 | 〃 | 清水 可晴 | 原 和世 | 平成17. 5. 13 | 平成19. 5. 11 |
| 29代 | 〃 | 原 和世 | 山崎 紀男 | 平成19. 5. 12 | 平成21. 4. 27 |
| 30代 | 〃 | 木下 克志 | 木下 容子 | 平成21. 5. 13 | 平成23. 5. 13 |
| 31代 | 〃 | 伊壺 敏子 | 吉川 秋利 | 平成23. 5. 13 | 平成25. 4. 27 |
| 32代 | 産業建設委員会 | 吉川 秋利 | 後藤 莊一 | 平成25. 5. 14 | |

※ 議会改革によりH25. 4. 28から4 常任委員会複数所属から3 常任委員会単独所属に移行

(6) 歴代建設環境常任委員会正副委員長

| 代 | 委員会名 | 委員長名 | 副委員長名 | 就任年月日 | 退任年月日 |
|-----|---------|-------|----------------|--------------|--------------|
| 1代 | 建設部委員会 | 辻 虎松 | 竹内 兵治 伊原 悦雄 | 昭和31. 10. 8 | 昭和32. 4. 27 |
| 2代 | 〃 | 近松 宗一 | 林 省三 | 昭和32. 5. 10 | 昭和34. 5. 17 |
| 3代 | 〃 | 山田 亮一 | 伊原 悦雄 | 昭和34. 5. 18 | 昭和36. 4. 27 |
| 4代 | 〃 | 佐々木清信 | 木下 章雄 | 昭和36. 5. 15 | 昭和38. 5. 22 |
| 5代 | 〃 | 木下 章雄 | 新井 安男 | 昭和38. 5. 23 | 昭和40. 4. 27 |
| 6代 | 〃 | 佐々木清信 | 林 昌平 | 昭和40. 5. 6 | 昭和41. 5. 13 |
| 7代 | 〃 | 今牧 照男 | 〃 | 昭和41. 5. 14 | 昭和42. 5. 11 |
| 8代 | 〃 | 伊原 悦雄 | 代田 保雄 | 昭和42. 5. 12 | 昭和44. 4. 27 |
| 9代 | 〃 | 今牧 照男 | 茂木立好則 | 昭和44. 5. 7 | 昭和46. 5. 6 |
| 10代 | 〃 | 新井 安男 | 大蔵 浜雄 | 昭和46. 5. 7 | 昭和48. 4. 27 |
| 11代 | 建設委員会 | 茂木立好則 | 〃 | 昭和48. 5. 8 | 昭和50. 5. 7 |
| 12代 | 〃 | 斉藤 宗義 | 今牧 泰三 | 昭和50. 5. 8 | 昭和52. 4. 27 |
| 13代 | 〃 | 橋部 肇 | 今村 馨 | 昭和52. 5. 6 | 昭和54. 5. 5 |
| 14代 | 〃 | 森本 藤登 | 木下 登 | 昭和54. 5. 6 | 昭和56. 4. 27 |
| 15代 | 〃 | 今村 馨 | 熊谷 康登 | 昭和56. 5. 8 | 昭和58. 5. 7 |
| 16代 | 〃 | 細田 直彦 | 木下 登 | 昭和58. 5. 8 | 昭和60. 4. 27 |
| 17代 | 〃 | 関島 一郎 | 酒井 米 | 昭和60. 5. 10 | 昭和62. 5. 11 |
| 18代 | 〃 | 〃 | 實原 裕 | 昭和62. 5. 12 | 昭和63. 12. 1 |
| 19代 | 〃 | 實原 裕 | 塩澤 昭 | 昭和63. 12. 2 | 平成元. 4. 27 |
| 20代 | 〃 | 平田 友敏 | 澤柳辨治郎 | 平成元. 5. 10 | 平成3. 5. 9 |
| 21代 | 〃 | 松島 年一 | 〃 | 平成3. 5. 10 | 平成5. 4. 27 |
| 22代 | 〃 | 吉川 義治 | 佐藤 好英 | 平成5. 5. 13 | 平成7. 5. 12 |
| 23代 | 〃 | 塩澤 俊彦 | 伊藤 芳之 | 平成7. 5. 13 | 平成9. 4. 27 |
| 24代 | 〃 | 牧内 信臣 | 木下 昭一 | 平成9. 5. 13 | 平成11. 5. 12 |
| 25代 | 〃 | 實原 公男 | 久保田平八郎 | 平成11. 5. 13 | 平成12. 10. 21 |
| 26代 | 〃 | 菅沼 立男 | 〃 | 平成12. 10. 31 | 平成13. 4. 27 |
| 27代 | 建設環境委員会 | 井坪 隆 | 原 勉 | 平成13. 5. 15 | 平成15. 5. 14 |
| 28代 | 〃 | 木下 昭一 | 原 和世 | 平成15. 5. 15 | 平成17. 4. 27 |
| 29代 | 〃 | 佐々木重光 | 湯澤 宗保 | 平成17. 5. 13 | 平成19. 5. 11 |
| 30代 | 〃 | 柄澤 紀春 | 後藤 修三 | 平成19. 5. 12 | 平成21. 4. 27 |
| 31代 | 〃 | 伊壺 敏子 | 吉川 秋利 | 平成21. 5. 13 | 平成23. 5. 13 |
| 32代 | 〃 | 原 和世 | 永井 一英 | 平成23. 5. 13 | 平成25. 4. 27 |

※ 議会改革によりH25. 4. 28から4常任委員会複数所属から3常任委員会単独所属に移行

(7) 歴代議会運営委員会正副委員長

| 代 | 委員会名 | 委員長名 | 副委員長名 | 就任年月日 | 退任年月日 |
|-----|---------|--------|-------|--------------|--------------|
| 1代 | 議会運営委員会 | 木下 章雄 | 近松 宗一 | 昭和31. 10. 8 | 昭和32. 4. 27 |
| 2代 | 〃 | 島岡 利雄 | 伊藤 誠一 | 昭和32. 5. 10 | 昭和34. 5. 18 |
| 3代 | 〃 | 佐々木利夫 | 佐々木清信 | 昭和34. 5. 18 | 昭和36. 4. 27 |
| 4代 | 〃 | 熊谷 一郎 | 伊藤 誠一 | 昭和36. 5. 15 | 昭和38. 5. 23 |
| 5代 | 〃 | 佐々木清信 | 熊谷 一郎 | 昭和38. 5. 23 | 昭和40. 4. 27 |
| 6代 | 〃 | 近松 宗一 | 鳴海 衛 | 昭和40. 5. 6 | 昭和41. 5. 13 |
| 7代 | 〃 | 斉藤 宗義 | 代田 保雄 | 昭和41. 5. 13 | 昭和42. 5. 11 |
| 8代 | 〃 | 丸山 治郎 | 原田 正志 | 昭和42. 5. 11 | 昭和44. 4. 27 |
| 9代 | 〃 | 新井 安男 | 原 茂 | 昭和44. 5. 7 | 昭和46. 5. 7 |
| 10代 | 〃 | 松江 良夫 | 西尾 仁一 | 昭和46. 5. 7 | 昭和48. 4. 27 |
| 11代 | 〃 | 伊東 秀彦 | 太田 猶市 | 昭和48. 5. 8 | 昭和50. 5. 7 |
| 12代 | 〃 | 松嶋 健次 | 尾沢 貞夫 | 昭和50. 5. 7 | 昭和52. 4. 27 |
| 13代 | 〃 | 尾沢 貞夫 | 竹村 仁實 | 昭和52. 5. 6 | 昭和54. 4. 13 |
| 14代 | 〃 | 片桐七右衛門 | 塩沢 文朗 | 昭和54. 4. 13 | 昭和56. 4. 27 |
| 15代 | 〃 | 木下 登 | 内山 照美 | 昭和56. 5. 8 | 昭和57. 3. 1 |
| 16代 | 〃 | 片桐七右衛門 | 〃 | 昭和57. 3. 1 | 昭和58. 4. 22 |
| 17代 | 〃 | 中島 勝美 | 酒井 米 | 昭和58. 4. 22 | 昭和60. 4. 27 |
| 18代 | 〃 | 内山 照美 | 平田 友畝 | 昭和60. 5. 10 | 昭和62. 5. 12 |
| 19代 | 〃 | 平田 友畝 | 松島 年一 | 昭和62. 5. 12 | 平成元. 4. 27 |
| 20代 | 〃 | 松島 年一 | 久保田 元 | 平成元. 5. 10 | 平成3. 5. 9 |
| 21代 | 〃 | 吉川 義治 | 今村 淳 | 平成3. 5. 9 | 平成5. 4. 27 |
| 22代 | 〃 | 中田 佳甫 | 牧内 信臣 | 平成5. 5. 13 | 平成7. 5. 12 |
| 23代 | 〃 | 伊原 与一 | 片桐 司郎 | 平成7. 5. 13 | 平成8. 4. 22 |
| 24代 | 〃 | 澤柳辨治郎 | 〃 | 平成8. 6. 4 | 平成8. 10. 31 |
| 25代 | 〃 | 〃 | 桜井 俊夫 | 平成8. 10. 31 | 平成9. 4. 27 |
| 26代 | 〃 | 久保田平八郎 | 牛山 重一 | 平成9. 5. 13 | 平成11. 5. 12 |
| 27代 | 〃 | 木下 昭一 | 菅沼 立男 | 平成11. 5. 13 | 平成12. 10. 30 |
| 28代 | 〃 | 〃 | 柄澤 紀春 | 平成12. 10. 31 | 平成13. 4. 27 |
| 29代 | 〃 | 矢澤 芳文 | 清水 可晴 | 平成13. 5. 15 | 平成15. 5. 14 |
| 30代 | 〃 | 上澤 義一 | 林 幸次 | 平成15. 5. 15 | 平成17. 4. 27 |
| 31代 | 〃 | 原 和世 | 下平 勝熙 | 平成17. 5. 13 | 平成19. 5. 11 |
| 32代 | 〃 | 下平 勝熙 | 木下 克志 | 平成19. 5. 12 | 平成21. 4. 27 |
| 33代 | 〃 | 井坪 隆 | 清水 勇 | 平成21. 5. 13 | 平成23. 5. 13 |
| 33代 | 〃 | 林 幸次 | 新井信一郎 | 平成23. 5. 13 | 平成25. 4. 27 |
| 34代 | 〃 | 清水 可晴 | 村松まり子 | 平成25. 5. 14 | |

(8) 歴代監査委員（議会選出）

| 代 | 氏名 | 就任年月日 | 退任年月日 |
|-----|-------|-------------|-------------|
| 初代 | 田中 悟 | 昭和31. 10. 1 | 昭和32. 4. 27 |
| 2代 | 佐々木清信 | 昭和32. 5. 10 | 昭和34. 5. 17 |
| 3代 | 熊谷 一郎 | 昭和34. 5. 18 | 昭和36. 4. 27 |
| 4代 | 関島彦四郎 | 昭和36. 5. 15 | 昭和41. 6. 15 |
| 5代 | 市村 保人 | 昭和41. 6. 17 | 昭和42. 6. 5 |
| 6代 | 宮内 昇 | 昭和42. 6. 6 | 昭和44. 4. 27 |
| 7代 | 市村 保人 | 昭和44. 5. 7 | 昭和46. 6. 3 |
| 8代 | 宮内 昇 | 昭和46. 6. 4 | 昭和50. 6. 6 |
| 9代 | 近松 宗一 | 昭和50. 6. 10 | 昭和52. 4. 27 |
| 10代 | 伊原 悦雄 | 昭和52. 6. 6 | 昭和54. 4. 13 |
| 11代 | 松下 茂 | 昭和54. 4. 16 | 昭和56. 5. 7 |
| 12代 | 西尾 保雄 | 昭和56. 5. 8 | 昭和60. 4. 27 |
| 13代 | 實原 裕 | 昭和60. 5. 10 | 昭和62. 5. 12 |
| 14代 | 松嶋 健次 | 昭和62. 5. 13 | 平成元. 4. 27 |
| 15代 | 小林 三郎 | 平成元. 5. 10 | 平成2. 6. 30 |
| 16代 | 實原 裕 | 平成2. 7. 16 | 平成3. 5. 9 |
| 17代 | 竹村 仁實 | 平成3. 5. 10 | 平成5. 4. 27 |
| 18代 | 〃 | 平成5. 5. 13 | 平成7. 5. 12 |
| 19代 | 實原 裕 | 平成7. 5. 13 | 平成9. 4. 27 |
| 20代 | 竹村 仁實 | 平成9. 5. 13 | 平成11. 5. 12 |
| 21代 | 片桐 司郎 | 平成11. 5. 13 | 平成13. 4. 27 |
| 22代 | 小林 利一 | 平成13. 5. 15 | 平成15. 3. 3 |
| 23代 | 西尾 喜好 | 平成15. 5. 14 | 平成17. 4. 27 |
| 24代 | 岩崎 和男 | 平成17. 5. 13 | 平成19. 5. 10 |
| 25代 | 熊谷 富夫 | 平成19. 5. 11 | 平成21. 4. 27 |
| 26代 | 上澤 義一 | 平成21. 5. 13 | 平成23. 5. 12 |
| 27代 | 中島武津雄 | 平成23. 5. 13 | 平成25. 4. 27 |
| 28代 | 〃 | 平成25. 5. 14 | |

(9) 歴代事務局長

| 代 | 氏名 | 就任年月日 | 退任年月日 |
|-----|-------|--------------|--------------|
| 初代 | 林 政人 | 昭和31. 9. 30 | 昭和39. 3. 31 |
| 2代 | 久保 武敏 | 昭和39. 4. 1 | 昭和44. 3. 31 |
| 3代 | 福井 実 | 昭和44. 4. 1 | 昭和44. 10. 19 |
| 4代 | 村沢 光男 | 昭和44. 10. 20 | 昭和48. 6. 30 |
| 5代 | 酒井 篤 | 昭和48. 7. 1 | 昭和50. 3. 31 |
| 6代 | 宮沢 邦男 | 昭和50. 4. 1 | 昭和54. 3. 31 |
| 7代 | 木下 良美 | 昭和54. 4. 1 | 昭和56. 3. 31 |
| 8代 | 松澤 平吉 | 昭和56. 4. 1 | 昭和59. 3. 31 |
| 9代 | 坂下 幸彦 | 昭和59. 4. 1 | 平成元. 3. 31 |
| 10代 | 小木曾義信 | 平成元. 4. 1 | 平成3. 3. 31 |
| 11代 | 浦野 勉 | 平成3. 4. 1 | 平成6. 3. 31 |
| 12代 | 横田 常 | 平成6. 4. 1 | 平成9. 3. 31 |
| 13代 | 山岸一二三 | 平成9. 4. 1 | 平成11. 3. 31 |
| 14代 | 吉川 元勝 | 平成11. 4. 1 | 平成13. 3. 31 |
| 15代 | 中本 卓良 | 平成13. 4. 1 | 平成15. 3. 31 |
| 16代 | 福田 富廣 | 平成15. 4. 1 | 平成16. 3. 31 |
| 17代 | 大沢 英二 | 平成16. 4. 1 | 平成17. 3. 31 |
| 18代 | 尾澤 敏秀 | 平成17. 4. 1 | 平成19. 3. 31 |
| 19代 | 中井 洋一 | 平成19. 4. 1 | 平成20. 3. 31 |
| 20代 | 平澤 和人 | 平成20. 4. 1 | 平成20. 12. 31 |
| 21代 | 篠田 雅弘 | 平成21. 1. 1 | 平成25. 3. 31 |
| 22代 | 福澤 栄二 | 平成25. 4. 1 | |

(10) 歴代市議会議員

ア 昭和31年9月30日執行（1市7か村合併）

(7) 三穂地区 12人

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 林 武男 | 林 武司 | 坂巻 政美 | 林 保 | 古川 舎人 | 佐藤 芳房 |
| 宮沢 敬信 | 前沢 蔵六 | 川井 邦 | 西村 文雄 | 川上 竹市 | 久保田安美 |

(イ) 飯田地区 29人

| | | | | | |
|-------|-------|--------|-------|-------|-------|
| 代田源六郎 | 斉藤 隆久 | 今村 正美 | 田口 秀夫 | 牧島 保一 | 大竹 四郎 |
| 井村豊太郎 | 井原 淳治 | 辻 虎松 | 山田 亮一 | 深津 一郎 | 酒井 府 |
| 古瀬 仁 | 菊池 恭平 | 児島 栄次 | 宮下 綱六 | 吉川 一 | 中田 栄 |
| 木下 一人 | 実原 徳重 | 佐々木清信 | 近松 宗一 | 木下 勝義 | 加藤 英男 |
| 田中 悟 | 早川 清雄 | 荒井重右衛門 | 長坂 晃 | 漆原 恒実 | |

(ウ) 座光地地区 16人

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 知久陽之祐 | 北原 弘 | 片桐 卓治 | 上沼 善夫 | 黒川 利一 | 今村 良美 |
| 湯沢 博司 | 篠田力三郎 | 棚田 正雄 | 佐々木貞雄 | 竹内 武男 | 原田 栄治 |
| 佐々木信雄 | 原田 幸雄 | 三村 利 | 竹内 兵治 | | |

(エ) 竜丘地区 16人

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 伊原 悦雄 | 下平 広志 | 原 登 | 吉川 正己 | 中平恒三郎 | 今村 恵 |
| 長沼 保治 | 林 正司 | 松村 新八 | 前島 秀夫 | 北沢小太郎 | 沖田 武一 |
| 下田 巖 | 原 光人 | 下平 勲資 | 塚平 睦雄 | | |

(オ) 松尾地区 22人

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 林 宗三郎 | 江塚 角三 | 斉藤 忠治 | 木下 徳雄 | 塩沢 秋生 | 平栗 英祐 |
| 山中 竜策 | 今村 輝男 | 小木曾嘉一 | 青山 孝一 | 常盤 喜八 | 福島 淡 |
| 牛草 利春 | 藤田 勇夫 | 塩沢伝之助 | 中山 政雄 | 奥田 利吉 | 松村 信一 |
| 熊谷 好次 | 金井 啓 | 伊与部金一 | 木下 章雄 | | |

(カ) 下久堅地区 16人

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 平沢 清人 | 池田 嘉篤 | 吉沢 昇 | 羽生 一善 | 宮川藤次郎 | 森岡 清志 |
| 宮内 昇 | 三石 義臣 | 宮脇 利雄 | 桐生 忠治 | 橋爪徳次郎 | 三石誠一郎 |
| 羽場 義雄 | 木下 平治 | 坂井 伸一 | 平沢 亮治 | | |

(キ) 伊賀良地区 22人

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 坂下 美富 | 矢沢 秀一 | 相原 貢 | 橋部 文男 | 今牧 泰三 | 伊藤 仁 |
| 佐々木省吾 | 元島 均治 | 今牧 照男 | 平田 武司 | 水野 恒夫 | 神部 稲男 |
| 矢沢 清志 | 松沢 武雄 | 伊藤 清 | 肥後 明一 | 平田 薫 | 田部 勇 |
| 鈴木 太郎 | 新井 一正 | 宮下 喜一 | 原 稲太郎 | | |

(ク) 山本地区 16人

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 尾沢 元一 | 熊谷 英雄 | 竹村 汎愛 | 平岩四郎吉 | 竹村 央 | 遠山 皓 |
| 熊谷 広男 | 山内 精一 | 田中 伝 | 金田 伝 | 唐沢 茂一 | 玉置 敏夫 |
| 久保田久吉 | 金沢 重雄 | 熊崎 六蔵 | 小池 政之 | | |

合計 149人

イ 昭和32年4月28日執行（合併による設置選挙 任期は昭和32年4月28日から昭和36年4月27日まで 8選挙区 定数36）

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 片山 均 | 伊藤 誠一 | 久保田一男 | 松沢 広 | 田中 伝 | 島岡 利雄 |
| 林 保 | 林 省三 | 北沢小太郎 | 伊原 悦雄 | 木下 章雄 | 伊与部金一 |
| 葛岡 利治 | 丸山 治郎 | 小林 新吾 | 宮脇 省 | 佐々木利夫 | 知久陽之祐 |
| 代田源六郎 | 実原 徳重 | 佐々木清信 | 近松 宗一 | 今村 正美 | 児島 栄次 |
| 井原 淳治 | 堀 保麿 | 福島 勝男 | 古瀬 仁 | 漆原 恒美 | 串原 義直 |
| 山田 亮一 | 深津 一郎 | 辻 虎松 | 熊谷 一郎 | 田口 秀男 | 岡島 新治 |

ウ 昭和35年10月25日執行（飯田地区補欠選挙 任期は昭和35年10月26日から昭和36年4月27日まで 定数3）

新井 安男 鳴海 衛 前島 成光

エ 昭和36年4月23日執行（任期满了一般選挙 任期は昭和36年4月28日から昭和40年4月27日まで9選挙区 定数28）

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 片山 均 | 浜島 惣一 | 伊原 春男 | 鳴海 衛 | 宮内 昇 | 葛岡 利治 |
| 岡村 賢作 | 知久陽之祐 | 丸山 治郎 | 関島彦四郎 | 佐々木清信 | 代田源六郎 |
| 代田 哲 | 今牧 照男 | 新井 安男 | 近松 宗一 | 木下 章雄 | 串原 義直 |
| 福島 勝男 | 前島 成光 | 小林 新吾 | 沢柳 敏夫 | 漆原 恒美 | 辻 虎松 |
| 竹村 央 | 伊藤 誠一 | 松重 新一 | 熊谷 一郎 | | |

オ 昭和39年5月15日執行（龍江村、千代村及び上久堅村の3か村合併による増員選挙 任期は昭和39年5月15日から昭和40年4月27日まで 定数は龍江2、千代2、上久堅1の合計5）

林 昌平 松尾 純二 大平 節蔵 林 武男 斉藤 宗義

カ 昭和39年8月28日執行（伊賀良地区補欠選挙 任期は昭和39年8月29日から昭和40年4月27日まで 定数1）

代田 保雄

キ 昭和39年10月25日執行（飯田地区補欠選挙 任期は昭和39年10月26日から昭和40年4月27日まで 定数1）

宮嶋 繁

ク 昭和40年4月25日執行（任期满了一般選挙 任期は昭和40年4月28日から昭和44年4月27日まで 全市1選挙区 定数36）

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 林 昌平 | 前島 秀夫 | 北原 正司 | 鳴海 衛 | 辻 虎松 | 市村 保人 |
| 小林 新吾 | 代田 保雄 | 近松 宗一 | 代田源六郎 | 矢崎 三郎 | 沢柳 俊夫 |
| 榊田 太一 | 今村 治郎 | 丸山 治郎 | 松江 良夫 | 伊原 悦雄 | 原 茂 |
| 大蔵 浜雄 | 宮嶋 茂 | 漆原 恒美 | 富田 政雄 | 葛岡 利治 | 大平 節蔵 |
| 今村 輝男 | 新井 安男 | 佐々木清信 | 宮内 昇 | 熊谷 一郎 | 宮脇 省 |

前島 成光 熊谷 武志 斉藤 宗義 原田 正志 今牧 照男 関島彦四郎

ケ 昭和43年10月20日執行（補欠選挙 任期は昭和43年10月21日から昭和44年4月27日まで 定数2）

茂木立好則 内田 篤

コ 昭和44年4月20日執行（任期満了一般選挙 任期は昭和44年4月28日から昭和48年4月27日まで 定数36）

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 池上 一雄 | 茂木立好則 | 位高 勉 | 永山 忠男 | 前島 成光 | 佐藤力三郎 |
| 今牧 照男 | 斉藤 宗義 | 小松 芳男 | 江塚 善二 | 宮内 昇 | 大蔵 浜雄 |
| 松下 茂 | 原 茂 | 原 康次 | 原田 正志 | 熊谷政一郎 | 西尾 仁一 |
| 中山 栄次 | 辻 虎松 | 榊田 太一 | 内田 篤 | 伊東 秀彦 | 北原 正司 |
| 松嶋 健次 | 今村 輝男 | 林 昌平 | 新井 安男 | 片桐 勲 | 近松 宗一 |
| 宮嶋 繁 | 熊谷 武志 | 市村 保人 | 鳴海 衛 | 伊原 悦雄 | 松江 良夫 |

サ 昭和47年10月22日執行（補欠選挙 任期は昭和47年10月23日から昭和48年4月27日まで 定数2）

森本 藤登 今牧 泰三

シ 昭和48年4月22日執行（任期満了一般選挙 任期は昭和48年4月28日から昭和52年4月27日まで 定数36）

| | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 大蔵 浜雄 | 塩沢 文朗 | 片桐 芳朗 | 川手 守 | 前島 成光 | 佐藤力三郎 |
| 片桐七右衛門 | 伊藤 祐春 | 太田 猶市 | 佐々木 勝 | 平澤 與一 | 尾沢 貞夫 |
| 松下 茂 | 森本 藤登 | 佐々木清信 | 鳴海 衛 | 原 茂 | 松江 良夫 |
| 伊東 秀彦 | 松嶋 健次 | 今牧 泰三 | 内田 篤 | 西尾 仁一 | 橋部 肇 |
| 斉藤 為良 | 新井 安男 | 市村 保人 | 斉藤 宗義 | 今村 輝男 | 北原 正司 |
| 伊原 悦雄 | 近松 宗一 | 江塚 善二 | 宮内 昇 | 茂木立好則 | 林 昌平 |

ス 昭和51年10月17日執行（補欠選挙 任期は昭和51年10月18日から昭和52年4月27日まで 定数3）

熊谷 康登 西尾 保雄 片桐 勲

セ 昭和52年4月17日執行（任期満了一般選挙 任期は昭和52年4月28日から昭和56年4月27日まで 定数30に減少）

| | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 片桐七右衛門 | 塩沢 文朗 | 片桐 芳朗 | 川手 守 | 熊谷 康登 | 斉藤 宗義 |
| 竹村 仁實 | 木下 登 | 原 広男 | 原 康次 | 松下 茂 | 西尾 保雄 |
| 内田 篤 | 森本 藤登 | 今村 馨 | 平澤 與一 | 片桐 勲 | 中島 勝美 |
| 林 利実 | 尾沢 貞夫 | 橋部 肇 | 細田 直彦 | 佐々木文雄 | 佐々木 勝 |
| 斉藤 為良 | 西尾 仁一 | 茂木立好則 | 松江 良夫 | 林 昌平 | 伊原 悦雄 |

ソ 昭和55年10月19日執行（補欠選挙 任期は昭和55年10月20日から昭和56年4月27日まで 定数1）

内山 照美

タ 昭和56年4月19日執行（任期満了一般選挙 任期は昭和56年4月28日から昭和60年4月27日まで 定数30）

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 塩沢 昭 | 實原 裕 | 平田 友畝 | 酒井 米 | 前島 成光 | 熊谷 康登 |
| 片桐 芳朗 | 塩沢 文朗 | 中田 修 | 竹村 仁實 | 今村 馨 | 内山 照美 |
| 木下 登 | 西尾 保雄 | 原 康次 | 森本 藤登 | 中島 勝美 | 片桐七右衛門 |
| 松島 健次 | 原 広男 | 細田 直彦 | 平澤 與一 | 松下 茂 | 内田 篤 |
| 松江 良夫 | 林 昌平 | 片桐 勲 | 尾沢 貞夫 | 茂木立好則 | 伊原 悦雄 |

チ 昭和59年10月21日執行（補欠選挙 任期は昭和59年10月22日から昭和60年4月27日まで 定数1）

今村 八束

ツ 昭和59年12月1日執行（鼎町合併により鼎町議員が引き続いて市議会議員として在任 任期は昭和59年12月1日から昭和60年4月27日まで 定数52）

| | | | | | |
|--------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 田原 慶一 | 武田 良人 | 中村 岸美 | 中島文三郎 | 木下 為輔 | 関島 一郎 |
| 五十君酒造大 | 高木 敏美 | 松沢アサエ | 河村 弘久 | 水野佐知穂 | 村沢 延 |
| 吉川 義治 | 今村 淳 | 村沢 博 | 鷺見 知一 | 北沢 芳男 | 新井紀一郎 |
| 片桐 司郎 | 下田 武志 | 小林 雅夫 | 関島 秀夫 | | |

テ 昭和60年4月21日執行（任期満了一般選挙 任期は昭和60年4月28日から平成元年4月27日まで 定数31）

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 田中 秀典 | 下平 一郎 | 小林 三郎 | 松島 年一 | 澤柳辨治郎 | 吉川 昌子 |
| 熊谷 康登 | 牧内 信臣 | 櫻井 俊夫 | 久保田 元 | 吉川 義治 | 武田 良人 |
| 今村 八束 | 原 広男 | 今村 淳 | 塩沢 文朗 | 片桐 司郎 | 西尾 保雄 |
| 塩沢 昭 | 實原 裕 | 平田 友畝 | 酒井 米 | 関島 一郎 | 内山 照美 |
| 森本 藤登 | 松下 茂 | 竹村 仁實 | 細田 直彦 | 尾沢 貞夫 | 平澤 與一 |
| 松嶋 健次 | | | | | |

ト 昭和63年10月16日執行（補欠選挙 任期は昭和63年10月17日から平成元年4月27日まで 定数2）

小林 利一 長谷部徳治

ナ 平成元年4月23日執行（任期満了一般選挙 任期は平成元年4月28日から平成5年4月27日まで 定数31）

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 西尾 喜好 | 吉村徳一郎 | 伊原 与一 | 佐藤 好英 | 中田 佳甫 | 吉川 昌子 |
| 牛山 重一 | 牧内 信臣 | 塩澤 俊彦 | 長谷部徳治 | 伊藤 芳之 | 小林 利一 |

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 関島 秀夫 | 下平 一郎 | 渡 淳 | 今村 淳 | 櫻井 俊夫 | 片桐 司郎 |
| 小林 三郎 | 松島 年一 | 澤柳辨治郎 | 久保田 元 | 吉川 義治 | 今村 八束 |
| 西尾 保雄 | 塩澤 昭 | 實原 裕 | 平田 友畝 | 内山 照美 | 竹村 仁實 |
| 松江 良夫 | | | | | |

ニ 平成4年10月18日執行（補欠選挙 任期は平成4年10月19日から平成5年4月27日まで 定数1）

井出 健介

又 平成5年4月25日執行（任期満了一般選挙 任期は平成5年4月28日から平成9年4月27日まで 定数31）

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 柄澤 紀春 | 菅沼 立男 | 吉川 四郎 | 實原 公男 | 熊谷 富夫 | 久保田平八郎 |
| 下平 政幸 | 木下 昭一 | 牛山 重一 | 牧内 信臣 | 吉川 昌子 | 塩澤 俊彦 |
| 長谷部徳治 | 西尾 喜好 | 吉村徳一郎 | 伊原 与一 | 佐藤 好英 | 中田 佳甫 |
| 伊藤 芳之 | 渡 淳 | 今村 淳 | 櫻井 俊夫 | 片桐 司郎 | 小林 利一 |
| 下平 一郎 | 松島 年一 | 澤柳辨治郎 | 吉川 義治 | 今村 八束 | 實原 裕 |
| 竹村 仁實 | | | | | |

ネ 平成5年8月1日執行（上郷町編入合併に伴う増員選挙 任期は平成5年8月2日から平成9年4月27日まで 定数5）

中田 裕康 井坪 隆 岩崎 和男 岡島 豊 大坪 勇

ノ 平成8年10月20日執行（補欠選挙 任期は平成8年10月21日から平成9年4月27日まで 定数1）

矢澤 芳文

ハ 平成9年4月20日執行（任期満了一般選挙 任期は平成9年4月28日から平成13年4月27日まで 定数31）

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 佐藤久美子 | 小池 清 | 清水 可晴 | 佐々木重光 | 原 勉 | 中島武津雄 |
| 上澤 義一 | 荒木 興利 | 大坪 勇 | 牛山 重一 | 牧内 信臣 | 矢澤 芳文 |
| 井坪 隆 | 岩崎 和男 | 林 幸次 | 渡 淳 | 熊谷 富夫 | 久保田平八郎 |
| 下平 政幸 | 木下 昭一 | 西尾 喜好 | 柄澤 紀春 | 菅沼 立男 | 實原 公男 |
| 吉村徳一郎 | 佐藤 好英 | 中田 佳甫 | 小林 利一 | 今村 八束 | 片桐 司郎 |
| 竹村 仁實 | | | | | |

ヒ 平成12年10月15日執行（補欠選挙 任期は平成12年10月16日から平成13年4月27日まで 定数1）

原 和世

フ 平成13年4月22日執行（任期満了一般選挙 任期は平成13年4月28日から平成17年4月27日

まで 定数31)

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| 木下 容子 | 下平 勝熙 | 伊壺 敏子 | 大谷 恵子 | 湯澤 宗保 | 森本美保子 |
| 村松まり子 | 牛山満智子 | 清水 可晴 | 小池 清 | 牛山 重一 | 牧内 信臣 |
| 原 和世 | 原 勉 | 林 幸次 | 渡 淳 | 久保田平八郎 | 柄澤 紀春 |
| 菅沼 立男 | 中島武津雄 | 上澤 義一 | 佐々木重光 | 荒木 興利 | 井坪 隆 |
| 岩崎 和男 | 矢澤 芳文 | 熊谷 富夫 | 下平 政幸 | 木下 昭一 | 西尾 喜好 |
| 小林 利一 | | | | | |

へ 平成16年10月24日執行（補欠選挙 任期は平成16年10月25日から平成17年4月27日まで 定数2）

後藤 荘一 木下 克志

ホ 平成17年4月24日執行（任期满了一般選挙 任期は平成17年4月28日から平成21年4月27日まで 定数27）

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 清水 勇 | 代田 剛嗣 | 新井信一郎 | 内山 要子 | 吉川 秋利 | 伊藤 清春 |
| 永井 一英 | 木下 容子 | 下平 勝熙 | 後藤 荘一 | 木下 克志 | 湯澤 宗保 |
| 森本美保子 | 柄澤 紀春 | 村松まり子 | 林 幸次 | 清水 可晴 | 伊壺 敏子 |
| 原 和世 | 原 勉 | 中島武津雄 | 上澤 義一 | 佐々木重光 | 矢澤 芳文 |
| 岩崎 和男 | 熊谷 富夫 | 牧内 信臣 | | | |

マ 平成17年10月30日執行（上村及び南信濃村の編入合併に伴う増員選挙 任期は平成17年10月31日から平成21年4月27日まで 定数2）

山崎 紀男 後藤 修三

ミ 平成21年4月19日執行（任期满了一般選挙 任期は平成21年4月28日から平成25年4月27日まで 定数23に減少）

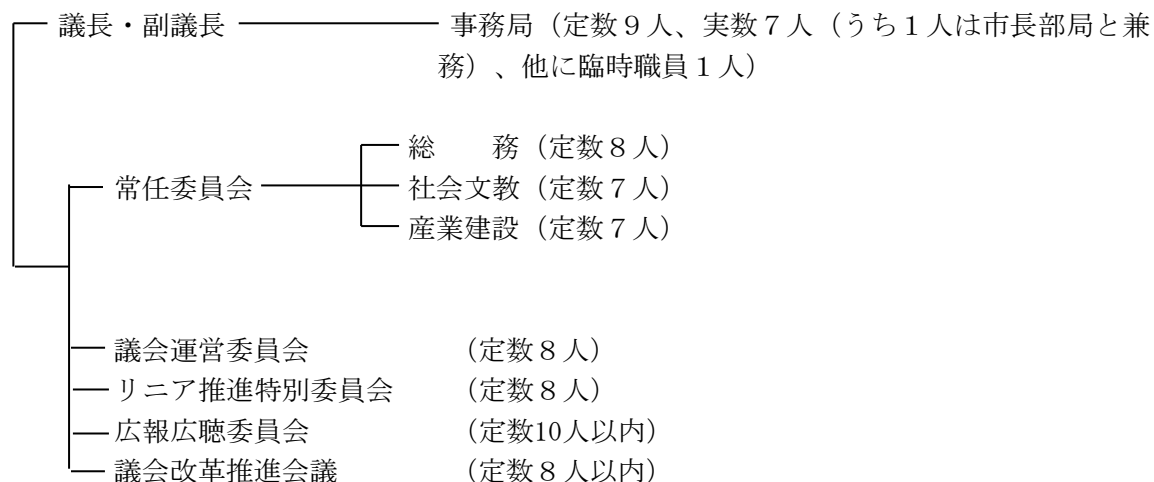
| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 湯澤 啓次 | 湊 猛 | 清水 勇 | 吉川 秋利 | 永井 一英 | 福沢 清 |
| 内田 雄一 | 牛山満智子 | 新井信一郎 | 木下 克志 | 木下 容子 | 下平 勝熙 |
| 村松まり子 | 森本美保子 | 後藤 荘一 | 伊壺 敏子 | 中島武津雄 | 上澤 義一 |
| 清水 可晴 | 林 幸次 | 井坪 隆 | 原 和世 | 原 勉 | |

ム 平成25年4月21日執行（任期满了一般選挙 任期は平成25年4月28日から平成29年4月27日まで 定数23）

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 竹村 圭史 | 木下 徳康 | 熊谷 泰人 | 湯澤 啓次 | 山崎 昌伸 | 森本 政人 |
| 古川 仁 | 小倉 高広 | 湊 猛 | 新井信一郎 | 清水 勇 | 吉川 秋利 |
| 永井 一英 | 木下 容子 | 福沢 清 | 後藤 荘一 | 木下 克志 | 中島武津雄 |
| 村松まり子 | 林 幸次 | 清水 可晴 | 井坪 隆 | 原 和世 | |

II 市議会の構成（平成26年5月30日現在）

1 構成



※平成25年4月28日から3常任委員会単独所属体制

(1) 常任委員会

ア 所管事項

- (ア) 総務委員会 総務部、総合政策部、リニア推進部、市民協働環境部、市長公室、危機管理室、会計管理者、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会及び固定資産評価審査委員会の所管に属する事項並びに他の委員会の所管に属さない事項
- (イ) 社会文教委員会 健康福祉部及び教育委員会の所管に属する事項並びに病院事業に関する事項
- (ウ) 産業建設委員会 産業経済部、建設部、上下水道局、水道局及び農業委員会の所管に属する事項

イ 任期 2年

(2) 議会運営委員会

ア 所管事項

- (ア) 議会の運営に関する事項
- (イ) 議会の会議規則、委員会条例等に関する事項
- (ウ) 議長の諮問に関する事項

イ 任期 2年

(3) リニア推進特別委員会

ア 所管事項

リニア中央新幹線の推進に関する諸課題の研究調査に関する事項

イ 任期 2年

(4) 広報広聴委員会（協議又は調整を行うための場）

ア 所管事項

- (ア) 議会広報誌の編集及び発行に関する事項
- (イ) 議会ホームページの管理運営に関する事項
- (ウ) インターネットを利用した会議公開に関する事項

- (エ) 会議傍聴の推進に関する事項
 - (オ) 市民への講座等の開催に関する事項
 - (カ) 議会報告会の企画運営及び市民意見の取扱いに関する事項
 - (キ) その他議会の広報に関する事項
- イ 任期 2年

(5) 議会改革推進会議（協議又は調整を行うための場）

ア 所管事項

- (ア) 飯田市の改革に関する調査研究
- (イ) 議会改革・運営ビジョン（平成22年3月22日決定）の実践状況の検証
- (ウ) 議長又は議会運営委員会から諮問された事項に関する調査審議
- (エ) その他推進会議の設置の目的のために必要な事項

(6) 議員

ア 任期 平成25年4月28日から平成29年4月27日まで

イ 条例定数 23人

ウ 現員数 23人

(ア) 党派別

日本共産党 3人 公明党 3人 無所属 17人

(イ) 会派別

会派のぞみ 10人 公明党 3人 市民パワー 3人
 日本共産党 3人 会派みらい 3人 無会派 1人

2 議員名簿

| 番号 | 氏名 | 会派 | 期数 | 郵便番号 | 住所 | 自宅電話等 |
|----|--------|-------|----|-----------|----------------|--------------|
| 1 | 竹村 圭史 | 会派のぞみ | 1 | 〒395-0244 | 山本1407番地 | 25-2247 |
| 2 | 木下 徳康 | 会派のぞみ | 1 | 〒395-0813 | 毛賀366番地 | 24-4932 |
| 3 | 熊谷 泰人 | 会派のぞみ | 1 | 〒395-0075 | 白山通り3丁目391番地1 | 53-4150 |
| 4 | 湯澤 啓次 | 会派のぞみ | 2 | 〒395-0001 | 座光寺2570番地1 | 24-6698 |
| 5 | 山崎 昌伸 | 無会派 | 1 | 〒395-0817 | 鼎東鼎292番地7 | 23-0204 |
| 6 | 森本 政人 | 市民パワー | 1 | 〒395-0821 | 松尾新井6662番地1 | 23-8991 |
| 7 | 古川 仁 | 日本共産党 | 1 | 〒395-0803 | 鼎下山677番地5 | 53-3792 |
| 8 | 小倉 高広 | 日本共産党 | 1 | 〒395-0004 | 上郷黒田554番地1 | 53-2585 |
| 9 | 湊 猛 | 会派のぞみ | 2 | 〒399-1311 | 南信濃和田1343番地1 | 0260-34-2248 |
| 10 | 新井 信一郎 | 会派のぞみ | 3 | 〒395-0151 | 北方3330番地1 | 25-5181 |
| 11 | 清水 勇 | 会派のぞみ | 3 | 〒399-2221 | 龍江2453番地1 | 27-2569 |
| 12 | 吉川 秋利 | 会派のぞみ | 3 | 〒395-0807 | 鼎切石4375番地 | 24-8268 |
| 13 | 永井 一英 | 公明党 | 3 | 〒395-0077 | 丸山町2丁目6725番地14 | 23-4021 |
| 14 | 木下 容子 | 市民パワー | 4 | 〒395-0063 | 羽場町1丁目5番地7 | 22-5973 |
| 15 | 福沢 清 | 会派みらい | 2 | 〒395-0029 | 二本松333番地1 | 22-5620 |
| 16 | 後藤 荘一 | 日本共産党 | 4 | 〒395-0156 | 中村1221番地 | 25-7857 |
| 17 | 木下 克志 | 会派のぞみ | 4 | 〒395-0803 | 鼎下山665番地 | 24-5645 |
| 18 | 中島 武津雄 | 会派のぞみ | 5 | 〒399-2565 | 桐林1347番地2 | 26-8080 |
| 19 | 村松 まり子 | 公明党 | 4 | 〒395-0814 | 八幡町489番地2 | 24-6884 |
| 20 | 林 幸次 | 公明党 | 5 | 〒399-2602 | 下久堅下虎岩3031番地10 | 29-8953 |
| 21 | 清水 可晴 | 市民パワー | 5 | 〒395-0158 | 高羽町3丁目4番地8 | 23-8200 |
| 22 | 井坪 隆 | 会派みらい | 5 | 〒395-0004 | 上郷黒田1826番地 | 23-6421 |
| 23 | 原 和世 | 会派みらい | 5 | 〒395-0244 | 山本4703番地1 | 25-1216 |

年齢別議員数

(平成26年5月30日現在)

| 年齢 | 25～29歳 | 30～39歳 | 40～49歳 | 50～59歳 | 60～69歳 | 70歳以上 | 計 |
|----|--------|--------|--------|--------|--------|-------|----|
| 人員 | | | 3 | 5 | 15 | | 23 |

当選回数別議員数

(平成26年5月30日現在)

| 当選回数 | 1回 | 2回 | 3回 | 4回 | 5回 | 計 |
|------|----|----|----|----|----|----|
| 人員 | 7 | 3 | 4 | 4 | 5 | 23 |

3 正副議長及び各委員会委員名簿

(1) 議長及び副議長

(平成25年5月13日改選)

| | | | |
|-----|------|-------|-------|
| 議 長 | 林 幸次 | 副 議 長 | 木下 克志 |
|-----|------|-------|-------|

(2) 委員会

(平成25年5月14日改選)

◎印……委員長 ○印……副委員長

| 委 員 会 名 | 委 員 | | | |
|--------------------|-----------------|-----------------|----------------|----------------|
| 総務委員会 (8人) | ◎清水 勇 湊 猛 | ○原 和世 中島武津雄 | 竹村 圭史 村松まり子 | 古川 仁 清水 可晴 |
| 社会文教委員会 (7人) | ◎井坪 隆 新井信一郎 | ○湯澤 啓次 永井 一英 | 木下 徳康 木下 容子 | 小倉 高広 |
| 産業建設委員会 (7人) | ◎吉川 秋利 森本 政人 | ○後藤 荘一 福沢 清 | 熊谷 泰人 木下 克志 | 山崎 昌伸 |
| 議会運営委員会 (8人) | ◎清水 可晴 吉川 秋利 | ○村松まり子 後藤 荘一 | 木下 徳康 中島武津雄 | 清水 勇 原 和世 |
| リニア推進特別委員会 (8人) | ◎新井信一郎 清水 勇 | ○熊谷 泰人 永井 一英 | 湯澤 啓次 後藤 荘一 | 森本 政人 井坪 隆 |
| 広報広聴委員会 (8人) | ◎木下 容子 古川 仁 | ○湊 猛 新井信一郎 | 木下 徳康 福沢 清 | 熊谷 泰人 村松まり子 |
| 議会改革推進会議 (8人) | ◎永井 一英 小倉 高広 | ○福沢 清 吉川 秋利 | 竹村 圭史 中島武津雄 | 湯澤 啓次 清水 可晴 |

4 監査委員及び南信州広域連合議会議員名簿

(1) 監査委員 (選任に同意)

(平成25年5月14日選任)

| 推 薦 基 準 | 任 期 | 氏 名 |
|---------------------------|----------------|-------|
| 議員から1人を推薦 市長が議会の同意を得る。 | 4 年 (2年で改選) | 中島武津雄 |

(2) 南信州広域連合議会議員

(平成25年5月14日選任)

| 推薦基準 | 任期 | 氏名 |
|---|---------------|--|
| 議員から12人 正副議長(2) 3 常任委員長(3) 会派按分(7) | 4年 (2年で改選) | 林 幸次 木下 克志 湯澤 啓次 森本 政人 小倉 高広 湊 猛 新井信一郎 清水 勇 吉川 秋利 永井 一 福沢 清 井坪 英隆 |

5 議会選出の各種委員等

(1) 附属機関等の委員名簿

(平成25年5月14日選任)

| 名称 | 推薦基準 | 任期 | 氏名 |
|------------------|----------------|----|-----------------------------------|
| 青少年問題協議会 (2人) | 社文委員2 | 2年 | 井坪 隆 湯澤 啓次 |
| 民生委員推薦会 (2人) | 社文正副委員長 | 3年 | 井坪 隆 湯澤 啓次 |
| 都市計画審議会 (5人) | 総務1・社文1 産建3 | 2年 | 清水 勇 井坪 隆 吉川 秋利 後藤 荘一 山崎 昌伸 |
| 国民保護協議会 (3人) | 3 常任委員長 | 2年 | 清水 勇 井坪 隆 吉川 秋利 |

(2) その他の団体の役員

(平成25年5月14日選任)

| 名称 | 推薦基準 | 任期 | 氏名 |
|-----------------------------------|---|------|--|
| リニア中央新幹線建設 促進飯伊地区期成同盟会 (6人) | 正副議長 3 常任委員長 監査委員 リニア推進特別 委員長 | 在職期間 | 【副会長】 林 幸次 【理事】 木下 克志 清水 勇 井坪 隆 吉川 秋利 新井信一郎 【監事】 中島武津雄 |
| 三遠南信道路建設促進 南信地域期成同盟会 (3人) | 正副議長 監査委員 | 2年 | 【副会長】 林 幸次 【理事】 木下 克志 【監事】 中島武津雄 |
| 三遠南信自動車道建設 促進飯田市九地区期成 同盟会 | 地区出身議員 下久堅・上久堅・ 千代・龍江・川路・三 穂・山本・上村・南 信濃 | 1年 | 【顧問】 林 幸次 清水 勇 竹村 圭史 原 和世 湊 史 猛 |
| 国道256号改良促進 期成同盟会 (3人) | 正副議長 産建委員長 | 2年 | 【理事】 林 幸次 木下 克志 吉川 秋利 |
| 主要地方道飯田富山佐久 間線改良促進期成同盟会 | 正副議長 産建正副委員長 地区出身議員 下久堅・千代・龍江 | 2年 | 【監事】 林 幸次 【理事】 木下 克志 吉川 秋利 後藤 荘一 清水 勇 |

| | | | |
|---------------------------|--|------|--|
| 主要地方道飯島飯田線 改良促進期成同盟会 | 正副議長 産建正副委員長 地区出身議員 座光寺・上郷 橋北・橋南・羽場 丸山・東野・鼎・伊賀 良 | 2年 | 【理事】林 幸次 木下 克志 吉川 秋利 後藤 莊一 湯澤 啓次 小倉 高広 井坪 隆 福沢 清 熊谷 泰人 木下 容子 永井 一英 清水 可晴 吉川 秋利 山崎 昌伸 古川 仁 新井信一郎 |
| 主要地方道飯田南木曾線 改良促進期成同盟会 | 正副議長 産建正副委員長 地区出身議員 橋北・橋南・羽場丸 山・東野 | 2年 | 【理事】林 幸次 吉川 秋利 後藤 莊一 福沢 清 熊谷 泰人 木下 容子 永井 一英 清水 可晴 【監事】木下 克志 |
| 広域幹線林道千遠線 開設期成同盟会（2人） | 議長 産建委員長 | 2年 | 【委員】林 幸次 吉川 秋利 |
| 国道152号改良促進 期成同盟会（2人） | 議長 産建委員長 | 2年 | 【理事】林 幸次 吉川 秋利 |
| 国道418号整備促進 期成同盟会（3人） | 正副議長 産建正副委員長 | 2年 | 【理事】林 幸次 木下 克志 吉川 秋利 後藤 莊一 |
| 都市計画道路羽場大瀬木 線改良促進連絡協議会 | 正副議長 地区出身議員 橋北・橋南・羽場 丸山・鼎・伊賀良 | 1年 | 【相談役】林 幸次 木下 克志 福沢 清 熊谷 泰人 木下 容子 永井 一英 山崎 昌伸 古川 仁 吉川 秋利 新井信一郎 後藤 莊一 |
| 伊那テクノバレー地域 センター（1人） | 議長 | 在職期間 | 【地域評議員】林 幸次 |
| 松尾浄化管理センター 連絡協議会 | 正副議長 産建委員長 地区出身議員 | 在任期間 | 【委員】林 幸次 木下 克志 吉川 秋利 森本 政人 村松まり子 |

(3) 議員による任意の団体

| 名称 | 基準 | 任期 | 氏名 |
|--|------|------|--|
| 森林・林業・林産業活性化 促進議員連盟 (林業活性化推進飯田市 議員連盟) | 各会派1 | 2年 | 【会長】湊 猛 【副会長】森本 政人 【幹事】永井 一英 古川 仁 原 和世 【委員】全市議会議員 |
| 三遠南信、浜松三ヶ日・豊 橋道路建設促進議員協議会 | 賛同議員 | 在職期間 | 【会長】林 幸次 【委員】全市議会議員 |

6 各会派及び各会派の代表者氏名

| 会派名 | 代表者名 | 議員数 | 会派名 | 代表者名 | 議員数 |
|-------|-------|-----|-------|--------|-----|
| 会派のぞみ | 中島武津雄 | 10 | 公明党 | 村松 まり子 | 3 |
| 市民パワー | 清水 可晴 | 3 | 日本共産党 | 後藤 莊一 | 3 |
| 会派みらい | 原 和世 | 3 | 無会派 | 山崎 昌伸 | 1 |

Ⅲ 1年間の活動

1 市議会の活動状況

(1) 市議会招集回数10か年比較表

| 年次 | | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 | 22 | 23 | 24 | 25 |
|-------|------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 区分 | 招集回数 | | | | | | | | | | |
| | 定例会 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 | 4 |
| | 臨時会 | 1 | 2 | 0 | 1 | 0 | 2 | 0 | 2 | 0 | 1 |
| 会期日数 | | 86 | 88 | 81 | 89 | 89 | 112 | 102 | 105 | 101 | 101 |
| 本会議日数 | | 20 | 22 | 20 | 21 | 20 | 22 | 17 | 18 | 17 | 19 |
| 議案件数 | | 134 | 324 | 170 | 177 | 171 | 197 | 199 | 287 | 218 | 228 |

(2) 議会開会状況（平成25年1月から25年12月まで）

| | 会 議 | 会 期 | 会期日数 | 本会議日数 |
|---|--------|---------------|------|-------|
| 1 | 第1回定例会 | 2月27日～3月22日 | 24 | 4 |
| 2 | 第1回臨時会 | 5月13日～5月14日 | 2 | 2 |
| 3 | 第2回定例会 | 5月30日～6月21日 | 23 | 4 |
| 4 | 第3回定例会 | 8月27日～9月24日 | 29 | 4 |
| 5 | 第4回定例会 | 11月27日～12月19日 | 23 | 5 |
| 計 | | | 101 | 19 |

(3) 議会審議状況（平成25年1月から25年12月まで）

| 区分 | | 会別 | 第1回定例会 | 第1回臨時会 | 第2回定例会 | 第3回定例会 | 第4回定例会 | 計 |
|-------------|-------|----|--------|--------|--------|--------|--------|-----|
| 市長 提出議案 | 予算・決算 | | 25 | | 2 | 18 | 7 | 52 |
| | 条例 | | 24 | | 5 | 3 | 23 | 55 |
| | その他 | | 32 | 3 | 4 | 7 | 18 | 64 |
| | 計(A) | | 81 | 3 | 11 | 28 | 48 | 171 |
| 議員 提出議案 | 条例 | | 3 | | | | | 3 |
| | その他 | | 2 | | 1 | 5 | 1 | 9 |
| | 計(B) | | 5 | | 1 | 5 | 1 | 12 |
| 議決状況 | 可決・同意 | | 85 | 3 | 12 | 37 | 49 | 186 |
| | 否決 | | | | | | | 0 |
| | 継続審査 | | 1 | | | | | 1 |
| 報告 | 専決処分 | | 11 | 10 | 3 | 3 | 5 | 32 |
| | その他 | | | | 12 | 1 | | 13 |
| | 計(C) | | 11 | 10 | 15 | 4 | 5 | 45 |
| 審議件数(A+B+C) | | | 97 | 13 | 27 | 37 | 54 | 228 |

(4) 付議事件及び議決結果一覧表

① 市長提出議案

| 事件番号 | 事 件 名 | 上程日 | 議決日 | 議決結果 |
|--------|---|---------|---------|------|
| 議案第1号 | 公平委員会の委員の選任について | 25.2.27 | 25.2.27 | 同意 |
| 議案第2号 | 固定資産評価審査委員会の委員の選任について | 25.2.27 | 25.2.27 | 同意 |
| 議案第3号 | 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて | 25.2.27 | 25.2.27 | 同意 |
| 議案第4号 | 飯田市中央財産区管理委員の選任について | 25.2.27 | 25.2.27 | 同意 |
| 議案第5号 | 飯田市羽場財産区管理委員の選任について | 25.2.27 | 25.2.27 | 同意 |
| 議案第6号 | 飯田市松尾地区財産区管理委員の選任について | 25.2.27 | 25.2.27 | 同意 |
| 議案第7号 | 飯田市長野原財産区管理委員の選任について | 25.2.27 | 25.2.27 | 同意 |
| 議案第8号 | 飯田市桐林財産区管理委員の選任について | 25.2.27 | 25.2.27 | 同意 |
| 議案第9号 | 飯田市駄科財産区管理委員の選任について | 25.2.27 | 25.2.27 | 同意 |
| 議案第10号 | 飯田市部等設置条例の一部を改正する条例の制定について | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |
| 議案第11号 | 飯田市副市長の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |
| 議案第12号 | 飯田市特別職の職員等で常勤の者の給与に関する条例及び飯田市議会の議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |
| 議案第13号 | 議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |
| 議案第14号 | 飯田市議会政務調査費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 25.2.27 | 25.2.27 | 可決 |
| 議案第15号 | 飯田市都市再生整備計画事業評価委員会条例の制定について | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |
| 議案第16号 | 飯田市授産施設設置条例の一部を改正する条例の施行期日を定める条例の制定について | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |
| 議案第17号 | 飯田市授産施設条例等の一部を改正する条例の制定について | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |

| 事件番号 | 事 件 名 | 上程日 | 議決日 | 議決結果 |
|--------|--|-----------|-----------|------|
| 議案第18号 | 飯田市保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 2. 27 | 25. 3. 22 | 可決 |
| 議案第19号 | 飯田市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 2. 27 | 25. 3. 22 | 可決 |
| 議案第20号 | 飯田市環境保全条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 2. 27 | 25. 3. 22 | 可決 |
| 議案第21号 | 飯田市自動車の放置の防止に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 2. 27 | 25. 3. 22 | 可決 |
| 議案第22号 | 飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例の制定について | 25. 2. 27 | 25. 3. 22 | 可決 |
| 議案第23号 | 飯田市農用地整備公団事業負担金等徴収条例を廃止する条例の制定について | 25. 2. 27 | 25. 3. 22 | 可決 |
| 議案第24号 | 飯田市農村青少年集会施設条例を廃止する条例の制定について | 25. 2. 27 | 25. 3. 22 | 可決 |
| 議案第25号 | 飯田市中心間地域における地域振興住宅の運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 2. 27 | 25. 3. 22 | 可決 |
| 議案第26号 | 都市公園条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 2. 27 | 25. 3. 22 | 可決 |
| 議案第27号 | 飯田市移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める条例の制定について | 25. 2. 27 | 25. 3. 22 | 可決 |
| 議案第28号 | 飯田市防災会議条例及び飯田市災害対策本部条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 2. 27 | 25. 3. 22 | 可決 |
| 議案第29号 | 飯田市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 2. 27 | 25. 3. 22 | 可決 |
| 議案第30号 | 飯田市旧小笠原家書院・小笠原資料館設置条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 2. 27 | 25. 3. 22 | 可決 |
| 議案第31号 | 飯田市体育施設条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 2. 27 | 25. 3. 22 | 可決 |
| 議案第32号 | 松川町との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて | 25. 2. 27 | 25. 2. 27 | 可決 |
| 議案第33号 | 高森町との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて | 25. 2. 27 | 25. 2. 27 | 可決 |
| 議案第34号 | 阿南町との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて | 25. 2. 27 | 25. 2. 27 | 可決 |

| 事件番号 | 事 件 名 | 上程日 | 議決日 | 議決結果 |
|--------|--|---------|---------|------|
| 議案第35号 | 阿智村との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて | 25.2.27 | 25.2.27 | 可決 |
| 議案第36号 | 平谷村との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて | 25.2.27 | 25.2.27 | 可決 |
| 議案第37号 | 根羽村との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて | 25.2.27 | 25.2.27 | 可決 |
| 議案第38号 | 下條村との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて | 25.2.27 | 25.2.27 | 可決 |
| 議案第39号 | 売木村との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて | 25.2.27 | 25.2.27 | 可決 |
| 議案第40号 | 天龍村との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて | 25.2.27 | 25.2.27 | 可決 |
| 議案第41号 | 泰阜村との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて | 25.2.27 | 25.2.27 | 可決 |
| 議案第42号 | 喬木村との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて | 25.2.27 | 25.2.27 | 可決 |
| 議案第43号 | 豊丘村との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて | 25.2.27 | 25.2.27 | 可決 |
| 議案第44号 | 大鹿村との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて | 25.2.27 | 25.2.27 | 可決 |
| 議案第45号 | 財産の無償譲渡について | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |
| 議案第46号 | 公の施設の指定管理者の指定について（飯田市21世紀環境共生型モデル住宅） | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |
| 議案第47号 | 市道路線の廃止について | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |
| 議案第48号 | 市道路線の変更について | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |
| 議案第49号 | 損害賠償の額を定めることについて | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |
| 議案第50号 | 損害賠償の額を定めることについて | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |
| 議案第51号 | 公の施設の指定管理者の指定について（飯田市上村山村文化資源保存伝習施設） | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |

| 事件番号 | 事 件 名 | 上程日 | 議決日 | 議決結果 |
|--------|---------------------------------|---------|---------|------|
| 議案第52号 | 平成24年度飯田市一般会計補正予算（第8号）案 | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |
| 議案第53号 | 平成24年度飯田市一般会計補正予算（第9号）案 | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |
| 議案第54号 | 平成24年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）案 | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |
| 議案第55号 | 平成24年度飯田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）案 | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |
| 議案第56号 | 平成24年度飯田市介護保険特別会計補正予算（第2号）案 | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |
| 議案第57号 | 平成24年度飯田市地方卸売市場事業特別会計補正予算（第1号）案 | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |
| 議案第58号 | 平成24年度飯田市下水道事業特別会計補正予算（第2号）案 | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |
| 議案第59号 | 平成24年度飯田市水道事業会計補正予算（第2号）案 | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |
| 議案第60号 | 平成24年度飯田市各財産区会計補正予算（第2号）案 | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |
| 議案第61号 | 平成25年度飯田市一般会計予算（案） | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |
| 議案第62号 | 平成25年度飯田市国民健康保険特別会計予算（案） | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |
| 議案第63号 | 平成25年度飯田市後期高齢者医療特別会計予算（案） | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |
| 議案第64号 | 平成25年度飯田市介護保険特別会計予算（案） | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |
| 議案第65号 | 平成25年度飯田市地方卸売市場事業特別会計予算（案） | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |
| 議案第66号 | 平成25年度飯田市駐車場事業特別会計予算（案） | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |
| 議案第67号 | 平成25年度飯田市墓地事業特別会計予算（案） | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |
| 議案第68号 | 平成25年度飯田市簡易水道事業特別会計予算（案） | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |
| 議案第69号 | 平成25年度飯田市下水道事業特別会計予算（案） | 25.2.27 | 25.3.22 | 可決 |

| 事件番号 | 事 件 名 | 上程日 | 議決日 | 議決結果 |
|--------|------------------------------------|-----------|-----------|------|
| 議案第70号 | 平成25年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計予算（案） | 25. 2. 27 | 25. 3. 22 | 可決 |
| 議案第71号 | 平成25年度飯田市上村デイサービスセンター特別会計予算（案） | 25. 2. 27 | 25. 3. 22 | 可決 |
| 議案第72号 | 平成25年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計予算（案） | 25. 2. 27 | 25. 3. 22 | 可決 |
| 議案第73号 | 平成25年度飯田市病院事業会計予算（案） | 25. 2. 27 | 25. 3. 22 | 可決 |
| 議案第74号 | 平成25年度飯田市水道事業会計予算（案） | 25. 2. 27 | 25. 3. 22 | 可決 |
| 議案第75号 | 平成25年度飯田市各財産区会計予算（案） | 25. 2. 27 | 25. 3. 22 | 可決 |
| 議案第76号 | 飯田市職員の退職手当に関する条例等の一部を改正する条例の制定について | 25. 2. 27 | 25. 3. 22 | 可決 |
| 議案第77号 | 工事請負契約の締結について（新庁舎本体建築工事） | 25. 2. 27 | 25. 3. 22 | 可決 |
| 議案第78号 | 工事請負契約の締結について（新庁舎電気設備工事） | 25. 2. 27 | 25. 3. 22 | 可決 |
| 議案第79号 | 工事請負契約の締結について（新庁舎機械設備工事） | 25. 2. 27 | 25. 3. 22 | 可決 |
| 議案第80号 | 市道占用料条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 3. 8 | 25. 3. 22 | 可決 |
| 議案第81号 | 平成24年度飯田市一般会計補正予算（第10号）案 | 25. 3. 22 | 25. 3. 22 | 可決 |
| 議案第82号 | 飯田市時又財産区管理委員の選任について | 25. 5. 13 | 25. 5. 14 | 同意 |
| 議案第83号 | 飯田市上川路財産区管理委員の選任について | 25. 5. 13 | 25. 5. 14 | 同意 |
| 議案第84号 | 監査委員の選任について | 25. 5. 14 | 25. 5. 14 | 同意 |
| 議案第85号 | 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて | 25. 5. 30 | 25. 5. 30 | 同意 |
| 議案第86号 | 飯田市税条例等の一部を改正する条例の制定について | 25. 5. 30 | 25. 6. 21 | 可決 |
| 議案第87号 | 飯田市都市計画税条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 5. 30 | 25. 6. 21 | 可決 |

| 事件番号 | 事 件 名 | 上程日 | 議決日 | 議決結果 |
|---------|--|-----------|-----------|------|
| 議案第88号 | 飯田市下水道条例及び飯田市農業集落排水処理施設条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 5. 30 | 25. 6. 21 | 可決 |
| 議案第89号 | 飯田市企業人材確保住宅条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 5. 30 | 25. 6. 21 | 可決 |
| 議案第90号 | 飯田市新型インフルエンザ等対策本部条例の制定について | 25. 5. 30 | 25. 6. 21 | 可決 |
| 議案第91号 | 公の施設の指定管理者の指定について（飯田市地域資源総合管理施設） | 25. 5. 30 | 25. 6. 21 | 可決 |
| 議案第92号 | 市道路線の認定について | 25. 5. 30 | 25. 6. 21 | 可決 |
| 議案第93号 | 市道路線の変更について | 25. 5. 30 | 25. 6. 21 | 可決 |
| 議案第94号 | 平成25年度飯田市一般会計補正予算（第1号）案 | 25. 5. 30 | 25. 6. 21 | 可決 |
| 議案第95号 | 平成25年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）案 | 25. 5. 30 | 25. 6. 21 | 可決 |
| 議案第96号 | 教育委員会の委員の任命について | 25. 8. 27 | 25. 8. 27 | 同意 |
| 議案第97号 | 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて | 25. 8. 27 | 25. 8. 27 | 同意 |
| 議案第98号 | 飯田市東野財産区管理委員の選任について | 25. 8. 27 | 25. 8. 27 | 同意 |
| 議案第99号 | 飯田市千代財産区管理委員の選任について | 25. 8. 27 | 25. 8. 27 | 同意 |
| 議案第100号 | 飯田市旧飯田測候所条例の制定について | 25. 8. 27 | 25. 9. 24 | 可決 |
| 議案第101号 | 飯田市中心間地域における地域振興住宅の運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 8. 27 | 25. 9. 24 | 可決 |
| 議案第102号 | 飯田市地域人形劇センター条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 8. 27 | 25. 9. 24 | 可決 |
| 議案第103号 | 財産の無償貸付けについて | 25. 8. 27 | 25. 9. 24 | 可決 |
| 議案第104号 | 市道路線の認定について | 25. 8. 27 | 25. 9. 24 | 可決 |

| 事件番号 | 事 件 名 | 上程日 | 議決日 | 議決結果 |
|---------|---------------------------------------|---------|---------|------|
| 議案第105号 | 市道路線の変更について | 25.8.27 | 25.9.24 | 可決 |
| 議案第106号 | 平成25年度飯田市一般会計補正予算（第2号）案 | 25.8.27 | 25.9.24 | 可決 |
| 議案第107号 | 平成25年度飯田市下水道事業特別会計補正予算（第1号）案 | 25.8.27 | 25.9.24 | 可決 |
| 議案第108号 | 平成24年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定について | 25.8.27 | 25.9.24 | 認定 |
| 議案第109号 | 平成24年度飯田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について | 25.8.27 | 25.9.24 | 認定 |
| 議案第110号 | 平成24年度飯田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について | 25.8.27 | 25.9.24 | 認定 |
| 議案第111号 | 平成23年度飯田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について | 25.8.27 | 25.9.24 | 認定 |
| 議案第112号 | 平成24年度飯田市地方卸売市場事業特別会計歳入歳出決算認定について | 25.8.27 | 25.9.24 | 認定 |
| 議案第113号 | 平成24年度飯田市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定について | 25.8.27 | 25.9.24 | 認定 |
| 議案第114号 | 平成24年度飯田市墓地事業特別会計歳入歳出決算認定について | 25.8.27 | 25.9.24 | 認定 |
| 議案第115号 | 平成24年度飯田市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算認定について | 25.8.27 | 25.9.24 | 認定 |
| 議案第116号 | 平成24年度飯田市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定について | 25.8.27 | 25.9.24 | 認定 |
| 議案第117号 | 平成24年度飯田市介護老人保健施設事業特別会計歳入歳出決算認定について | 25.8.27 | 25.9.24 | 認定 |
| 議案第118号 | 平成24年度飯田市上村デイサービスセンター特別会計歳入歳出決算認定について | 25.8.27 | 25.9.24 | 認定 |
| 議案第119号 | 平成24年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会計歳入歳出決算認定について | 25.8.27 | 25.9.24 | 認定 |
| 議案第120号 | 平成24年度飯田市病院事業決算認定について | 25.8.27 | 25.9.24 | 認定 |
| 議案第121号 | 平成24年度飯田市水道事業決算認定について | 25.8.27 | 25.9.24 | 認定 |

| 事件番号 | 事 件 名 | 上程日 | 議決日 | 議決結果 |
|---------|-------------------------------------|------------|------------|------|
| 議案第122号 | 平成24年度飯田市各財産区会計歳入歳出決算認定について | 25. 8. 27 | 25. 9. 24 | 認定 |
| 議案第123号 | 平成25年度飯田市一般会計補正予算（第3号）案 | 25. 9. 24 | 25. 9. 24 | 可決 |
| 議案第124号 | 固定資産評価員の選任について | 25. 11. 27 | 25. 11. 27 | 同意 |
| 議案第125号 | 人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて | 25. 11. 27 | 25. 11. 27 | 同意 |
| 議案第126号 | 飯田市駄科財産区管理委員の選任について | 25. 11. 27 | 25. 11. 27 | 同意 |
| 議案第127号 | 飯田市南信濃地域交流センター条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第128号 | 飯田市部等設置条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第129号 | 飯田市職員の退職手当に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第130号 | 飯田市地域交流センター設置条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第131号 | 飯田市社会福祉審議会条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第132号 | 飯田市老人福祉センター条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第133号 | 飯田市麻績の里交流センター設置条例等の一部を改正する条例の制定について | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第134号 | 飯田市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第135号 | 飯田市ポイ捨て等防止及び環境美化を推進する市民条例の制定について | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第136号 | 飯田市千代基幹集落センター条例等の一部を改正する条例の制定について | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第137号 | 飯田市野底山森林公園条例の制定について | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第138号 | 地方卸売市場条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 11. 27 | 25. 11. 27 | 可決 |

| 事件番号 | 事 件 名 | 上程日 | 議決日 | 議決結果 |
|---------|--|------------|------------|------|
| 議案第139号 | 飯田市天龍峡温泉交流館条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第140号 | 飯田市営住宅等条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第141号 | 飯田市中心間地域における地域振興住宅の運営に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第142号 | 飯田市コミュニティ防災センター条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第143号 | 飯田市姫宮林間学校条例を廃止する条例の制定について | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第144号 | 飯田市社会教育委員条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第145号 | 飯田市青少年問題協議会条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第146号 | 飯田市体育施設条例等の一部を改正する条例の制定について | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第147号 | 飯田市公民館条例等の一部を改正する条例の制定について | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第148号 | 飯田文化会館条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第149号 | 飯田市美術博物館条例の一部を改正する条例の制定について | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第150号 | 公の施設の指定管理者の指定について（飯田市福祉会館） | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第151号 | 公の施設の指定管理者の指定について（飯田市南信濃福祉研修センター） | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第152号 | 公の施設の指定管理者の指定について（飯田市障害者生活ケアセンター） | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第153号 | 公の施設の指定管理者の指定について（飯田市南信濃障害者等活動支援センター） | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第154号 | 公の施設の指定管理者の指定について（飯田市デイサービスセンター） | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第155号 | 公の施設の指定管理者の指定について（飯田市南信濃高齢者共同住宅） | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |

| 事件番号 | 事 件 名 | 上程日 | 議決日 | 議決結果 |
|---------|--|------------|------------|------|
| 議案第156号 | 公の施設の指定管理者の指定について（飯田市特別養護老人ホーム） | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第157号 | 公の施設の指定管理者の指定について（飯田市野底山森林公園） | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第158号 | 損害賠償の額を定めることについて | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第159号 | 和解をすることについて | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第160号 | 豊丘村との間において締結した定住自立圏形成協定の一部を変更する協定を締結することについて | 25. 11. 27 | 25. 11. 27 | 可決 |
| 議案第161号 | 平成25年度飯田市一般会計補正予算（第5号）案 | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第162号 | 平成25年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算（第2号）案 | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第163号 | 平成25年度飯田市簡易水道事業特別会計補正予算（第1号）案 | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第164号 | 平成25年度飯田市下水道事業特別会計補正予算（第2号）案 | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第165号 | 平成25年度飯田市上村デイサービスセンター特別会計補正予算（第1号）案 | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第166号 | 平成25年度飯田市病院事業会計補正予算（第1号）案 | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第167号 | 平成25年度飯田市水道事業会計補正予算（第1号）案 | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第168号 | 財産の処分について | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第169号 | 工事請負契約の締結について（飯田文化会館ホール舞台照明設備更新工事） | 25. 11. 27 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第170号 | 損害賠償の額を定めることについて | 25. 12. 9 | 25. 12. 19 | 可決 |
| 議案第171号 | 和解をすることについて | 25. 12. 9 | 25. 12. 19 | 可決 |

②議会提出議案

| 事件番号 | 事 件 名 | 上程日 | 議決日 | 議決結果 |
|----------------------|---|---------|---------|----------|
| 平成24年 議会議案 第3号 | 浜岡原子力発電所の永久停止、廃炉を求める意見書の提出について | 24.9.26 | 審議未了 | 継続 審査 |
| 議会議案 第1号 | 飯田市自治基本条例の一部を改正する条例の制定について | 25.3.22 | 25.3.22 | 可決 |
| 議会議案 第2号 | 飯田市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について | 25.3.22 | 25.3.22 | 可決 |
| 議会議案 第3号 | 飯田市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について | 25.3.22 | 25.3.22 | 可決 |
| 議会議案 第4号 | 拡大生産者責任(EPR)とデポジット制度の法制化を求める意見書の提出について | 25.3.22 | 25.3.22 | 可決 |
| 議会議案 第5号 | 地方財政の充実・強化を求める意見書の提出について | 25.6.21 | 25.6.21 | 可決 |
| 議会議案 第6号 | 森林吸収源対策及び地球温暖化対策に関する地方の財源確保を求める意見書の提出について | 25.9.24 | 25.9.24 | 可決 |
| 議会議案 第7号 | 新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書の提出について | 25.9.24 | 25.9.24 | 可決 |
| 議会議案 第8号 | 国の責任による35人以下学級の推進及び教育予算の増額を求める意見書の提出について | 25.9.24 | 25.9.24 | 可決 |
| 議会議案 第9号 | 義務教育費国庫負担制度の堅持を求める意見書の提出について | 25.9.24 | 25.9.24 | 可決 |
| 議会議案 第10号 | 長野地方裁判所支部における労働審判の開設を求める意見書の提出について | 25.9.24 | 25.9.24 | 可決 |
| 議会議案 第11号 | 特定秘密保護法案に対する慎重な審議を求める意見書の提出について | 25.12.5 | 25.12.5 | 可決 |

③報告議案

| 事件番号 | 事 件 名 | 上程日 | 議決日 | 議決結果 |
|--------|--|-----------|-----------|------|
| 報告第1号 | 専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて) | 25. 2. 27 | | |
| 報告第2号 | 専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて) | 25. 2. 27 | | |
| 報告第3号 | 専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて) | 25. 2. 27 | | |
| 報告第4号 | 専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて) | 25. 2. 27 | | |
| 報告第5号 | 専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて) | 25. 2. 27 | | |
| 報告第6号 | 専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて) | 25. 2. 27 | | |
| 報告第7号 | 専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて) | 25. 2. 27 | | |
| 報告第8号 | 専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて) | 25. 3. 8 | | |
| 報告第9号 | 専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて) | 25. 3. 8 | | |
| 報告第10号 | 専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて) | 25. 3. 22 | | |
| 報告第11号 | 専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて) | 25. 3. 22 | | |
| 報告第12号 | 専決処分の承認を求めることについて (飯田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例 の制定について) | 25. 5. 13 | 25. 5. 13 | 承認 |
| 報告第13号 | 専決処分の承認を求めることについて (平成24年度飯田市一般会計補正予算 (第11号)) | 25. 5. 13 | 25. 5. 13 | 承認 |
| 報告第14号 | 専決処分の承認を求めることについて (平成24年度飯田市国民健康保険特別会計補正予算 (第3号)) | 25. 5. 13 | 25. 5. 13 | 承認 |
| 報告第15号 | 専決処分の承認を求めることについて (平成24年度飯田市介護保険特別会計補正予算 (第 3号)) | 25. 5. 13 | 25. 5. 13 | 承認 |
| 報告第16号 | 専決処分の承認を求めることについて (平成24年度飯田市墓地事業特別会計補正予算 (第 1号)) | 25. 5. 13 | 25. 5. 13 | 承認 |
| 報告第17号 | 専決処分の承認を求めることについて (平成24年度飯田市簡易水道事業特別会計補正予算 (第2号)) | 25. 5. 13 | 25. 5. 13 | 承認 |

| 事件番号 | 事 件 名 | 上程日 | 議決日 | 議決結果 |
|--------|---|-----------|-----------|------|
| 報告第18号 | 専決処分の承認を求めることについて (平成24年度飯田市下水道事業特別会計補正予算 (第3号)) | 25. 5. 13 | 25. 5. 13 | 承認 |
| 報告第19号 | 専決処分の承認を求めることについて (平成24年度飯田市ケーブルテレビ放送事業特別会 計補正予算 (第1号)) | 25. 5. 13 | 25. 5. 13 | 承認 |
| 報告第20号 | 専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて) | 25. 5. 13 | | |
| 報告第21号 | 専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて) | 25. 5. 13 | | |
| 報告第22号 | 専決処分の報告について (損害賠償の額を定めるこ とについて) | 25. 5. 30 | | |
| 報告第23号 | 権利の放棄について (病院料金に係る債権) | 25. 5. 30 | | |
| 報告第24号 | 権利の放棄について (水道料金に係る債権) | 25. 5. 30 | | |
| 報告第25号 | 平成24年度飯田市一般会計繰越明許費繰越計算書の 報告について | 25. 5. 30 | | |
| 報告第26号 | 平成24年度飯田市一般会計事故繰越し繰越計算書の 報告について | 25. 5. 30 | | |
| 報告第27号 | 平成24年度飯田市下水道事業特別会計繰越明許費繰 越計算書の報告について | 25. 5. 30 | | |
| 報告第28号 | 平成24年度飯田市病院事業会計継続費繰越計算書の 報告について | 25. 5. 30 | | |
| 報告第29号 | 平成24年度飯田市病院事業会計予算繰越計算書の報 告について | 25. 5. 30 | | |
| 報告第30号 | 飯田市土地開発公社の経営状況を説明する書類の提 出について | 25. 5. 30 | | |
| 報告第31号 | 株式会社飯田健康温泉の経営状況を説明する書類の 提出について | 25. 5. 30 | | |
| 報告第32号 | 飯田清掃株式会社の経営状況を説明する書類の提出 について | 25. 5. 30 | | |
| 報告第33号 | 一般財団法人飯田勤労者共済会の経営状況を説明す る書類の提出について | 25. 5. 30 | | |
| 報告第34号 | 一般財団法人飯田市南信濃振興公社の経営状況を説 明する書類の提出につ | 25. 5. 30 | | |

| 事件番号 | 事 件 名 | 上程日 | 議決日 | 議決結果 |
|--------|-----------------------------------|------------|------------|------|
| 報告第35号 | 専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて) | 25. 6. 11 | | |
| 報告第36号 | 専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて) | 25. 6. 21 | | |
| 報告第37号 | 専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて) | 25. 8. 27 | | |
| 報告第38号 | 専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて) | 25. 8. 27 | | |
| 報告第39号 | 健全化判断比率及び資金不足比率の報告について | 25. 8. 27 | | |
| 報告第40号 | 専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて) | 25. 9. 24 | | |
| 報告第41号 | 専決処分の承認を求めることについて | 25. 11. 27 | 25. 11. 27 | 承認 |
| 報告第42号 | 専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて) | 25. 11. 27 | | |
| 報告第43号 | 専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて) | 25. 11. 27 | | |
| 報告第44号 | 専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて) | 25. 11. 27 | | |
| 報告第45号 | 専決処分の報告について (損害賠償の額を定めることについて) | 25. 12. 19 | | |

(5) 議会において執行した選挙・選任等

(平成25年1月から平成25年12月まで)

| 会期 | 年月日 | 選挙・選任の内容 |
|--------|----------|--|
| 第1回定例会 | 25.2.27 | <ul style="list-style-type: none"> ・公平委員の選任 ・固定資産評価審査委員の選任 ・人権擁護委員の候補者の推薦 ・飯田市中心部財産区管理委員の選任 ・飯田市羽場財産区管理委員の選任 ・飯田市松尾地区財産区管理委員の選任 ・飯田市長野原財産区管理委員の選任 ・飯田市桐林財産区管理委員の選任 ・飯田市駄科財産区管理委員の選任 |
| 第1回臨時会 | 25.5.14 | <ul style="list-style-type: none"> ・飯田市時又財産区管理委員の選任 ・飯田市上川路財産区管理委員の選任 ・監査委員の選任 |
| 第2回定例会 | 25.5.30 | <ul style="list-style-type: none"> ・人権擁護委員の候補者の推薦 |
| 第3回定例会 | 25.8.27 | <ul style="list-style-type: none"> ・教育委員会委員の任命 ・人権擁護委員の候補者の推薦 ・飯田市東野財産区管理委員の選任 ・飯田市千代財産区管理委員の選任 |
| 第4回定例会 | 25.11.27 | <ul style="list-style-type: none"> ・固定資産評価委員の選任 ・人権擁護委員の候補者の推薦 ・飯田市駄科財産区管理委員の選任 |

(6) 委員会活動開催状況

(平成25年1月から平成25年12月まで)

| | 常任委員会 | | | | | | | 特別委員会 | | | 議会運営委員会 | 議会改革推進会議 | 議会だより編集委員会 | 広報広聴委員会 | 全員協議会 |
|-----|-------|----|------|------|----|------|------|-------|---------|-------|---------|----------|------------|---------|-------|
| | 総務文教 | 社会 | 産業経済 | 建設環境 | 総務 | 社会文教 | 産業建設 | 庁舎建設 | リニア推進対策 | リニア推進 | | | | | |
| 委員会 | 9 | 6 | 6 | 5 | 6 | 6 | 8 | 2 | 2 | 7 | 5 | 18 | 8 | 20 | 11 |
| 協議会 | 9 | 9 | 7 | 5 | 5 | 7 | 5 | 0 | 0 | 6 | 5 | 1 | 2 | | |
| 計 | 18 | 15 | 13 | 10 | 11 | 13 | 13 | 2 | 2 | 13 | 10 | 19 | 10 | 20 | 11 |

(7) 請願陳情

①委員会別審査状況

(平成25年1月から平成25年12月まで)

| | | 処 理 状 況 | | | | | | | 合計 |
|--------|------|---------|------|------|-----|-----|-----|--------|----|
| | | 採択 | 趣旨採択 | 審議未了 | 取下げ | 不採択 | 審議中 | 議決を要さず | |
| 請 願 | 総務 | 1 | 1 | | | | | | 2 |
| | 社会文教 | | | | | | | | |
| | 産業建設 | 1 | | | | | | | 1 |
| | 計 | 2 | 1 | | | | | | 3 |
| 陳 情 | 総務文教 | | | 1 | | | | | 1 |
| | 総務 | 1 | | | | 2 | | | 3 |
| | 社会文教 | 1 | | | | 2 | | | 3 |
| | 産業建設 | | | | | | | | |
| | 計 | 2 | | 1 | | 4 | | | 7 |

※受理番号1件のもので、要旨が数項目ある場合

- ① 同一委員会で、全ての項目を審査し、全項目を一括採決した場合は、1件とする。
- ② 処理状況が複数にわたる場合は、その結果をそれぞれ1件とする。
- ③ 複数の委員会へ項目を分けて付託審査した場合は、それぞれを1件とする。
したがって②③の処理がされた場合は、「受付番号」の件数より、処理状況合計数は大きくなる。

②請願議決結果一覧表

| 所管 | 受理番号 | 要旨 | 上程月日 | 議決月日 | 議決結果 |
|----|-------------|---|---------|---------|------|
| 総務 | 25請願 第1号 | 国に対し、地方財政の充実・強化を求める意見書を提出願いたい | 25.6.11 | 25.6.21 | 採択 |
| 総務 | 25請願 第2号 | 国に対し、年金2.5%の削減中止を求める意見書の提出を提出願いたい | 25.6.11 | 25.6.21 | 趣旨採択 |
| 産建 | 25請願 第3号 | 国に対し、長野地方裁判所支部における労働審判の開設を求める意見書を提出願いたい | 25.6.21 | 25.9.24 | 採択 |

③陳情議決結果一覧表

| 所管 | 受理番号 | 要旨 | 上程月日 | 議決月日 | 議決結果 |
|----|-------------|--|----------|-----------------|------|
| 総文 | 24陳情 第8号 | 国に対し、原子力政策の転換を求める意見書を提出願いたい | 24.12.10 | 任期満了 25.4.27 | 審議未了 |
| 社文 | 25陳情 第1号 | 国に対し、生活保護基準の引き下げはしないよう求める意見書を提出願いたい | 25.6.21 | 25.9.24 | 不採択 |
| 総務 | 25陳情 第2号 | 国に対し、新聞への消費税軽減税率適用を求める意見書を提出願いたい | 25.9.5 | 25.9.24 | 採 択 |
| 社文 | 25陳情 第3号 | 国に対し、国の責任による35人以下学級推進と、教育予算の増額を求める意見書を提出願いたい | 25.9.5 | 25.9.24 | 採 択 |
| 社文 | 25陳情 第4号 | 国に対し、「義務教育費国庫負担金制度」の堅持を求める意見書を提出願いたい | 25.9.5 | 25.9.24 | 採 択 |
| 総務 | 25陳情 第5号 | 国に対し、憲法第96条の発議要件緩和に反対する意見書を提出願いたい | 25.9.5 | 25.9.24 | 不採 択 |
| 総務 | 25陳情 第6号 | 国に対し、特定秘密の保護に関する法律制定に反対する意見書を提出願いたい | 25.12.9 | 25.12.19 | 不採 択 |

(8) 定例会の質問事項

①第1回定例会一般質問通告表（一問一答方式）

平成25年3月7、8日

| No. | 氏名 | 項目・要旨 |
|-----|--------------------|---|
| 1 | 福 沢 清 (会派みらい) | 1 新地方会計制度における飯田市の財務諸表について (1) 財務諸表の情報公開はどのように行われているか (2) 貸借対照表の資産と負債のバランスはどうか (3) 行政コスト計算書について ① 起債借り入れの際、借入利率交渉は行われているか ② 売却可能資産はどれくらいあるか ③ 1人当りのコストが44万円になっているが、これ以上払っている人の割合はどれくらいか (4) 固定資産台帳の整備はどうか (5) 長期的なインフラの維持更新計画はどうか 2 生活保護基準の引き下げについて (1) 政府の生活保護基準引き下げをどう考えるか (2) 飯田市への影響はどうか (3) 飯田市として就学援助対象者の基準の変更はあるか 3 がん検診について (1) 昨年、がん検診申込者が増えたことによる効果はどうか (2) 今年のがん検診の申込状況はどうか (3) がん検診受診率の他の市町村との比較はどうか (4) 国の目標がん検診受診率50%に対する取り組みはどうか |
| 2 | 湯 澤 啓 次 (会派のぞみ) | 1 年頭所感「デザイン思考的アプローチ」について (1) 年頭所感に寄せる市長の思いの先にあるものは何か (2) 「デザイン思考的アプローチによる地域創造」について ① デザイン思考的アプローチとは何か ② 何故、今飯田で「デザイン思考」が必要か (3) デザイン思考的アプローチによる3つの地域づくりについて ① 手にした人に感動を与えるものづくり、飯田らしい地域内循環経済の創出について ア 「人に感動を与える」ものづくりとは何か イ 「人に感動を与える」観光産業の展開はどうか ウ 交流拠点に「まちの駅」、地域拠点に「郷の駅」を創り「感動を与える」駅のネットワーク化を図れないか エ デザイン思考から地域内循環経済の活性化を図れないか ② 訪れる人に感動を与え、住む人が誇りの持てる地域づくりの推進について ア 飯田のハートであるムトス活動をどう推進するか イ 住民自治を人づくり・地域デザインの源泉と捉え一層の推進を図るためには何が必要か ウ 職員の「現場感覚」をどう磨いていくか ③ ラフだが発想豊かで感性に訴えることができる人材育成について ア 飯田版小中連携・一貫教育の中でどう取り入れていくか イ 学輪IIDAをよりオープンにし、人づくり・地域づくりに生かせないか |

| No. | 氏 名 | 項 目 ・ 要 旨 |
|-----|--------------------|---|
| | 湯 澤 啓 次 | <p>ウ 職員の「想像力と創造性」を磨くためにはマネジメント体制の見直しも必要ではないか</p> <p>(4) デザイン思考的アプローチをリニア推進ロードマップにどのように取り入れていくか</p> |
| 3 | 伊 壺 敏 子 (日本共産党) | <p>1 安心安全そしておいしい学校給食を提供するために</p> <p>(1) 調理場施設の整備方針について</p> <p>① 竜峡・丸山共同調理場が管理基準不適合であり、保健所より指導されているのに放置してきたことは大問題である。早急に改築すべきと思うがどうか</p> <p>② 調理食数の上限を1,000食以内と考え、当面改築が計画されている竜峡共同調理場を2分割してはどうか</p> <p>③ 大型の矢高共同調理場は、大型設備機器の更新時期を迎えている。大規模校については、自校調理方式に切り替えていくべきと思うがどうか</p> <p>(2) 調理業務について</p> <p>① 共同調理場での雇用形態の改善はできたか</p> <p>② 今後の調理業務の運営方針はどのようなものか</p> |
| 4 | 吉 川 秋 利 (会派のぞみ) | <p>1 市長の経済政策について</p> <p>(1) 市政のかじ取りはどのように考えているか</p> <p>(2) 「デザイン思考的アプローチによる地域創造」を分かり易く説明するとどういう事か</p> <p>(3) 政府の景気対策と関連した飯田市の経済政策をどのように進めていくか</p> <p>2 公共施設の耐震診断と対策について</p> <p>(1) 飯田市公民館の耐震診断の結果は</p> <p>(2) 文化施設などの再配置に関する改革プランの中でどのような方向性を出していくか</p> <p>3 飯田線の駅無人化に関連して</p> <p>(1) 広報広聴の必要性については、どのようにとらえているか</p> |
| 5 | 清 水 可 晴 (市民パワー) | <p>1 デザイン思考的アプローチによるまちづくりについて</p> <p>(1) デザイン思考的アプローチによる地域創造に期待するものは</p> <p>① 市長の思いをどのように市民に伝えていくか</p> <p>ア デザイン思考的アプローチによる地域創造とした理念は何か</p> <p>イ 市長の思いをどのように市民に伝え、政策に反映していくか</p> <p>② デザインを核とするモデル地域を創造するためには</p> <p>ア デザイン人材の発掘の考えは</p> <p>イ 高等教育機関や研究機関、スタジオ等が集積するデザインセンター機能とは</p> <p>③ リニア時代を見据えた中心市街地活性化基本計画の見直しは</p> <p>ア りんご並木・動物園の整備で中心市街地への吸引力は高まっているか</p> <p>イ 中心市街地活性化基本計画の見直しの方向は</p> <p>ウ 桜並木の再生整備を市民検討委員会が提言したが、市長の受け止めと整備方針は</p> <p>エ 南信運輸免許センターと中心市街地活性化の効果は</p> |

| No. | 氏 名 | 項 目 ・ 要 旨 |
|-----|-----------------------|--|
| | 清 水 可 晴 | 2 工業振興について (1) 既存企業の育成と新産業支援策について ① 工業界の受発注の現状と今後の見通しは ② 中小企業金融円滑化法の終了における企業支援策について ア 中小企業の利用状況と現状は イ 金融円滑化法終了後の対応と支援策は ③ 市営工業団地の立地状況について ア 市営工業団地の販売状況は イ 市内の工業用地の現状と対策は ウ 新工業団地の造成計画は ④ 新産業クラスターへの取り組みと支援策について ア 支援の仕組みと支援策は |
| 6 | 林 幸 次 (公 明 党) | 1 市長3期目の政治姿勢について (1) リニア時代を見据えた展望について ① リニア時代の展望をどう描くか ② 交流人口受入れのための観光振興は ③ 中山間地域の振興は 2 通学路の安全対策について (1) 緊急合同点検の実施結果は (2) 対策必要箇所の公表はどうか (3) 対策必要箇所の対策はどうか進めるか 3 学校施設の耐震化対策について (1) 非構造部材の耐震点検の実施結果はどうか (2) 非構造部材の耐震対策の取組み方針は |
| 7 | 村 松 まり子 (公 明 党) | 1 障がい者が地域社会の中で自立して暮らしていくための取り組みについて (1) 障害者優先調達推進法について ① 障害者優先調達推進法の概要は ② 法律制定を受けて市の今後の取り組みは (2) 障害者総合支援法の施行を受けて市の障がい者福祉施策の考え方は 2 アレルギー疾患を持った子どもへの対応について (1) 小・中学校におけるアレルギー疾患の実態はどうか (2) 学校におけるアレルギー疾患への取り組みと今後の対策は (3) 食物アレルギーの子どもをどのように把握し、事故防止のためどのように取り組んでいるか (4) 教職員による自己注射液エピペンの取り扱いは 3 骨髄ドナーの継続的確保について (1) 「骨髄ドナー助成制度」を創設してはどうか (2) ドナーに対する市の介護や子育て支援対策は (3) 造血幹細胞移植推進法第10条への具体的な取り組みは |
| 8 | 牛 山 満 智子 (無 会 派) | 1 住民基本台帳法について (1) 住民基本台帳とはどういうものか (2) 「住基ネット」とはどういうものか ① 住基ネットへの自治体の加入率はどのようか (3) 「写真付き住民基本台帳カード」について ① 飯田市住民の利用実態はどのようか |

| No. | 氏名 | 項目・要旨 |
|-----|------------------|---|
| | 牛山 満智子 | <p>② カードの利用価値を上げるということだったがどのようになったか</p> <p>(4) 住基ネットに加入すると運営費等で毎年約600万円負担ということだったが、実態はどうなっているか</p> <p>(5) 住基ネットを今後も継続する必要があると考えるか</p> <p>2 市町村が参加する県の会議の旅費等について</p> <p>(1) 飯田市における県主催会議への出席の旅費は年間どれ位になるか</p> <p>(2) 開催場所は長野市や松本市に偏っていないか</p> <p>(3) 開催場所の北高南低の解消を提案するか、旅費のプール制の提案はできないか</p> |
| 9 | 湊 猛 (会派のぞみ) | <p>1 自然エネルギーの推進について</p> <p>(1) 小水力発電事業の取組み状況は</p> <p>(2) 上村地区で地元住民が主体となって小水力発電所を建設する計画になっているが、現在の進捗状況は</p> <p>(3) 今後小水力発電所建設に向けての取組み及び着工の見通しは</p> <p>2 児童クラブ事業について</p> <p>(1) 現在の児童クラブの運営状況は</p> <p>(2) 放課後子ども教室と放課後児童クラブとの相違点は</p> <p>(3) 今後新しい児童クラブの設置を考えているか</p> <p>3 結婚相談所等における支援の取組みについて</p> <p>(1) 社会福祉協議会に委託し結婚支援アドバイザーを設置し活動しているが現状は</p> <p>(2) 広域的な取組みでの連携は</p> <p>(3) 今後市として予算を拡充し、交流の場を多くする考えは</p> |
| 10 | 永井 一英 (公明党) | <p>1 雇用の創出(産業振興)、就業支援について</p> <p>(1) 高校を卒業し飯田を離れた若者が飯田に戻って働けるためにどのような角度から政策を打っていくか</p> <p>(2) リニア時代を見据えた飯田市の産業のあるべき姿、これを担う人材の育成・誘導は如何にあるべきと考えるか</p> <p>(3) 失業した若者の再雇用についてはどのような政策を打っていくか</p> <p>(4) 就労意欲を喚起する政策は</p> |
| 11 | 後藤 荘一 (日本共産党) | <p>1 市財政について</p> <p>(1) 平成24年度の決算見込みについて</p> <p>① 税収等歳入の状況は</p> <p>② 歳出で特に大きく伸びたものは</p> <p>③ 起債残高や、基金の状況は</p> <p>(2) 安倍政権の政策に対する考えは</p> <p>① 今回の国の緊急経済対策は地域経済を立て直すものとなっている</p> <p>② TPP(環太平洋戦略的経済連携協定)参加表明の方向が強まっているが、市長の考えは</p> <p>(3) 平成25年度の予算案はどのように歳入歳出のバランスをとって組み立てたか</p> <p>① 予算要求時450億円近くの歳出要求は、どう調整したか</p> <p>② 地域の厳しい経済状況下で、市民の暮らしを守る予算をどう組み立てたか</p> <p>③ リニア中央新幹線飯田駅整備推進基金の目標額は</p> <p>(4) 臨時財政対策債について</p> |

| No. | 氏 名 | 項 目 ・ 要 旨 |
|-----|--------------------|--|
| | 後 藤 荘 一 | <p>① 将来のため発行額を減らしていく必要があると考えるがどうか</p> <p>(5) 国民健康保険特別会計について</p> <p>① 平成24年度の国保会計の動向は</p> |
| 12 | 木 下 克 志 (会派のぞみ) | <p>1 市民総健康について</p> <p>(1) 生活習慣病について</p> <p>① どの様な対策に取り組んでいるか</p> <p>② 悪性新生物とは何か</p> <p>(2) 保健師の取り組みについて</p> <p>① 特定検診やがん検診率アップの取り組みについては保健師の活動にも限度がある。これをどう考えるか</p> <p>② 訪問指導事業は大いに有効だが労働力等にも限界がある。これをどう考えるか</p> <p>(3) 社会活動などを通じ体を動かすことを推進すべきと考えるがどうか</p> <p>(4) 国保財政の広域化について</p> <p>① 広域化について飯田市の考えはどうか</p> <p>2 コンクリート構造物の劣化について</p> <p>(1) 中央自動車道笹子トンネルの天井板崩落事故に端を発したコンクリート劣化への対応について</p> <p>① 飯田市が管理するトンネルはいくつあるか。点検状況はどうか。また、点検できる技術者は何人いるか</p> <p>② コンクリートの寿命(耐用年数)は何年か</p> <p>(2) 市が管理する構造物について</p> <p>① 市が管理する橋りょうで寿命を超えている物件はどの位か。また、対策を要する件数はどうか</p> <p>② これらの定期検査はどの様に行っているか</p> <p>③ コンクリートを使用している河川及び建造物はどうか</p> <p>④ これらの検査マニュアルは整っているか</p> <p>(3) 河川の石積みの劣化にはどう対応しているか</p> |
| 13 | 木 下 容 子 (市民パワー) | <p>1 空き家の適正管理について</p> <p>(1) 飯田市における空き家の現状はどうか</p> <p>(2) 空き家管理に対しての市民からの苦情や要望の内容、件数はどうか</p> <p>(3) 空き家の利活用をどのように進めるか</p> <p>(4) 危険な空き家に対しての対策はどうか</p> <p>(5) 国の支援を受けて進められる対策はないか</p> <p>2 生命を大切に作る取り組みについて</p> <p>(1) 教育現場での取り組みについて</p> <p>① 小中学校におけるいじめの実態はどうか</p> <p>② いじめをなくすためにどう取り組んでいるか</p> <p>③ 高森町におけるいじめ防止条例制定の動きについてどのように考えるか</p> <p>(2) 心の健康の推進について</p> <p>① 地域健康ケア計画における心の健康への対応はどうか</p> <p>② 自殺未遂者に対してケアをする仕組みづくりに取り組む考えはあるか</p> |

| No. | 氏 名 | 項 目 ・ 要 旨 |
|-----|----------------------|--|
| 14 | 下 平 勝 熙 (市民パワー) | 1 雇用・労政関係について (1) 雇用情勢について ① 飯田市の民間における雇用の現状はどのようになっているか ② 市役所の正規職員・非正規職員の比率と、業務の違いは何か ③ 非正規職員の正規職員化は考えないか ④ 高齢者雇用安定法が改正され4月から企業に義務化される。民間の現状を把握しているか ⑤ 市役所は65歳まで働ける制度の検討はしているか (2) 賃金・所得の底上げについて ① 市民税に影響のある、市民所得の向上に行政はどのような政策を考えるか ② 国は地方公務員給与のカットを強要している。デフレ脱却と反するが市長の考えは ③ 民間では所得底上げの状況にあるか 2 地域協議会について (1) 基本構想・基本計画に地域協議会システムを明確に位置づける必要があると思うがどうか (2) 地域協議会の権限・機能を高める必要があると思うがどうか |
| 15 | 森 本 美 保 子 (会派みらい) | 1 公民館活動について (1) 今年度50回の節目を迎えた公民館大会で「住民自治を育む公民館の新たな挑戦」のテーマについて ① 地域自治、住民自治のため公民館の果たす役割は ② 公民館長の位置づけは 2 医療関係について (1) がん検診について ① 子宮頸がん検診について ア HPV併用検査とは イ 子宮頸がんは、ウイルスにより発生するものであるため、高齢者の検診についての見直しは (2) 看護師について ① 飯伊地方の慢性的な看護師不足が課題であるが、医療機関はもとより、福祉施設でも、同様であり苦慮している。対策について市の考えは 3 人形劇のまちづくり推進事業について (1) 8月に15周年を記念して、「アジア人形劇フェスティバル」が開催されるが、取り組み状況は (2) 新たな仕組みづくりとして、NPO法人「いいだ人形劇センター」が設立されたが活動方針と役割は。又、行政とのかかわりは 4 男女共同参画について (1) 第5次飯田市男女共同参画計画を作成したが、どのような啓発と普及を進めていくか。又、重点策は 5 NPO法人に対する支援について (1) ムトス飯田支援事業について、ムトス飯田市民ファンドを通じ、NPO法人に融資するとあるが、その内容は (2) 税制面での優遇措置についてどのようなものがあるか 6 福祉について (1) 地域福祉計画策定の考えは |

| No. | 氏名 | 項目・要旨 |
|-----|-------------------|--|
| 16 | 清水 勇 (会派のぞみ) | 1 平成25年度飯田市予算案について (1) 25年度予算案の特徴と、歳入・歳出予算の基本的な考えは (2) 持続可能な行財政運営を進めているとあるが、現状はどうか 2 25年度予算案と5つの基本方針について (1) 5つの基本方針の考えと具体的取り組みは (2) 5つの基本方針を進めるにあたり、市長が掲げている「デザイン思考的アプローチ」をどのように活かしていくか |
| 17 | 井 坪 隆 (会派みらい) | 1 「文化経済自立都市」の実現について (1) 地域経済活性化プログラム2013の「経済自立度」は、どのような意味を持つか (2) 市長は、「文化と経済が融合する地域創造」を、どのようにして進める考えか |
| 18 | 新井 信一郎 (会派のぞみ) | 1 リニア中央新幹線について (1) JR東海は、長野県を窓口として計画を進めているが、飯田市と県、JR東海とのかかわりはどういう状況か (2) リニアを見据えた地域づくりには、情報共有は欠かせないが、長野県、JR東海、飯田市の情報共有はできているか (3) JR東海から、飯田市に任期付き人材招へいを考えてはどうか 2 公教育環境について (1) 地域特性を活かした授業カリキュラムは今後さらに必要と考えるがどうか (2) 長野県が構想している「知の分権」について、飯田市はどう考えるか (3) 県教育委員会が持つ「小中学校教員の人事権」について、飯田市はどう考えているか (4) 子どもの人権や地域で人材を育成する観点から「こども条例」等の制定を考えてはどうか 3 高等教育について (1) 飯田市は、文部科学省所管の四年制大学設置と、既存の厚生労働省所管の県飯田技術専門校堅持という方針に変わりはないか |
| 19 | 原 勉 (会派みらい) | 1 庁舎建設について (1) 庁舎機能について ① 「市民のため」にどの役所側の発想とのギャップは ② 「出かける」側と「受け入れる」側の意識差を捉えているか (2) ワンストップ窓口とは ① 市民の「たらいまわし」批判への対応は ② 「総合窓口」はメインフロアを独占してしまうのでは ③ 必要な窓口機能とは (3) 親しまれる庁舎とは ① 「役所に行きたい」市民はいるか ② 雑談、苦情の「お得意様」はなぜ発生するか ③ 「市民食堂」は必要か (4) 長寿命化と「ハコ」から「機能」へ 2 「広報いいだ」について (1) 「広報いいだ」は広報誌かそれとも広報紙か (2) 住民力を高めるきっかけづくりとすべきでは ① 地域に密着し、地域力の向上に役立てるべきでは |

| No. | 氏名 | 項目・要旨 |
|-----|-----|--------------------------|
| | 原 勉 | (3) 広報制作担当は専門性とプロ意識が必要では |

②第2回定例会一般質問通告表（一問一答方式）

平成25年6月10、11日

| No. | 氏 名 | 項 目 ・ 要 旨 |
|-----|--------------------|--|
| 1 | 竹 村 圭 史 (会派のぞみ) | 1 通学路の安全対策について (1) 平成25年5月に発生した通学途上における事件に対する受け止めは (2) 通学路の安全対策は ① 危険箇所のハード対策に関し、短期で整備する箇所の年次展開計画はどうか ② 通学路への防犯灯設置は地区で検討し、要望をあげることとなっているが、その状況はどうか 2 公園整備について (1) 安心して遊ぶことができる公園整備は ① 緑の基本計画に基づく都市公園整備の進捗状況はどうか ② 都市公園以外の公園整備状況はどうか ③ 公園整備後の利用状況はどうか |
| 2 | 湯 澤 啓 次 (会派のぞみ) | 1 実効性あるリニア推進ロードマップとするために (1) リニア推進と並行し、深刻化する少子高齢化・人口減少社会への対応を真剣に考え取り組むべきでないか ① 「予防福祉」の考えは ② 交流人口から、雇用、定住人口へのサイクル構築は ③ 飯田を、絆や暮らしを重視したリニア通勤圏とする戦略はあるか (2) リニア将来ビジョンの具現化について ① 市民・団体・企業とビジョンの共有をいかに図るか ② 新たな価値を創造する具体的な仕組みづくりは ③ ロードマップに価値創造を実現するためのプロセスを明示できるか (3) ロードマップにある「(仮称) リニア地域づくりムトス実践会議」について ① どのようなものか ② 庁内会議、プロジェクト会議との関係は ③ ムトス実践会議を「真の現場主義」「多様な主体の協働」の場とできるか 2 リニア駅周辺の社会基盤整備について (1) 社会基盤整備に対する基本的考え、構想について ① デザイン思考的アプローチの視座から検討するとあるが、具体的には何か ② リニア駅周辺整備の基本的考えは ③ 整備すべき基幹道路は ④ 構想策定に専門的知見(都市計画)を入れるべきでは ⑤ 市民、地元住民の声にどう耳を傾けるか ⑥ 整備構想・計画はいつ発表されるか (2) 今後の進め方は |
| 3 | 福 沢 清 (会派みらい) | 1 マイナンバー法について (1) マイナンバー法について飯田市の考え方はどうか ① 国からの説明はあったか |

| No. | 氏 名 | 項 目 ・ 要 旨 |
|-----|-------------------|---|
| | | ② マイナンバー法導入について飯田市の考え方と準備はどうか ③ 市民への周知はどのようにするか (2) 個人情報保護についてこの法律との関連で飯田市の対策はどうか (3) 個人番号カードを活用した施策はどうか 2 ふるさと納税について (1) ふるさと納税の目的は何か (2) 全国的な傾向はどうか (3) 県下の取り組みはどうか (4) 飯田市の実績はどうか (5) 飯田市として今後どう取り組むか |
| 4 | 清水 可 晴 (市民パワー) | 1 安倍政権の政策に関する市長の政治姿勢及び当面の諸課題について (1) アベノミクス経済政策を市長はどのように受け止めているか ① 地域経済への影響については ア 地域経済の実態は イ 国の成長戦略と地域経済活性化プログラムとの整合は ② 景気対策のための公共事業の導入と財政規律については ア 何を重点化するか イ 有利な起債が増発されるが、財政運営目標は (2) 地方公務員給与費に係る地方交付税の一方的な削減について ① 地方交付税の削減に関する市長の受け止めは ア 長野県市長会で地方交付税の削減に関する緊急決議に至った経過とその問題点は ② 平成26年度地方財政計画への働きかけは (3) TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）交渉参加と市民生活への影響について ① TPP交渉参加でいのちと暮らしはどのような影響があるか ア 農業に与える影響は イ 食の安心・安全、医療、保険などへの影響は (4) 憲法96条の改正論議に対する市長の受け止めは ① 市長の憲法観と96条改正の動きについては (5) 4月の農作物凍霜害について ① 霜注意報発令予測と農家への周知は ② 防霜ファンの普及と支援策は ③ 農家所得の減収に対する所得補償は 2 ユニバーサルデザインのまちづくりについて (1) ユニバーサルデザインのまちづくりにおける道路維持補修の考え方は ① 車優先から歩行者をも考えた指針に見直す考えは |
| 5 | 湊 猛 (会派のぞみ) | 1 持続可能な森林づくりの強化策について (1) 飯田市産材(遠山杉)の利用促進は (2) 国の森林・林業再生プランに伴う、生産コストの削減のための路網整備と高性能林業機械の導入推進は (3) 集積される素材からバイオマスエネルギー資源としての利用促進は (4) ウッド&アースが営業停止してから、はや1年以上経過し、新体制が事業を継承することになっている。現在営業されていないが、どうなっているか |

| No. | 氏 名 | 項 目 ・ 要 旨 |
|-----|--------------------|--|
| | 湊 猛 | (5) 林道千遠線整備事業について、開通の見通しは (6) 今後の林業・木材産業の活性化に向けて市独自の支援策は持っているか、また、自然の恵みを守る水資源の管理について市長の考えは |
| 6 | 森 本 政 人 (市民パワー) | 1 公共交通の現状と課題について (1) リニア飯田駅設置に関する諸課題について ① JR東海が発表した新駅構想について ア 市長の受け止め方は イ 水源・史跡等の環境保全に支障はないか ウ 飯田線との接続は エ 中央道等道路とのアクセスは ② 新駅の名称について (2) 飯田線の存続と駅無人化の対応について ① 飯田線の活用策は ② 無人駅となったがその影響は ③ 他の町村では有人対応しているが、今後飯田市では考えないか ④ 無人駅の活用について 2 学校用務員の業務について (1) 学校用務員の現状はどうか (2) 減員と聞くがその理由は (3) 減員による業務への影響、また、教師の負担増はないか |
| 7 | 古 川 仁 (日本共産党) | 1 飯田市の子育て支援について (1) 市民意識調査からうかがえる子育て支援について、どう見るか ① 現状の保育料等は ② 4月からの保育料の改定内容と減額の対象人数は ③ 保育料の減額をさらに拡大してはどうか (2) お祝い金制度の創設は ① 市の取り組み状況は ② 出産祝い金や入園・入学の祝い金の制度を考えてみたらどうか 2 若者の雇用について (1) 若者の安定した雇用・収入は ① 若者の雇用の現状は ② 若者の離職率は ③ 安心して子育てするために若者の雇用は重要である。市として何らかの対策をしているか |
| 8 | 山 崎 昌 伸 (無会派) | 1 安心・安全のまちづくりについて (1) 減災の視点の重要性が高まる中で、市としての取組はどうか ① 食料、飲料水などの自治体としての備蓄の状況は ② 企業単位、家庭単位の備蓄の状況は ③ 家庭単位での備蓄への支援に対する考え方は ④ 災害時相互応援協定の締結の状況は ⑤ 災害時相互応援協定を更に進めていく考えは 2 市民の運転マナー向上への意識付けについて (1) 南信運転免許センターに期待する効果は |

| No. | 氏名 | 項目・要旨 |
|-----|-----------------|--|
| | 山崎昌伸 | <p>(2) 交通安全度の指標となるような数値として把握しているデータにはどんなものがあるか</p> <p>① 人身、物損、自損事故の発生率の推移は</p> <p>② 全国または県内での飯田市の安全度のレベルは</p> <p>(3) 三遠南信自動車道の全通を見据えて、今が更なる交通安全の推進と運転マナー向上への意識付けの好機と捉えられないか</p> <p>① 今後、市として取り組んでいく予定や計画は</p> <p>3 選挙におけるコストダウンと住民サービスのあり方をどう捉えるか</p> <p>(1) 投票所の開設及び運用実態は</p> <p>(2) 午後7時以降の投票者数の推移は</p> <p>(3) 期日前投票利用者の推移は</p> <p>(4) 投票時間を現状の午後8時までとした場合と、仮に午後7時で終了とした場合の人件費の差は</p> <p>(5) 今後の投票所の運用について市の考え方は</p> |
| 9 | 木下克志 (会派のぞみ) | <p>1 市民意識調査について</p> <p>(1) 調査結果と地域の組織力について</p> <p>① 回収率が毎回およそ50%で推移しているがこれをどう考えるか</p> <p>② この回収率と投票率低下の関連を分析したか</p> <p>③ 問22「住んでいる地域で行っている活動の内容や課題を知っているか」の調査結果をどう考えるか</p> <p>④ この調査結果と地域力組織力低下との関連についてはどうか</p> <p>ア 組合未加入の現状と課題は</p> <p>イ 消防団確保の現状と課題は</p> <p>ウ いいだシニアクラブ連絡会の現状と課題は</p> <p>エ その他任意の団体の状況は</p> <p>⑤ 子育てについては</p> <p>ア 目標値についてどう考えているか、その根拠は</p> <p>イ その先にある目指すものは</p> <p>⑥ 危機管理については</p> <p>⑦ 調査結果のフォローと行政評価との関連性は</p> |
| 10 | 吉川秋利 (会派のぞみ) | <p>1 高等教育機関について</p> <p>(1) 南信州広域連合主催のシンポジウムがあったが、市長としてどのような高等教育機関を目指しているか</p> <p>(2) どこが主体となり、どのように検討を進めていくか</p> <p>(3) スケジュール的にはどのように考えているか</p> <p>(4) 立命館アジア太平洋大学との協定はどのように進展しているか</p> <p>(5) 学輪 I I D A と大学の誘致とは根本的に異なると考えているが</p> <p>① 市長の考えはどうか</p> <p>② 市長はどのような大学をイメージしているか</p> <p>(6) 若者の流出の観点から</p> <p>① 就業に関する何らかの資格の取得が必要と考えるが、市長はどのように考えているか</p> <p>② キャリア教育の目的をどのように捉えているか</p> <p>③ いったん飯田を離れた若者が帰ってくるための受け皿として必要なものは何と考えるか</p> |

| No. | 氏名 | 項目・要旨 |
|-----|--------------------|---|
| 11 | 井 坪 隆 (会派みらい) | 1 「人口減少の時代」「縮小社会」への対応について (第5次基本構想における将来展望の視点から) (1) 予測される「定住人口の減少」への、第5次基本構想における対応について ① 急務の対処を迫られるものは何か ② 『協働のまちづくり』をどのように考えるか |
| 12 | 村 松 まり子 (公明党) | 1 防災・減災対策の強化について (1) 内閣府が公表した南海トラフ巨大地震対策の最終報告書について ① 市長の見解はどうか ② 「事前防災」への取り組みは (2) 災害対策基本法改正案と市の取り組みについて ① 事業継続計画の取り組み状況は ② 災害時要援護者の名簿義務化とその取り扱いをどうするか ③ 避難所における生活環境の整備をどう進めるか ④ り災証明書の速やかな発行のための体制づくりはどうか (3) 内閣府が発表した「防災対策に女性の視点を反映させるための指針」を防災計画にどのように生かしていくか 2 「先天性風しん症候群」への対応について (1) 風しんの流行と先天性風しん症候群の状況は (2) 妊娠初期の注意事項は (3) 妊娠を予定・希望している女性やその夫へのワクチン接種費の助成はできないか 3 公文書管理について (1) 公文書管理の現状はどうか |
| 13 | 後 藤 荘 一 (日本共産党) | 1 道州制について (1) 道州制導入が議論される中、全国市議会議長会の会長も懸念の声を上げていたが、道州制導入に対してどう考えるか 2 凍霜害対策について (1) 県の支援を受けるべきと考えるが、考えはあるか 3 市税等の収納対策について (1) 昨年度の差し押さえ件数と金額はどう推移しているか (2) 児童手当や児童扶養手当など子どもに充てた手当からの差し押さえはないか (3) 昨年度、滞納整理機構に送った事案の状況はどうか (4) 生活の状況を把握して差し押さえを強化しているか |
| 14 | 小 倉 高 広 (日本共産党) | 1 買い物困難者対策について (1) 買い物が困難な高齢者の実態はどうなっているか ① 中心市街地の高齢者の実態はどのようなか ア 高齢化率や一人暮らし及び高齢者世帯の状況はどうか ② 中心市街地の商店の閉店状況はどのようなか ア ここ10年間で中心市街地の商店は何軒閉店したか ③ 中心市街地の高齢者はどこへ、どのような手段で買い物に行っているか把握しているか (2) 買い物困難者に対する飯田市のこれまでの検討及び対策はどうなっているか ① これまでの検討の経過及び課題として見えてきたものは何か ② 飯田市内における取り組みにはどのようなものがあるか |

| No. | 氏 名 | 項 目 ・ 要 旨 |
|-----|--------------------|---|
| | 小 倉 高 広 | <p>③ 「しあわせ市場」への市の関わり、また、現状と課題認識はどのようなか</p> <p>(3) 今後の対策はどうあるべきか</p> <p>① 下高井郡山ノ内町社会福祉協議会が行っている「わくわく商店街」のような「買い物」＋「交流」＋「送迎」の場を飯田市でも設置してはどうか</p> <p>2 生活保護法改正への飯田市の対応について</p> <p>(1) 生活保護水準の引き下げについて、どう考えるか</p> <p>① 8月に施行される生活保護水準の引き下げはどの位か。水準の引き下げは受給者の生活にどのような影響を及ぼすか</p> <p>② 水準の引き下げが賃金水準及び低所得者対策に及ぼす影響はどのようなものか</p> <p>(2) 生活保護法改正の内容はどのようなものか</p> <p>① 申請時における収入・資産を記した書類の提出の義務化をどのように考えるか。それは、行政に助けを求めてきた人たちを窓口で返すことにならないか</p> <p>② 申請者の親族の収入や資産の報告の義務化は適正か。それは、申請者の心理を委縮させ申請をためらわすことにならないか</p> <p>(3) この改正に飯田市はどのように対応するか</p> |
| 15 | 原 和 世 (会派みらい) | <p>1 凍霜害被害について</p> <p>(1) 凍霜害被害に対する対応に関して</p> <p>① 被害発生と情報収集は</p> <p>② 被害額の把握に関し関係機関との連携は</p> <p>③ 被害想定に基づいた段階的な支援策は</p> <p>④ 今後の予防策は</p> <p>2 人口減少社会の中でどうリニア・三遠南信自動車道時代を迎えるかについて</p> <p>(1) 人口減少社会がどう飯田市の自治行政に影響を及ぼすのかに関して（長期的視点に立って）</p> <p>① 人口推計値から想定される人口減少社会に対する認識は</p> <p>② 住民自治の単位でもある通学区制度や住民自治に対する影響は</p> <p>③ 人口減少社会とどう向き合うのか</p> <p>ア 長期的視点に基づいたロードマップの検討は</p> <p>イ 成長から安定、成熟社会への価値観の転換は</p> <p>(2) リニア・三遠南信自動車道時代を見越した地域づくりに関して（中期的視点として）</p> <p>① 今年度の市政懇談会の意図するところは</p> <p>② リニア・三遠南信自動車道時代を見越した地域力アップのために各地区への支援のあり方は</p> |
| 16 | 熊 谷 泰 人 (会派のぞみ) | <p>1 飯田市街地の道路整備について</p> <p>(1) 都市計画道路羽場大瀬木線の開通に伴う中心市街地へのアクセス道路の整備について</p> <p>① 羽場大瀬木線開通に伴い、市庁舎等中心市街地への交通量の増加をどの程度考えているか</p> <p>② 都市計画道路知久町妙琴線の改良について</p> <p>ア 白山通りから箕瀬二丁目区間の改良計画は</p> |

| No. | 氏名 | 項目・要旨 |
|-----|-----------------|--|
| | 熊谷泰人 | <p>イ 幅員についての考えは ウ JRの跨線橋（白山橋）の強度はどうか</p> <p>③ 主要地方道飯田南木曾線の改良について ア 知久町踏切の改良見通しは</p> <p>(2) 都市計画道路整備と一体で進めることになっていた丸山羽場第三・四地区区画整理事業について</p> <p>① 市長の考えは ② 幹線道路以外の道路について今後どのように整備していくか ③ 予想される宅地開発について何らかの規制はできないか</p> <p>2 文化芸術の振興及びスポーツの振興について</p> <p>(1) 市民意識調査の集計結果について</p> <p>① 「文化芸術活動を行っている人の割合」、「スポーツを行っている市民の割合」の結果について市の見解は ② それぞれの割合について、目標値はあるか ③ 具体的な取り組みは</p> <p>(2) 活動の拠点となる文化スポーツ施設について</p> <p>① 各種競技の国際大会など大規模イベントに対応できる総合体育施設を望む声があるかどうか</p> |
| 17 | 永井一英 (公明党) | <p>1 生活保護を受けるには至っていないが、経済的に困窮し最低限度の生活を維持することができなくなるおそれのある世帯（生活困窮世帯）への対応について</p> <p>(1) 生活保護世帯の急増が全国的に問題になっているが飯田市の実態は</p> <p>(2) 飯田市における生活困窮世帯の実態は (3) どのように対応しているか</p> <p>2 子どもの貧困への対策について</p> <p>(1) 国においては、増加傾向にある子どもの貧困への対策が議論されているが承知しているか (2) 飯田市における実態は</p> <p>3 求職活動に至っていない若者への就労支援について</p> <p>(1) 就労意欲を喚起する政策は</p> |
| 18 | 木下容子 (市民パワー) | <p>1 竹林・森林整備と林業の活性化について</p> <p>(1) 竹林整備と竹材の活用について</p> <p>① 全国的に竹林の過繁茂が問題となっているが、飯田市の状況はどうか ② 竹林整備の必要性をどのように認識しているか ③ 竹材の活用に向けた取り組みはどうか</p> <p>(2) 森林整備と林業の活性化について</p> <p>① 飯田市が行う公共建築物における木材利用の促進について ア 「公共建築物・公共土木工事における木材利用の促進計画」策定の状況はどうか イ 公共建築物等における飯田市産材使用状況と今後の見通しは ② 民間への飯田市産材利用普及の状況は</p> <p>(3) 竹林・森林の整備、活用に関して</p> <p>① 民間活力をいかして、竹林・森林整備、活用に取り組めないか ② 県の森林づくり県民税が今年度以降も継続されたと聞くが、その状況は</p> |

| No. | 氏 名 | 項 目 ・ 要 旨 |
|-----|----------------------|---|
| | 木 下 容 子 | <p>2 飯田市の平和政策について</p> <p>(1) 市の平和に対する取り組みについて</p> <p>① 平和に対する市長の思いはどうか</p> <p>② 「平和市長会議」への参加について現状は</p> <p>(2) 平和と人権教育への取り組みについて</p> <p>① 満蒙開拓平和記念館を学校教育における平和・人権学習にいかす取り組みについてどう考えるか</p> <p>② 取り組むためには、支援が必要と考えるが、どうか</p> |
| 19 | 清 水 勇 (会派のぞみ) | <p>1 飯田市の工業用地について</p> <p>(1) 工業用地の現状はどうか</p> <p>(2) 今後の用地確保はどのように考えているか</p> <p>(3) 三遠南信自動車道をいかした工業用地確保についてどう捉えているか</p> <p>(4) 既存企業の支援について今後どのように進めていくか</p> <p>2 三遠南信自動車道とアクセス道路について</p> <p>(1) 三遠南信自動車道の状況は</p> <p>(2) アクセス道路の考え方と取り組み内容は</p> <p>3 中山間地域振興計画について</p> <p>(1) 地域振興住宅の現在までの建築戸数と入居人数はどうか</p> <p>(2) 今後の取り組みについてどのように考えているか</p> <p>4 子育て支援について</p> <p>(1) 現在の保育料支援の内容はどうか</p> <p>(2) 今後の保育料支援の考え方はどうか</p> |
| 20 | 木 下 徳 康 (会派のぞみ) | <p>1 松尾地区の水害対策について</p> <p>(1) 松尾地区の水害のリスクをどのように捉えているか</p> <p>① 鷲流峽を控え低地であるこの地形をどう見ているか</p> <p>② 防災ハザードマップの浸水想定地域はどうか</p> <p>③ 祝井沢川及び下毛賀ひ門の必要性和内水排除はどうか</p> <p>④ 越流した場合の想定、シミュレーションをしているか</p> <p>(2) 水害のリスクを下げる方策はあるか</p> <p>2 飯田市の交通対策について</p> <p>(1) 重要路線（国道151号）の松尾地区における渋滞状況について</p> <p>① 現状をどう捉えているか</p> <p>② 現状を問題視しているか</p> <p>③ 迂回路等の対策は考えているか</p> |
| 21 | 新 井 信 一 郎 (会派のぞみ) | <p>1 凍霜被害から見る農業の現状と今後の農業政策について</p> <p>(1) 凍霜被害の状況は</p> <p>(2) 現在までに行った対応は</p> <p>(3) 今後の被害対応は</p> <p>(4) 農作物・農業をモチーフにした環境整備をどう考えるか</p> <p>① りんご並木は</p> <p>② アップルロードは</p> <p>(5) リニア時代に相応しい飯田市の「農ある風景」として、今後の農業政策について</p> <p>① 農業教育環境は</p> <p>② 小さな世界都市にふさわしい農業のあり方は</p> |

| No. | 氏 名 | 項 目 ・ 要 旨 |
|-----|-----------|--|
| | 新 井 信 一 郎 | ③ 第6次産業としての取り組み状況は 2 民生児童委員について (1) 活動状況は ① 民生児童委員の役割は ② 社会ニーズの現況は (2) 人材確保の現状をどう考えるか (3) 委員の活動環境整備をどう考えるか |

③第3回定例会一般質問通告表（一問一答方式）

平成25年9月4、5日

| No. | 氏名 | 項目・要旨 |
|-----|------------------|---|
| 1 | 吉川 秋利 (会派のぞみ) | <p>1 リニア中央新幹線飯田駅設置について</p> <p>(1) 長野県の「南の玄関口」、三遠南信の「北の玄関口」と位置付けているが、「玄関口」という考えではなく、南信州の駅とするべきと思うが、どう考えているか</p> <p>(2) 東北新幹線の新花巻駅の取り組みと、新青森駅を比較するとその違いは歴然である。中心市街地に関して言えば、青森と飯田は中心市街地から同じ程度距離を持った駅となるが、どのように分析しているか。また、どのような方向性を持っているか</p> <p>(3) 恒川遺跡群を国史跡指定に申請し、JR東海にはこの地域を回避するように求めている。しかし、古代伊那郡衙（都と信濃をつなぐ古代の役所）と現在の都（東京）と南信州をつなぐリニア飯田駅のコラボレーションを考えられないか</p> <p>(4) リニア中央新幹線に関する各種会議は検討会、勉強会、ワーキンググループを含めると、六つの会議がある。飯田市民の考えを把握し、飯田市の方向性を持って会議に当たり、コンセンサスを得るべきと考えるが、どのような対応となっているか</p> <p>(5) リニア中央新幹線に関する検討及び決定に関しての南信州広域連合と飯田市の立ち位置についてはどのように解釈すればよいか</p> |
| 2 | 竹村 圭史 (会派のぞみ) | <p>1 就農支援について</p> <p>(1) 遊休農地は</p> <p>① 遊休農地の現状はどうか</p> <p>② すぐに使用可能な農地はどの程度あるか</p> <p>③ 農地として再び使用するにあたり、抜根等の手をかけなければならぬ箇所について、今後、市としてどう考えるか</p> <p>④ 農業委員会による農地パトロールの結果により指導対象となった農地についてどのような指導を行い、またその効果はどの程度出ているか</p> <p>⑤ 遊休農地の現状認識と今後の対応をどう考えるか</p> <p>(2) ワーキングホリデー等は</p> <p>① 参加者及び滞在日数の内訳は</p> <p>② 再度参加した人の実績は</p> <p>③ ワーキングホリデーの参加をきっかけに、飯田市へ就農した人の実績は</p> <p>④ 飯田市へ就農した人がこの地を選んだ理由は何か</p> <p>⑤ ワーキングホリデー参加者の中で、今後飯田市において新規就農を計画しているという情報はるか</p> <p>(3) 就農あっせん時における空き家と農地の情報提供は</p> <p>① 新規就農者への農地あっせんはどのように行っているか</p> <p>② 当地域外から新規就農するためには空き家の情報も必要になるが、空き家と農地の情報は一元提供されているか</p> |
| 3 | 原 和世 (会派みらい) | <p>1 民生・児童委員について</p> <p>(1) 民生・児童委員選任に係る今日的課題に関して</p> <p>① 民生・児童委員の職務とは</p> <p>② 活動実情と苦慮している点は</p> <p>③ 今回の改選にあたり指摘される課題は何か</p> |

| No. | 氏 名 | 項 目 ・ 要 旨 |
|-----|------------------|---|
| | 原 和 世 | <ul style="list-style-type: none"> ④ 民生・児童委員の担い手対策の検討は ⑤ 顕彰制度は <p>2 公共施設の管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 行財政改革プランに関して <ul style="list-style-type: none"> ① 指定管理者制度における施設に係る市の負担額と内訳は ② 改革プラン中の施設のあり方の見直しとは (2) 公共施設の経営管理（アセットマネジメント）に関して <ul style="list-style-type: none"> ① 市の保有する施設の種類と保有量は ② 施設建設費の総額は（一般会計、特別会計） ③ 年間維持修繕費は（一般会計、特別会計） ④ 公共施設の経営管理を取り入れることに関する市の考えは |
| 4 | 福 沢 清 (会派みらい) | <p>1 リニア飯田駅と中心市街地との交通アクセスについて</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 第2期飯田市中心市街地活性化基本計画では、リニア飯田駅との交通アクセスをどう考えているか (2) 駅周辺整備、まちづくり及び交通アクセスについて、住民の意見をどう取り入れていくか <p>2 リニア中央新幹線工事に伴う発生土について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 建設発生土950万m³とは具体的にどの位か (2) 発生土の利用とその処分はどのように行なわれるか (3) 地域の発生土利用要望は、どのように反映されるか <p>3 空き家対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 市としていつまでに条例化を含む対策を立てるか (2) 老朽化し、危険な空き家に対して、早急に適切な対応がとられるか (3) 空き家の取り壊しを促進する手だてを考えているか (4) 空き家の活用は具体的にどのような方法を考えるか |
| 5 | 村 松 まり子 (公明党) | <p>1 地域医療の充実について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 地域医療の現状と課題は (2) 市立病院第3次整備事業の進捗状況と課題は (3) 看護師不足への取り組み状況は <p>2 選挙の投票率向上と不在者投票における公正確保について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 投票率向上のための取り組みは (2) 平成25年5月に公布された改正公職選挙法による指定病院等の不在者投票における外部立会人を立ち合わせることに伴う対応は |
| 6 | 湊 猛 (会派のぞみ) | <p>1 飯田市の建設整備事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 市道の改良整備状況は <ul style="list-style-type: none"> ① 各地域からの要望状況は ② 現在の進捗状況は ③ 特に通学路安全対策を最優先し、整備しているか ④ 今後の課題と対応は (2) 橋りょうの整備状況は <ul style="list-style-type: none"> ① 橋りょうの長寿命化修繕事業計画は ② 橋りょうの耐震整備は ③ 橋りょうの補修事業の進捗状況と今後の事業計画は (3) 地域振興住宅整備について <ul style="list-style-type: none"> ① 平成24年度までの整備状況は ② 25年度の新築及び改修による供給数は |

| No. | 氏名 | 項目・要旨 |
|-----|------------------|---|
| | 湊 猛 | <p>③ 今後、南信濃地域にも拡大できないか</p> <p>2 三遠南信自動車道全線開通を見据えた道の駅整備について</p> <p>(1) 道の駅の誘致・整備について基本的な市の考えは</p> <p>① 観光拠点としての必要性をどう考えるか</p> <p>② 防災拠点としての重要性をどう認識しているか</p> <p>③ 飯田市内に道の駅を新設する考えは</p> <p>④ 道の駅中部ブロック代表となった市長の決意は</p> <p>⑤ 道の駅「遠山郷」の拡張整備計画は</p> |
| 7 | 清水 可晴 (市民パワー) | <p>1 スポーツ振興と交流人口増加策について</p> <p>(1) 市民のスポーツ活動の実態は</p> <p>① 活動の実態とスポーツ施設の利用状況はどうか</p> <p>(2) 市民総健康生涯現役をめざし取り組むウォーキングの普及は</p> <p>① ウォーキングの普及と市民の関心はどうか</p> <p>(3) 競技スポーツへの支援策は</p> <p>① 団体競技やアスリートを育てる方策をどのように考えているか</p> <p>(4) スポーツ施設の整備方針は</p> <p>① スポーツ施設の耐震等を含め長寿命化計画を策定する考えはあるか</p> <p>② リニア時代を見据え、交流人口増加策に資する多目的アリーナを整備する考えはないか</p> <p>ア 多目的アリーナ整備に対する市民要望はあるか</p> <p>イ 交流人口増加策として戦略的に取り組む考えはないか</p> <p>(5) スポーツ合宿等受け入れの現状と今後の取り組みは</p> <p>① 当市におけるスポーツ合宿等の受け入れ状況はどうか</p> <p>ア 受け入れ状況と施設のキャパシティはどうか</p> <p>② 遠山郷一带にスポーツ合宿等の受け入れ体制を整備し、能動的に取り組むために行政支援策を講じたらどうか</p> <p>ア ハイランドしらびそをはじめ遠山郷にある既存施設の有効活用策としても取り組んでどうか</p> <p>2 「特殊詐欺」等の消費生活相談の現状と対策について</p> <p>(1) 「特殊詐欺」等の実態と相談内容の傾向は</p> <p>(2) 未然防止策は</p> <p>① 市民への啓発はどのようにしているか</p> <p>② 相談窓口機能は万全か</p> <p>③ 県や市民団体と連携し「特殊詐欺」等撲滅本部（仮称）を設置し、市民運動として取り組んでどうか</p> |
| 8 | 山崎 昌伸 (無党派) | <p>1 安心・安全のまちづくりについて</p> <p>(1) 8月8日16時56分頃出された緊急地震速報は誤報であったが、誤報であったことをどう生かしたか</p> <p>① 速報が出された際の市民の行動実態を、どの程度まで把握しているか</p> <p>② 自治体として防災への初動体制はどうだったか</p> <p>③ 本庁、各自治振興センターでの職員の行動実態はどうだったか</p> <p>2 事務事業実績評価表について</p> <p>(1) 事務事業実績評価表は、次年度以降の事業展開にどのように生かされているか</p> <p>① 事務事業評価表作成の目的はどこにあるか</p> |

| No. | 氏 名 | 項 目 ・ 要 旨 |
|-----|--------------------|--|
| | 山 崎 昌 伸 | <ul style="list-style-type: none"> ② 評価表の内容を、関連する部署内でどのように共有化しているか ③ 次年度以降の事業展開に生かされにくいと思われる評価表が散見されるが、議会へ提示される際のチェック機能はどのようになっているか ④ 評価表の作成は、同時に人材育成の場にもなり得るが、そのような視点があるか <p>3 選挙におけるコストダウンについて</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 市議会議員選挙における選挙費用の公費負担は <ul style="list-style-type: none"> ① この制度が適用されたのはいつからか、これまでに上限額その他の見直しが行われたことはあるか ② 本年4月執行の市議会議員選挙におけるポスター作成費及び選挙運動用自動車の使用料の公費負担について、上限額に対する請求額の率はどの程度か ③ 今後、市として上限額その他を見直していく考えはあるか |
| 9 | 森 本 政 人 (市民パワー) | <p>1 いいだ成年後見支援センターの現状と今後の課題について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 成年後見制度の内容といいだ成年後見支援センター設立までの経緯と目的は (2) いいだ成年後見支援センターは <ul style="list-style-type: none"> ① どんな役割を果たしているか ② どのような相談があるか (3) 市民への周知状況は (4) いいだ成年後見支援センターの今後の課題は <ul style="list-style-type: none"> ① 人材育成・陣容拡大は必要か ② 現在の経営支援と今後は <p>2 協働のまちづくりについて</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) NPO法人の位置づけは <ul style="list-style-type: none"> ① NPO法人との協働をどう考えるか ② 市民活動センター構想はあるか (2) 福祉関連NPO法人と飯田市との関わりは (3) 福祉関連NPO法人に対する行政支援策は (4) 市民の福祉相談に対するマネジメントは <ul style="list-style-type: none"> ① 市民からの福祉に対する相談実態は ② マネジメント機能は必要と考えるか ③ 新庁舎内に総合窓口を創設する考えは (5) 今後の協働の社会づくりに向けた飯田市の思いは |
| 10 | 古 川 仁 (日本共産党) | <p>1 飯田市の介護制度について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 社会保障制度改革に対する市の考えは <ul style="list-style-type: none"> ① 国は今後、要支援1・2を介護保険から外そうとしているが、要支援1・2とはどの程度の状態か ② 要支援1・2の認定者数は ③ 要支援1・2を対象とする介護サービスとしては、何を行っているか ④ それらサービスの利用者数は ⑤ 市は、国が行おうとしている要支援1・2の保険外しをどの様に考えるか <ul style="list-style-type: none"> ア 今後、どう対応するか <p>2 飯田市の配食事業について</p> |

| No. | 氏名 | 項目・要旨 |
|-----|------------------|--|
| | 古川 仁 | <p>(1) 飯田市における配食事業の現状をどう認識しているか</p> <p>① 現在の配食サービスの仕組みは</p> <p>② 現在の配食サービス利用者数は</p> <p>③ 以前、市が行った高齢者対象の要望アンケートで「食事のことが心配」との回答が多かったが、その後、何らかの対応をしたか</p> <p>④ 独居高齢者世帯配食サービス事業の現状はどうか</p> <p>ア 見守りの現状は</p> <p>イ 対象者数及び利用者数は</p> <p>ウ 対象者を拡大してはどうか</p> <p>⑤ 今後、配食事業がますます重要だと考えるが、市の考え方は</p> |
| 11 | 湯澤 啓次 (会派のぞみ) | <p>1 リニア環境影響評価準備書公表後の市の取り組みについて</p> <p>(1) 今、確認しておきたい市の考え方について</p> <p>① 駅位置に対する市長の思い、考えは</p> <p>② JR飯田線乗り換え駅設置の可能性について市の考えは</p> <p>③ 検査専用車（ドクターイエロー）施設併設の可能性について市の考えは</p> <p>(2) 準備書公表後の取り組みは</p> <p>① 市が早急に取り組むハード関連事業は何か</p> <p>② 伊那谷連携が極めて重要と思うが、どう進めていくか</p> <p>③ 条例などルールづくり、受入れ体制づくりが急務と思うが、どうか</p> <p>(3) リニアを生かす地域づくりの進め方はどうか</p> <p>① ロードマップにある「戦略的地域づくり」をどのように進めていくか</p> <p>② 「リニア開通・三遠南信自動車道全通を見据えた地域づくり」をテーマにした市政懇談会で見てきたものは何か</p> <p>③ 地元まちづくり委員会からの提言をどう生かしていくか</p> |
| 12 | 永井 一英 (公明党) | <p>1 今年の猛暑における市内小・中学校の状況とその対策について</p> <p>(1) 教育現場の状況はどうか。熱中症になった児童・生徒はいなかったか</p> <p>(2) 対策はどうか</p> <p>① 保健室へのエアコンの設置状況は</p> <p>② 教室への扇風機の設置状況は</p> <p>③ その他の対策は</p> <p>(3) 学校行事への影響はどうか</p> <p>2 平成24年に成立した、いわゆる「子ども・子育て関連3法」の本格施行に向けて飯田市の対応について</p> <p>(1) 対応の状況はどうか</p> <p>(2) 地域子育て支援拠点事業が充実されると聞くがどのような内容か</p> <p>(3) 本格施行に向けての課題は何か</p> <p>3 飯田市における子育て支援の今後の方向性について</p> <p>(1) 子育て支援に関して力を入れていく点は何か</p> <p>(2) 方向性についてはどのように考えるか</p> |
| 13 | 小倉 高広 (日本共産党) | <p>1 精神保健福祉士の配置について</p> <p>(1) 精神保健福祉士の配置の必要性についてどのように考えるか</p> <p>① 飯田市の精神保健福祉の相談体制は</p> |

| No. | 氏 名 | 項 目 ・ 要 旨 |
|-----|--------------------|--|
| | 小 倉 高 広 | <ul style="list-style-type: none"> ② 精神障害者に関わる窓口での一般的な対応は ③ 長野県下に精神保健福祉士を配置している市町村はあるか (2) 精神保健福祉士の資格をもった職員を飯田市に配置すべきだと考えるがどうか 2 障害者総合支援法におけるサービス利用に関わる自己負担について <ul style="list-style-type: none"> (1) 障害者総合支援法における自己負担の現状はどうか <ul style="list-style-type: none"> ① サービス利用に関わる自己負担の制度は ② 飯田市におけるサービス利用に関わる自己負担の現状は ③ 飯伊の他町村の補助制度の現状は (2) 飯田市も補助制度を創設すべきだと考えるがどうか 3 買い物困難者対策について <ul style="list-style-type: none"> (1) 買い物困難者の現状と対策は <ul style="list-style-type: none"> ① 飯田市として買い物困難者対策にどう関わるか <ul style="list-style-type: none"> ア 福祉の立場から役割についてどう考えるか ② 飯田市として、社協、民生・児童委員、商工会議所、NPO等で構成する対策チームを設置すべきだと考えるがどうか |
| 14 | 熊 谷 泰 人 (会派のぞみ) | <ul style="list-style-type: none"> 1 鳥獣被害対策について <ul style="list-style-type: none"> (1) これまでの取り組みと現状は <ul style="list-style-type: none"> ① これまで実施してきた対策事業の内容は ② 農産物の被害状況は <ul style="list-style-type: none"> ア 農産物別被害状況 イ 鳥獣別被害額 ③ 飯田市における鳥獣被害対策の組織体制は ④ 組織が担ってきた役割と成果は ⑤ 猟友会との連携は <ul style="list-style-type: none"> ア 野生鳥獣捕獲従事者の確保対策は ⑥ 捕獲の状況と成果及び課題は (2) 今後の取り組みは <ul style="list-style-type: none"> ① 市長の考えは ② 拡大しているサルによる被害状況は <ul style="list-style-type: none"> ア 捕獲方法の学習会・研修会等の実施は ③ 組織体制の強化及び捕獲隊、パトロール隊結成の考えは 2 コーディネーショントレーニング（COT）について <ul style="list-style-type: none"> (1) 飯田市でのコーディネートトレーニングの位置づけは <ul style="list-style-type: none"> ① 子どもたちの運動能力の向上、大人の健康づくり、高齢者の健康維持への導入の考えは |
| 15 | 清 水 勇 (会派のぞみ) | <ul style="list-style-type: none"> 1 飯田市の中山間地域振興計画と農振除外について <ul style="list-style-type: none"> (1) 農振除外の現状は <ul style="list-style-type: none"> ① 年間の受付数と、受付時の注意事項は <ul style="list-style-type: none"> ア 平成24年度の受付総数と県への申請数は イ 農業振興地域の農振除外申請数、農業振興地域外の申請数は ウ 中山間地域の除外申請の状況は (24年度の地区別、申請数と内容は) ② 中山間地域振興計画と農振除外の考え方は <ul style="list-style-type: none"> ア 中山間地域における農振除外申請に対する基本的な考えは |

| No. | 氏 名 | 項 目 ・ 要 旨 |
|-----|--------------------|--|
| | 清 水 勇 | <p>イ 中山間地域の農地をどのように考えているか</p> <p>ウ 中山間地域振興計画に若者定住、農業の担い手づくりが掲げられているがどう捉えているか</p> <p>エ 中山間地域振興計画遂行にあたり、今後の関わり方は</p> <p>オ 中山間地振興には地域住民が働く工場等も必要と考えるが、それに伴う農振除外の考えは</p> |
| 16 | 木 下 容 子 (市民パワー) | <p>1 リニアを活かした都市整備と交流人口増加策について</p> <p>(1) 「リニア時代を見据えた地域づくり」というテーマで市政懇談会を実施したが、各地区の反応はどうだったか</p> <p>(2) JR東海が6月に公表した中間駅の機能について、市長の見解は</p> <p>(3) 交流人口増につながる駅舎周辺整備をどのように考えるか</p> <p>2 飯田市への寄附金について</p> <p>(1) 飯田市への寄附金全体の現状は</p> <p>(2) ふるさと納税については</p> <p>① ふるさと納税の状況は</p> <p>② 飯田市出身者へどのような呼びかけを行っているか</p> <p>③ ふるさと納税をするための方法はどのような手法を取り入れているか</p> <p>④ ふるさと納税をしてくれた方にはどのようなお礼をしているか</p> |
| 17 | 木 下 克 志 (会派のぞみ) | <p>1 農業被害について</p> <p>(1) 凍霜害被害のその後の状況と対応は</p> <p>① 被害状況はどの様に推移しているか</p> <p>ア 品目別 被害地の実態は</p> <p>イ 品目別 被害額は</p> <p>ウ 被害額算定基準は</p> <p>エ これまで推進してきた対策の状況はどうか</p> <p>オ これからの支援体制はどうなっているか</p> <p>② 今後の対策と課題をどう考えるか</p> <p>(2) 今夏の高温、雨不足による作物への影響は</p> <p>2 営農について</p> <p>(1) 就農者の高齢化については</p> <p>① 高齢化する就農者への対応と課題は</p> <p>② 高齢化に伴う耕作放棄地をどう考えるか</p> <p>③ 中山間地域をはじめ地域農業をどう支援しているか</p> <p>(2) 現場事務所体制を実施して8年となるが、営農における成果はどうか</p> <p>① 農家にどのような関わりを持って接してきたか</p> |
| 18 | 後 藤 荘 一 (日本共産党) | <p>1 飯田市行財政改革大綱における改革プランについて</p> <p>(1) この取り組みを行うことで、市民サービスの維持向上は図られるか</p> <p>(2) 定員の適正化については</p> <p>① 正規職員数が、計画より10人下回っているが、職務に影響はないか</p> <p>② 正規職員を減らす反面、臨時・非常勤の職員数を増やしてきたが、市民サービスの低下はないか</p> <p>③ 新聞報道にあった美博臨時職員の雇止めはこの一環か</p> <p>(3) 歳入確保については</p> |

| No. | 氏 名 | 項 目 ・ 要 旨 |
|-----|---------|--|
| | 後 藤 荘 一 | <p>① 文化施設等の使用料見直しや、美博の施設使用料新規徴収など始めるようになっているが、そもそも飯田市として文化をどう捉えているか</p> <p>(4) 経費節減については</p> <p>① 投票所の統廃合は、投票率の低下を招くのではないか</p> <p>2 リニア中央新幹線計画の推進について</p> <p>(1) リニア中央新幹線計画の市民生活への影響は</p> <p>① 環境影響評価で調査をしていると思うが、騒音振動等市民生活に影響があると思われる。飯田市としてどう対応していくか</p> <p>(2) 工事中の対応は</p> <p>① 発生土の運搬等多くの車両の通行により、市民が危険にさらされたり、渋滞を招いたりすることや、トンネルの掘削で、水源が枯れる等、市民生活に影響すると思われる。工事の影響について、どのようなことを想定しているか</p> <p>② 飯田市としてどう対処するか</p> |

④第4回定例会代表質問通告表

平成25年12月5日、6日

| No. | 氏名 | 項目・要旨 |
|-----|-----------------|--|
| 1 | 湯澤啓次 (会派のぞみ) | <p>1 市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 就任10年目に寄せる市長の想い、総括と今後の展望は何か</p> <p>(2) 市長の地域経営哲学について</p> <p>① 年頭所感に多用されるキーワードについて市長の想いと現状認識は</p> <p>2 予算編成について</p> <p>(1) 今後の財政運営について</p> <p>① 行財政改革とリニア関連整備・戦略的投資とのバランスは</p> <p>(2) 来年度予算編成について</p> <p>① 消費税増税の影響等を踏まえ来年度の税収見通しは</p> <p>② 「戦略的地域づくり」を来年度予算でどう「見えるか」するか</p> <p>3 リニア中央新幹線を活かす地域づくりについて</p> <p>(1) リニア推進ロードマップに沿った政策展開について</p> <p>① 柱1：環境影響評価準備書への意見書に対し示されたJR東海の見解に対する市の評価と今後の対応は</p> <p>② 柱2：道路網を含む都市構造素案の今後の展開は</p> <p>③ 柱3：戦略的地域づくり、ブランディング事業は</p> <p>(2) 国・県との役割分担、近隣市町村との意識共有、緊密な関係を如何に構築していくか</p> <p>4 環境文化政策について</p> <p>(1) 環境文化都市の具現化について</p> <p>① 公共事業の設計監理に於いて「環境への配慮」は検証しているか</p> <p>② 環境文化都市の理念に基づき環境美化をどう推進していくか</p> <p>③ 地域環境権の今後の展開は</p> <p>(2) 文化政策について</p> <p>① 市民主体の文化芸術活動（人形劇・オケ友・伊那谷文化芸術祭等）への市の役割は</p> <p>② 霜月祭、人形浄瑠璃など世界に誇る民俗芸能継承に市は如何に関わるか</p> <p>③ 文化芸術活動の拠点となる諸施設整備に対する市の考え方は</p> <p>5 持続可能な地域社会、南信州定住自立圏形成について</p> <p>(1) 三遠南信連携ビジョンから派生する伊那谷地域連携ビジョンの考えは</p> <p>(2) 人材サイクルの要となる産業政策について</p> <p>① 農林業のブランド化、域産域消、鳥獣害対策は</p> <p>② 戦略的企業誘致、地域産業の育成、高付加価値産業創造政策は</p> <p>③ リニア・三遠南信時代へ向け今から着手すべき観光政策は</p> <p>(3) 安心、安全な地域づくりについて</p> <p>① 高度医療を支える飯田市立病院の課題と対策は</p> <p>② 高齢化が進む中で地域健康福祉政策をどう展開するか</p> <p>③ 懸念される大規模災害に対する対策は</p> <p>④ 南信運転免許センター構想のその後の動きと市の対応は</p> <p>(4) ひとづくり・人材育成政策について</p> <p>① 小中連携・一貫教育から見えてきた成果、課題は何か</p> |

| No. | 氏 名 | 項 目 ・ 要 旨 |
|-----|----------------------|---|
| | 湯 澤 啓 次 | <ul style="list-style-type: none"> ② クラウド型高等教育を具体的にどう取り組むのか ③ 国際大会開催可能な体育施設整備、指導者育成の考え方は ④ ひとづくりの視点から住民自治を見つめ直す考えは ⑤ 世界に開くリニア時代を担う職員研修プログラムの考えは <p>(5) 地域資源、資産活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 二つのアルプス、日本一の伊那谷にスポットを当てた政策展開は ② 国史跡指定が確実にされる恒川遺跡群の今後の生かし方は ③ 旧飯田工業高校、旧上村中学校の後利用は |
| 2 | 村 松 まり子 (公 明 党) | <p>1 市長の政治姿勢と予算編成について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) リニア時代の開幕となる平成26年度の市政経営の方針は何か (2) 来年4月1日からの消費増税に伴う市財政への影響は (3) 国は、5兆円規模の経済対策で①競争力強化策、②高齢者・女性・若者向け施策、③復興、防災・安全対策の加速などを措置すると発表しているが、市はどう取り組むか <p>2 リニア時代を見据えた地域づくりと今後の事業への取り組みについて</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) リニア時代を見据えた地域づくりについて <ul style="list-style-type: none"> ① 飯田市が考える都市構造とは (2) 今後の事業への取り組みについて <ul style="list-style-type: none"> ① 環境影響評価のこれまでの進捗状況及び今後の手続きについては ② ロードマップ第1の柱「リニア本体工事関連」のスケジュールはどのような流れで進んでいくか ③ ロードマップ第2の柱「社会基盤整備関連」をどう進めていくか ④ ロードマップ第3の柱「戦略的地域づくり」の取り組みは <p>3 産業振興施策について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 研究機関の誘致や他地域にない企業誘致を積極的に推進すべきだが市の考えは (2) 農業の付加価値化(6次産業化)及び農工商連携を推進し農業振興を図るべきだが、市の取り組み状況は (3) U・I・Jターナー者の増加策をどう考えているか <p>4 医療・保健・福祉行政について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 飯田市立病院の第3次整備事業完了により、地域医療充実のために市立病院が果たす役割は何か <ul style="list-style-type: none"> ① 周産期センターについてはどうか ② 地域がん連携診療拠点病院についてはどうか (2) 健康なうちから、市民が健康づくりをするために市はどう取り組むか (3) うつ病及び自殺防止対策について今後どう取り組むか <p>5 教育行政について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 小中連携・一貫教育の評価及び検証は。そこから見えてきた課題は (2) いじめ防止対策の推進について <ul style="list-style-type: none"> ① 「いじめ防止対策推進法」を着実に推進するためにどう取り組むか <p>6 防災・減災対策について</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 昨今の異常気象に対し、その対策にどう取り組んでいくか |

| No. | 氏 名 | 項 目 ・ 要 旨 |
|-----|------------------|--|
| | 村松 まり子 | <p>(2) 「災害対策基本法」が改正されたが、市の防災対策にどのように反映していくか</p> <p>7 子育てに関する諸施策について</p> <p>(1) 子どもの健やかな発達への支援充実について</p> <p>① 発達が心配な子どもの早期発見・早期支援するための仕組みづくりは</p> <p>② 子どもの一貫した発達支援のための情報共有と一体的な早期支援体制の構築は</p> <p>(2) 未婚のひとり親家庭への支援策は (特に保育料や市営住宅家賃)</p> |
| 3 | 清水 可晴 (市民パワー) | <p>1 リニアを見据えた飯田市づくりと市長の政治姿勢について</p> <p>(1) 小さな世界都市・高付加価値都市圏構想と、戦略的地域づくりに取り組む視点について</p> <p>① 小さな世界都市・高付加価値都市圏構想とは何をめざし、具体的な戦略的都市づくりとは何か</p> <p>② 次世代産業の育成と雇用創出に取り組むべきと思うが具体的な構想はあるか</p> <p>③ 若者から、おしゃれでわくわくするまちをとの声が寄せられているが、若者が魅力を感じるまちづくりを考えるべきではないか</p> <p>④ 飯田の魅力を高める拠点づくりをどのように取り組むか</p> <p>⑤ 人が留まる政策として、スポーツと産業が融合する多目的アリーナ構想を考えるべきではないか</p> <p>(2) リニア中央新幹線事業に関して、基本的な考え方について</p> <p>① 長野県の唯一の駅、県の南の玄関口、三遠南信の北の玄関口として、駅や駅周辺整備と策定スキームをどのように進めるか</p> <p>② 飯田線との結節をどのように進めるか</p> <p>③ 広域的な交通アクセスの整備が必要だと思うが、中央自動車道からのアクセスを県が事業化していくべきと思うがどうか</p> <p>④ リニアの環境影響評価準備書に対する意見書反映の受け止めと発生土の活用策は</p> <p>⑤ 国・県の幹線道路網の整備に関して、関係機関への働きかけは</p> <p>2 新年度予算編成における重点事業は何か、長期財政見通しと行財政運営について</p> <p>(1) 平成26年度予算編成における重点事業と財政運営は</p> <p>(2) 施設の長寿命化指針の策定と必要額の公表は</p> <p>(3) 行財政改革に関して、職員の再任用・再雇用制度の方針は</p> <p>(4) 入札制度改革と電子入札の導入は</p> <p>3 活力ある産業振興について</p> <p>(1) アベノミクス経済政策に関して市の経済動向と経済自立度は</p> <p>(2) 台湾チャレンジと成長市場分野への販路開拓は</p> <p>(3) 新たな工業基盤の整備と、既存の工業基盤への企業誘致は</p> <p>(4) 農産物のブランド化や農業の第6次産業化と公共施設における地域木材の利用促進は</p> <p>4 保健・医療・福祉・介護の充実について</p> <p>(1) 飯田市立病院の第3次整備計画で果たす機能と役割及び病院経営は</p> <p>(2) 特別養護老人ホーム飯田荘の改築計画は</p> <p>(3) 高校生までの医療費無料化の拡大は</p> |

| No. | 氏 名 | 項 目 ・ 要 旨 |
|-----|--------------------|--|
| | 清 水 可 晴 | <p>(4) 国民健康保険事業で、基金が枯渇し保険事業会計が逼迫している状況と今後の運営は</p> <p>(5) 風越乳児院の建て替えに対する行政支援は</p> <p>5 人づくり教育について</p> <p>(1) 社会問題化しているスマートフォンから離れられない子ども達の発育、発達への影響と対策は</p> <p>6 中心市街地活性化について</p> <p>(1) 第2期中心市街地活性化基本計画の特長と桜並木の再整備等今後の整備方針は</p> <p>(2) リニア飯田駅（長野県駅）や中央道ICから中心市街地へのアクセスしやすい交通基盤整備は</p> <p>(3) 長野県南信運輸免許センターを飯田駅周辺に誘致する取り組みと現状は</p> <p>7 中山間地域の活性化策について</p> <p>(1) 中山間地域の活性化に向けて、新規就農支援や、2地域居住の受け入れは</p> <p>(2) 農作物等の野生鳥獣被害対策は</p> <p>8 環境に配慮した安全・安心の持続可能なまちづくりについて</p> <p>(1) 環境モデル都市として、脱原発・再生可能エネルギーへの転換は</p> <p>(2) 木質バイオマス発電の導入と地域環境権の取り組みは</p> <p>(3) 同報系防災無線の老朽化に伴う施設更新は</p> <p>(4) 飯田清掃株式会社に対する一般廃棄物処理業等の合理化に関する特別措置法に基づく合理化計画の策定は</p> |
| 4 | 後 藤 莊 一 (日本共産党) | <p>1 市長の政治姿勢と市政運営について</p> <p>(1) 市長の政治姿勢について</p> <p>① これまでの市政運営を自己評価するとどうであったか</p> <p>② 安倍政権の政策を市長としてどう見るか</p> <p>③ 「小泉構造改革」以来続く格差の拡大、貧困・低所得者の拡大を市長としてどう見るか</p> <p>④ 人口減少時代のまちづくりをどう取り組むか</p> <p>(2) 市政運営について</p> <p>① 福祉・医療について</p> <p>ア 第5期介護保険事業計画の進捗状況は</p> <p>イ 飯田市における生活保護の状況は。また保護基準引き下げの影響は</p> <p>② 子どもたちの健全な発達のための学校教育について</p> <p>ア 小中連携・一貫教育の状況は</p> <p>イ 今年度の全国学力テスト実施にあたり、その目的としたところは何か</p> <p>③ 地域内で循環する経済の構築について</p> <p>ア 消費税増税にどう対応するか</p> <p>イ 飯田市商業の状況は</p> <p>ウ 地域農業の現状とこれからの見通しはどうか</p> <p>エ 飯田市の観光の現状はどうか</p> <p>④ 環境について</p> <p>ア 「再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例」の活用状況は</p> <p>⑤ 災害対策について</p> |

| No. | 氏 名 | 項 目 ・ 要 旨 |
|-----|------------------|---|
| | 後 藤 荘 一 | <p>ア 個人住宅及び民間施設の耐震診断状況は イ 市として浜岡原発の廃炉を求めるよう各機関に働きかけられたいがどうか</p> <p>(3) 地域自治組織について ① 地域自治区と自治組織の関係は守られているか</p> <p>(4) リニア中央新幹線計画について ① 環境影響評価準備書の内容をどう見るか</p> <p>(5) 平和を発信する自治体について ① 特定秘密保護法案について市長としてどう考えるか</p> <p>(6) 来年度の財源の見通しは ① 地方財政計画での交付税の見通しは ② 徴税業務において今年度の滞納整理の状況は</p> <p>2 庁舎整備について (1) 事業費10%削減をめざすとしているが、現状は (2) 消費税増税の影響はあるか (3) 地元産材利用は進んでいるか (4) 環境に配慮した庁舎になるか</p> |
| 5 | 原 和 世 (会派みらい) | <p>1 市政経営について (1) デザイン思考的アプローチによる市政経営の手応えと、今後の展望は (2) 人口減少による縮小社会が地域社会においてどのように現れてくると考えるか、また長期的展望に立った都市圏構想についてどう考えるか (3) リニア中央新幹線飯田駅整備に対する市長の描く基本的なビジョン (4) 公有財産経営管理のための指針を示す考えは (5) 教育の独立を担保しつつも地育力向上の観点で市長の教育行政に関する関与をどう考えるか</p> <p>2 予算編成について (1) 交付税措置など有利な起債に係る裁定基準は (2) 第5次基本構想の期限を間近に事業継続に対する考えは</p> <p>3 財産運営について (1) 長期的展望に立った「財政白書」をたてるべきと考えるがどうか</p> <p>4 産業振興について (1) TPP交渉の進展と飯田市への影響についての考えは (2) 航空宇宙産業支援の他に産業振興の骨太の方針を示すことは (3) 観光戦略に関しリニア時代を見据えた関東圏へのアプローチは (4) 三遠南信自動車道天龍峡サービスエリア用地と天龍峡大橋の観光資源としての構想は</p> <p>5 教育文化振興について (1) スポーツ文化の育成のために特別講師の配置など中学校区単位でスポーツ文化応援団の形成は (2) 県が示した朝練と社会体育の見直しに対する考えは (3) 学校支援のための特別支援教育支援員の増員は</p> <p>6 子育て支援について (1) 民間保育所に勤務する保育士の処遇改善措置に関する考えは</p> <p>7 暮らしと生命を守る安全安心で快適なまちづくりについて (1) 異常気象に対応するための水路河川等のインフラ整備の考えは (2) ネット社会に潜む犯罪等から子どもたちを守るための考えは</p> |

| No. | 氏 名 | 項 目 ・ 要 旨 |
|-----|-------|---|
| | 原 和 世 | <p>(3) 団員数の適正化を含む消防団の組織のあり方の検討に対する考えは</p> <p>8 人の営みと自然・環境が調和したまちづくりについて</p> <p>(1) 旧飯田工業高校が実践していた環境活動を、高校生による環境サ ミットなどの活動につながるように支援することは</p> <p>9 自立・連携したまちづくりについて</p> <p>(1) パワーアップ交付金の運用に関して一定の課題などを設けることに 関しては</p> |

⑤第4回定例会代表質問関連質問通告表

平成25年12月5日

| No. | 質 問 者 | 通 告 内 容 |
|-----|--------------------|---|
| 1 | 清 水 勇 (会派のぞみ) | 1 南信運転免許センターの取り組みと、体育施設整備、指導員育成の考え方について (1) 県警が示した課題について今後どのような考えで取り組むか (2) 各種スポーツの活動に指導員がかかわっている、指導員育成の取り組みはどうか、飯田市総合運動場の施設改修をどのように進めていくか (3) 県警から施設規模、事務内容など具体的な説明はあったか、市として今後県警との協議をどう進めていくか (4) 他の社会体育施設の改修について、実態と対応はどうか (5) 体育施設活用による誘客を、今後どのように考えているか |
| 2 | 木 下 容 子 (市民パワー) | 1 「5. 人づくり教育について (1)社会問題化しているスマートフォンから離れられない子ども達の発育、発達への影響と対策は」 に関連して (1) 携帯電話、スマートフォンなどの普及の現状はどうか (2) 情報機器の過度の使用による身体への影響についての考えは (3) 厚生労働省研究班が行ったネット依存についての実態調査をどう捉えるか (4) 情報モラルに関する問題点の現状は (5) 家族間、友人間でのコミュニケーションを培うために、どのように取り組むか |
| 3 | 小倉 高広 (日本共産党) | 1 「1. 市長の政治姿勢と市政運営について (4)リニア中央新幹線計画について」 に関連して (1) 中央新幹線環境影響評価準備書に対し、市及び上郷リニア対策委員会が提出した意見について、JR東海からどのような見解が示されたか (2) 工事着手に至るまでのスケジュールは。また、JR東海と市及び地域住民との話し合いの場はどのように設定されると聞いているか (3) 対策を実効あるものにするための「協定書」を県とJR東海との間で締結するよう市は働きかけるべきではないか |
| 4 | 福 沢 清 (会派みらい) | 1 「2. 予算編成について (2)第5次基本構想の期限を間近に事業継続に対する考えは」 に関連して (1) 地域福祉計画の必要性についてどう考えるか (2) 地域福祉計画の策定事業のスケジュールをどのように考えるか (3) 地域福祉計画の仕組と事業の継続はどうか |

⑥第4回定例会一般質問通告表（一問一答方式）

平成25年12月6日、9日

| No. | 氏名 | 項目・要旨 |
|-----|------------------|--|
| 1 | 永井 一英 (公明党) | <p>1 レセプト・健康情報等を活用したデータヘルスの推進について</p> <p>(1) 特定健診・保健指導や保健師の訪問指導事業によって把握したデータをどのように活用しているか</p> <p>(2) 今年6月に閣議決定された「日本再興戦略」において、「データヘルス計画(仮称)」の策定が盛り込まれているが承知しているか</p> <p>(3) 市では国民健康保険のレセプトから得られるデータを活用しているか</p> <p>(4) 市においてデータヘルスを推進しようとした場合の課題は何か</p> <p>(5) 一般的に、政策形成に当たっては実態把握とその分析が重要だと考えるがどうか</p> |
| 2 | 森本 政人 (市民パワー) | <p>1 JR飯田線の利用促進と沿線の観光施策について</p> <p>(1) 飯田線沿線自治体との連携をどのように考えているか</p> <p>(2) 市として飯田線の利用促進のためイベント列車を走らせる計画はないか</p> <p>(3) 観光拠点づくりは</p> <p>① 天龍峡の公園整備は進んだが温泉・秘境駅を含めた観光開発をどのように考えているか</p> <p>② 座光寺地区で進める恒川官衙遺跡「二千年浪漫の郷づくり」をどのように支援していくか</p> <p>(4) 無人駅への対応は</p> <p>① 無人駅が多く利用者が電話での問い合わせに苦慮している現状をどのように考えているか</p> <p>② 無人駅の利活用を市として、どのように考えていくか</p> |
| 3 | 湊 猛 (会派のぞみ) | <p>1 南アルプス登山道整備と戦略について</p> <p>(1) 県の「山岳環境緊急総点検事業」での南アルプス南部の現地調査による管理状況などの報告が共有化されているか</p> <p>(2) 南アルプス登山口までの市道、林道の整備状況は</p> <p>(3) 遠山郷山岳遭難救助隊の活動と位置づけは</p> <p>(4) 梨元ていしゃばにおける登山案内所開設の効果と課題は</p> <p>(5) 三遠南信自動車道、リニア中央新幹線の全線開通を見据えての南アルプス登山に対する戦略は</p> |
| 4 | 古川 仁 (日本共産党) | <p>1 飯田市の介護制度について</p> <p>(1) 介護保険・高齢者施策について市の考えは</p> <p>① 特別養護老人ホームへの入所基準はどうか</p> <p>② 入所待機者の現状はどうか</p> <p>③ 待機者解消の手立てはどうか</p> <p>④ 国は今後、軽度要介護者の特養入所に制限をかけようとしていると聞くが、市の考えはどうか</p> <p>2 飯田市の予防医療について</p> <p>(1) 市の予防接種について</p> <p>① 予防接種の状況は</p> <p>ア 公費負担のある予防接種の種類と接種者数は</p> <p>イ 任意の予防接種の主なものは何か</p> <p>② 任意の予防接種に補助をしてはどうか</p> |

| No. | 氏名 | 項目・要旨 |
|-----|------------------|--|
| | 古川 仁 | 3 飯田市の子育て支援について (1) 子ども医療費助成制度について ① 市の現状は ② 今後、高校卒業まで拡大してはどうか ③ 子ども医療費の窓口負担の仕組みは ④ 窓口負担を無料にしてはどうか |
| 5 | 井坪 隆 (会派みらい) | 1 国の農政の転換を見据えた、農業振興への対応について (1) 農業分野のTPP交渉の進展を受けて農業強化が急務となる中、農政の転換を見据えた、中小零細農家・農業・農地の維持を支える仕組みをどのように考えるか ① 「農地中間管理機構」をどう捉えているか ② 「人・農地プラン」の進捗状況は ③ コメの生産調整(減反)の廃止・見直しについて、どう考えるか ④ 飯田市農業振興センターでは、当地域の農業農村社会のビジョンをどのように描いているか |
| 6 | 山崎 昌伸 (無会派) | 1 市職員の人材育成について (1) 市職員の指導教育のあり方は ① 市職員の指導教育は、どのように行われているか ② それにかかる年間の予算はどの程度か (2) 市役所の組織風土は ① 現状の組織風土を市長としてどう捉えているか ② 9年間の市長在任中に組織風土の変化を感じているか、感じているとすればどのような点か ③ 望ましい組織風土とはどのようなものか (3) 業務を通じた指導教育のあり方は ① 業務を通じた指導教育の必要性をどのように認識し、どのように行っているか ② 指導する立場に立つ職員に対する指導教育は、体系的に行われているか ③ 業務を通じた指導教育についての考え方は、役職者の間で共有されているか ④ 今後の指導教育のあり方について、どのように考えているか |
| 7 | 木下 徳康 (会派のぞみ) | 1 市の防災と災害時対策について (1) 水害について ① 松尾地籍等、天竜川隣接地区の水防について ア 当該地区の水防について市の考え方は イ 鷲流峡対策他の見通しは (2) 地震災害時の対応について ① 地域と市のそれぞれの役割、また国・県との連携は ② 災害時相互応援協定について ア 協定の種類、内容は イ 受援を必要とする災害とはどのようなものを想定しているか。また、受援の内容はどうか ウ 協定締結地区災害時の支援はどのように想定しているか ③ 災害時の園児、児童・生徒の安全について ア 園児の受け渡しの方法は イ 小学校・中学校からの児童・生徒の帰宅方法は |

| No. | 氏 名 | 項 目 ・ 要 旨 |
|-----|--------------------|--|
| 8 | 吉 川 秋 利 (会派のぞみ) | 1 義務教育の充実について (1) 開かれた学校、地域で育てる子どもという観点から何が必要と考えるか (2) 感動を与えることが人格の育成には必要と思うが、どのように考えるか (3) 「能力に応じて、ひとしく教育を受ける権利」についてはどのように展開していくか 2 26年度予算編成について (1) 行政評価に基づいて提案した項目についてはどのような検討あるいは配慮がなされるか |

(9) 本会議等傍聴状況(H25)

| 会 期 | 年 月 日 | 傍 聴 人 数 |
|--------|-------------|---------|
| 第1回定例会 | 平成25年2月27日 | 0 |
| | 平成25年3月7日 | 145 |
| | 平成25年3月8日 | 15 |
| | 平成25年3月22日 | 2 |
| 第1回臨時会 | 平成25年5月13日 | 2 |
| | 平成25年5月14日 | 1 |
| 第2回定例会 | 平成25年5月30日 | 7 |
| | 平成25年6月10日 | 47 |
| | 平成25年6月11日 | 9 |
| | 平成25年6月21日 | 0 |
| 第3回定例会 | 平成25年8月27日 | 0 |
| | 平成25年9月4日 | 6 |
| | 平成25年9月5日 | 0 |
| | 平成25年9月24日 | 0 |
| 第4回定例会 | 平成25年11月27日 | 24 |
| | 平成25年12月4日 | 6 |
| | 平成25年12月5日 | 5 |
| | 平成25年12月9日 | 8 |
| | 平成25年12月19日 | 15 |
| 計 | | 292 |

(上郷小133人)

2 報酬その他

(1) 報酬

| 役 職 | 報酬月額 | 役 職 | 報酬月額 |
|-----|-----------|---------|-----------|
| 議 長 | 499,000円 | 市 長 | 876,000円 |
| 副議長 | 436,000円 | 副市長 | 720,000円 |
| 議 員 | 407,000円 | 副市長(特命) | 674,000円 |
| | | 教育長 | 624,000円 |
| 改定日 | 平成11年4月1日 | 改定日 | 平成21年4月1日 |

報酬額の改定推移

(単位：千円)

| 種 別 | 改定年月日 | 61 | 62 | 63 | 1 | 3 | 4 | 5 | 7 | 9 | 11 |
|-------|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|------|-----|-----|
| | | 4.1 | 4.1 | 4.1 | 4.1 | 4.1 | 4.1 | 4.1 | 10.1 | 7.1 | 4.1 |
| 議 長 | | 331 | 339 | 352 | 369 | 413 | 437 | 469 | 485 | 494 | 499 |
| 副 議 長 | | 278 | 285 | 296 | 310 | 352 | 372 | 410 | 424 | 432 | 436 |
| 議 員 | | 259 | 266 | 277 | 290 | 325 | 343 | 383 | 396 | 403 | 407 |

(2) 期末手当

6月期支給額 報酬×1.45×140/100

12月期支給額 報酬×1.45×155/100

※ 平成23年6月から平成26年12月までの間に支給される期末手当は、議長90,000円、副議長78,000円、議員72,000円をそれぞれ支給すべき額から減ずる。

(3) 費用弁償

(6)の表の規定に基づき往復の交通費のみ支給する。

(4) 研修旅費

| 議 員 1 人 当 り 年 額 | |
|-----------------|--------------|
| 常 任 委 員 会 | 実 費 |
| 議 会 運 営 委 員 会 | 実 費 |
| 海 外 研 修 視 察 | 所要額の3/4(交付金) |

(5) 政務活動費

議員1人当り年額140,000円

(6) 飯田市議員等の旅費額

(平成3年4月1日改正)

| 旅費の区分 職務の区分 | 車 賃 | | 日 当 | 宿 泊 料 | | 食 卓 一 夜 に つ き 料 |
|--|-------------------|---------------------------------------|------------|-------------|-------------|--------------------------|
| | 交通機関 のある場 合 | 交通機関の ない場合 (1キロメ ートルにつ き) | | 県 内 | 県 外 | |
| 議員、教育委員、選挙管理委員、公平委員、監査委員、農業委員、固定資産評価審査委員、選挙長 | 実 費 | 円 37 | 円 2,600 | 円 11,800 | 円 13,100 | 円 2,600 |

3 定期刊行物

(1) 飯田市議会だより

ア 創刊 昭和46年4月1日

イ 発行回数 年4回(4月、7月、10月及び1月(定例会終了の翌月)。このほか臨時号)

ウ 発行部数 各34,000部

エ 印刷 オフセット印刷(A4版 1回平均10ページ)160号から表紙、裏表紙のみカラー刷り

(2) 飯田市議会要覧

ア 発行回数 年1回(例年6月発行)

イ 発行部数 150部

4 市議会会議録

(1) 各定例会及び臨時会の会議録

ア 発行回数 年4回(次回定例会の招集日までに発行)

イ 発行部数 35部

ウ 印刷 オフセット印刷(A4版)

(2) 全員協議会、常任委員会及び特別委員会の会議録

発行部数 1部

(3) 会議録検索システム

ア 平成4年第2回定例会以降の本会議、全員協議会、各委員会のデータが検索可能

イ 平成15年11月から、インターネットによる会議録検索に対応

5 議会事務局の事務分掌

(1) 庶務係

- ア 公印の管理に関する事。
- イ 文書の収受、発送及び保存に関する事。
- ウ 予算及びその経理に関する事。
- エ 議員の身分、人事、福利厚生、共済等に関する事。
- オ 議員の報酬、費用弁償等に関する事。
- カ 議長会等に関する事。
- キ 儀式及び交際に関する事。
- ク 議会関係各室の管理に関する事。
- ケ 職員の人事、服務、給与等に関する事。
- コ 議決証明等に関する事。
- サ 物品の出納保管に関する事。
- シ 議会乗用車の管理に関する事。
- ス 他の係の所管に属さない事項に関する事。

(2) 議事係

- ア 本会議に関する事。
- イ 常任委員会、特別委員会、協議会等に関する事。
- ウ 議会において行う選挙等に関する事。
- エ 公聴会、参考人等に関する事。
- オ 議案その他付議事件に関する事。
- カ 議員の出欠席に関する事。
- キ 議事日程及び諸報告に関する事。
- ク 請願及び陳情に関する事。
- ケ 会議録その他の会議記録の調製及び保管に関する事。
- コ 議会の傍聴に関する事。
- サ その他議事に関する事。

(3) 調査係

- ア 議会、委員会等から命じられた事項の調査に関する事。
- イ 市政の調査及び研究に関する事。
- ウ 各種資料の収集、整理及び発行に関する事。
- エ 議員の研修に関する事。
- オ 条例、規則等の制定及び改廃に関する事。
- カ 法令等の調査研究に関する事。
- キ 議会広報に関する事。
- ク 照会事項の回答に関する事。
- ケ 議会図書室に関する事。
- コ 視察に関する事。

飯田市議会要覧

参 考 資 料

平成26年度 飯田市各会計予算の概要

| 会 計 名 | | 予 算 額 | | 比 較 | |
|------------------|------|------------|------------|-------------|---------|
| | | 26年度 (A) | 25年度 (B) | (A)-(B) (C) | (C)/(B) |
| 一 般 会 計 | | 45,920,000 | 43,272,000 | 2,648,000 | 6.1 |
| 国民健康保険特別会計 | 事業勘定 | 10,034,600 | 10,008,190 | 26,410 | 0.3 |
| | 直診勘定 | 4,600 | 4,600 | 0 | 0.0 |
| 後期高齢者医療特別会計 | | 1,236,100 | 1,171,200 | 64,900 | 5.5 |
| 介護保険特別会計 | | 10,382,100 | 10,068,000 | 314,100 | 3.1 |
| 地方卸売市場事業特別会計 | | 32,700 | 16,400 | 16,300 | 99.4 |
| 駐車場事業特別会計 | | 73,200 | 70,000 | 3,200 | 4.6 |
| 墓地事業特別会計 | | 21,000 | 13,800 | 7,200 | 52.2 |
| 簡易水道事業特別会計 | | 145,900 | 151,900 | △ 6,000 | △ 3.9 |
| 下水道事業特別会計 | | 4,277,700 | 4,141,900 | 135,800 | 3.3 |
| 介護老人保健施設事業特別会計 | | 688,300 | 702,300 | △ 14,000 | △ 2.0 |
| 上村デイサービスセンター特別会計 | | 34,500 | 27,700 | 6,800 | 24.5 |
| ケーブルテレビ放送事業特別会計 | | 131,000 | 129,000 | 2,000 | 1.6 |
| 病院事業会計 | | 17,266,255 | 14,655,062 | 2,611,193 | 17.8 |
| 水道事業会計 | | 3,100,100 | 3,141,000 | △ 40,900 | △ 1.3 |
| 特別会計の計 | | 47,428,055 | 44,301,052 | 3,127,003 | 7.1 |
| 計 | | 93,348,055 | 87,573,052 | 5,775,003 | 6.6 |

(単位:千円、%)

| 主 な 内 容 | | |
|--|--|----|
| | | 一般 |
| 保険給付費 6,824,735 後期高齢者支援金等 1,353,829 介護納付金 568,437 共同事業拠出金 1,013,496 保健事業費 84,701 | | 国保 |
| 三穂診療所、上村歯科診療所 | | |
| 後期高齢者医療広域連合納付金 1,200,383 | | 後高 |
| 保険給付費 10,005,971 地域支援事業費 174,953 | | 介護 |
| 卸売市場費 28,100(うち消火設備工事18,000) | | 市場 |
| 中央、本町、飯田駅、駅西、扇町各駐車場の管理運営 68,160 | | 駐車 |
| 霊園の管理運営 14,335(うち西部霊園造成6,400) | | 墓地 |
| 遠山簡易水道の管理運営 68,032 施設整備 20,000 | | 簡水 |
| 公共下水道事業 349,000 公共下水道排水費 302,187 松尾浄化管理センター管理費 456,574 農業集落排水事業 145,492 公債費 2,532,313 | | 下水 |
| 施設管理費 608,368 施設事業費 79,932 | | 老施 |
| 総務費 23,100(うち施設改修7,323) サービス事業費 11,115 | | デイ |
| 竜東維持管理費 63,825 遠山郷維持管理費 20,892 公債費 45,044 | | ケテ |
| 収益的収入 12,447,000 収益的支出 15,313,000(うち特別損失2,887,729) 資本的収入 1,088,077 資本的支出 1,953,255 | | 病院 |
| 収益的収入 2,257,400 収益的支出 2,052,800 資本的収入 288,400 資本的支出 1,047,300 (うち鉛製給水管布設替146,610 老朽管更新64,500 鼎配水池整備38,000 緊急連絡管整備事業 70,000) | | 水道 |
| | | 特会 |
| | | 計 |

【平成26年度】 一般会計 歳入 主要内容と増減内訳

| 区 分 | 予 算 額 | | (A)の 構成比 | 増 減 | |
|--------------------------|------------|------------|-------------|-------------|---------|
| | 26年度(A) | 25年度(B) | | (A)-(B) (C) | (C)/(B) |
| 1 市 税 | 12,961,400 | 12,964,400 | 28.2 | △ 3,000 | △ 0.0 |
| 2 地 方 譲 与 税 | 434,000 | 461,000 | 0.9 | △ 27,000 | △ 5.9 |
| 3 利 子 割 交 付 金 | 23,000 | 33,000 | 0.1 | △ 10,000 | △ 30.3 |
| 4 配 当 割 交 付 金 | 38,000 | 25,000 | 0.1 | 13,000 | 52.0 |
| 5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金 | 1,000 | 4,000 | 0.0 | △ 3,000 | △ 75.0 |
| 6 地 方 消 費 税 交 付 金 | 1,398,000 | 1,227,000 | 3.0 | 171,000 | 13.9 |
| 7 自 動 車 取 得 税 交 付 金 | 50,000 | 84,000 | 0.1 | △ 34,000 | △ 40.5 |
| 8 地 方 特 例 交 付 金 | 41,000 | 40,000 | 0.1 | 1,000 | 2.5 |
| 9 地 方 交 付 税 | 11,150,000 | 11,150,000 | 24.3 | 0 | 0.0 |
| 10 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金 | 18,000 | 18,000 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 11 分 担 金 及 び 負 担 金 | 872,856 | 840,897 | 1.9 | 31,959 | 3.8 |
| 12 使 用 料 及 び 手 数 料 | 581,182 | 575,976 | 1.3 | 5,206 | 0.9 |
| 13 国 庫 支 出 金 | 4,987,711 | 4,414,681 | 10.9 | 573,030 | 13.0 |
| 14 県 支 出 金 | 2,511,898 | 2,342,373 | 5.5 | 169,525 | 7.2 |
| 15 財 産 収 入 | 36,573 | 35,293 | 0.1 | 1,280 | 3.6 |
| 16 寄 附 金 | 11,000 | 11,000 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 17 繰 入 金 | 1,341,874 | 880,187 | 2.9 | 461,687 | 52.5 |
| 18 繰 越 金 | 500,000 | 500,000 | 1.1 | 0 | 0.0 |
| 19 諸 収 入 | 2,361,906 | 2,357,193 | 5.1 | 4,713 | 0.2 |
| 20 市 債 | 6,600,600 | 5,308,000 | 14.4 | 1,292,600 | 24.4 |
| 合 計 | 45,920,000 | 43,272,000 | 100.0 | 2,648,000 | 6.1 |

※表示単位未満四捨五入。各項目と合計は一致しない場合がある。

単位:千円

| 主 内 容 | 増減(A)-(B)の主な内容 | |
|---|---|----|
| 市民税 5,535,000(個人 4,578,000 法人 957,000) 固定資産税 5,739,400 軽自動車税 264,200 市たばこ税 720,000 入湯税 4,000 都市計画税 698,800 | 個人現年 45,000(1.0%) 法人現年 16,000(1.7%) 固定現年 △32,000(△0.6%) たばこ △30,000(△4.0%) | 市税 |
| 地方揮発油譲与税 126,000 自動車重量譲与税 308,000 | 揮発油譲与税 △9,000 重量譲与税 △18,000 | 地譲 |
| | | 利子 |
| | | 配当 |
| | | 株式 |
| | | 消費 |
| | | 自取 |
| | | 地特 |
| 普通交付税 10,300,000 特別交付税 850,000 | | 地交 |
| | | 交通 |
| 農林費分担金 70,060(非補助土地改良 70,000) 民生費負担金 733,702(保育料 674,702 老人措置 59,000) | 道路改良(広域連合分) 29,540 保育料 10,479 福祉企業センター措置(他市分) △2,109 | 分負 |
| 住宅使用料 158,336 ごみ処理手数料 143,299 戸籍等手数料 50,206 休日夜間診療所 44,769 斎苑使用料 38,552 道路河川占用料 38,230 体育施設 21,733 文化会館 19,500 建築確認手数料 7,880 美術博物館 6,510 | 住宅使用料 14,033 休日夜間診療所使用料 2,269 体育施設使用料 1,500 地域人形劇センター観覧料 △10,000 小笠原資料館観覧料 △924 | 使手 |
| 負担金 民生費 3,415,014(児童手当 1,303,099 障害 830,134 生活保護 489,456 民間保育所 424,174 ひとり親家庭 142,482) 衛生費 29,000(保険基盤安定) | 臨時福祉給付金 432,325 道路改良 196,750 子育て世帯臨時特例給付金 132,589 学校給食設備整備 55,492 障害児施設措置費等負担金 29,858 障害者自立支援給付費負担金 18,304 小学校施設整備 18,247 障害者医療負担金 12,240 生活困窮者自立促進 11,000 地域の元気臨時交付金 △277,000 住宅建設 △39,572 天龍峡整備 △33,405 | 国庫 |
| 補助金 総務費 11,725(地域少子化対策 6,725 過疎集落等自立再生 5,000) 民生費 636,443(臨時福祉給付 432,325 子育て世帯臨時特例給付 132,589) 衛生費 13,474(環境保全 7,624 成人保健 3,203) 商工費 19,540(天龍峡 18,640 市街地 900) 土木費 657,040(道路 540,900 橋りょう 62,150 住宅 28,590) 消防費 15,382(消防施設 10,772 災害対策 4,610) 教育費 169,362(学校給食 55,492 文化財保護 43,917) | 6次産業化ネットワーク活動 205,000 知事選挙 31,241 林道改良・舗装・開設 25,702 障害児通所給付費等負担金 14,929 統計調査委託(臨時調査) 13,194 地域子育て支援対策臨時特例 10,876 後期高齢者医療保険基盤安定事業負担金 9,209 県議会議員選挙 6,565 新規就農・経営継承総合支援事業 4,500 民間保育子育支援対策臨時特例 △120,387 参議院議員選挙 △38,200 林道開設 △14,527 | 県費 |
| 負担金 民生費 1,165,631(障害 400,727 児童手当 285,418 民間保育所 212,087) 衛生費 174,250(保険基盤安定) | | |
| 補助金 民生費 399,122(医療給付 211,676 民間保育所 57,970 地域子育て 47,984 児童健全育成 34,023) 労働費 24,321(雇用対策) 農林費 389,409(農業振興 230,173 林業振興 66,931 農政対策 77,387 国土調査 7,822) | | |
| 委託金 総務費 219,012(県民税 158,540) | | |
| 財産貸付料 24,848 基金運用収入 5,787 不動産売却収入 5,061 | 財産貸付料 595 基金運用 351 配当金 334 | 財産 |
| ふるさと寄附金 5,000 奨学資金 6,000 | | 寄附 |
| 財調 500,000 減債 223,000 公共施設 200,000 ふるさと 31,706 社会福祉施設 51,000 庁舎 266,171 地域雇用創出推進 27,914 過疎自立促進 23,570 菱田春草 16,000 財産区 2,513 | 財調 200,000 減債 73,000 公共施設 50,000 ふるさと △37,294 社会福祉施設 17,350 庁舎 163,454 | 繰入 |
| | | 繰越 |
| 貸付金元利収入 1,714,191(商工制度資金 1,500,000 生活資金 170,000) 雑入 546,133 受託事業収入 97,382 | スポーツ振興 20,000 鳥獣被害防止 12,650 土地改良施設維持管理 △25,200 | 諸入 |
| 合併特例債・・・2,979,900 庁舎 1,897,500 社会教育施設 465,800 地域振興基金 285,000 道路 159,400 住宅 108,700 文化財 30,800 過疎対策事業債・・・80,700 公共交通体系 29,000 林道 22,700 道路 21,100 消防施設 6,200 老人福祉 1,700 その他・・・3,540,000 土木 495,000 消防施設 58,700 臨時財政対策債 2,062,000 | 庁舎整備事業債 752,600 学校給食事業債 595,300 小学校建設事業債 226,000 道路新設改良事業債 160,400 社会教育施設整備事業債 120,000 文化会館整備事業債 △245,100 消防施設事業債 △211,500 臨時財政対策債 △88,000 | 市債 |

【平成26年度】一般会計 目的別歳出 主要内容と増減内訳

| 区 分 | 予 算 額 | | (A)の構成比 | 増 減 | |
|---------------|------------|------------|---------|-------------|---------|
| | 26年度 (A) | 25年度 (B) | | (A)-(B) (C) | (C)/(B) |
| 1 議 会 費 | 287,782 | 286,113 | 0.6 | 1,669 | 0.6 |
| 2 総 務 費 | 6,111,471 | 5,088,843 | 13.3 | 1,022,628 | 20.1 |
| 3 民 生 費 | 13,851,404 | 13,278,362 | 30.2 | 573,042 | 4.3 |
| 4 衛 生 費 | 5,120,747 | 4,948,892 | 11.1 | 171,855 | 3.5 |
| 5 労 働 費 | 271,129 | 280,558 | 0.6 | △ 9,429 | △ 3.4 |
| 6 農 林 水 産 業 費 | 1,399,185 | 1,157,203 | 3.0 | 241,982 | 20.9 |
| 7 商 工 費 | 2,368,446 | 2,517,003 | 5.2 | △ 148,557 | △ 5.9 |
| 8 土 木 費 | 4,803,593 | 4,634,413 | 10.5 | 169,180 | 3.7 |
| 9 消 防 費 | 1,268,434 | 1,527,359 | 2.8 | △ 258,925 | △ 17.0 |
| 10 教 育 費 | 5,111,113 | 4,232,868 | 11.1 | 878,245 | 20.7 |
| 11 災 害 復 旧 費 | 4,300 | 4,300 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 12 公 債 費 | 4,982,296 | 4,975,986 | 10.8 | 6,310 | 0.1 |
| 13 諸 支 出 金 | 300,100 | 300,100 | 0.7 | 0 | 0.0 |
| 14 予 備 費 | 40,000 | 40,000 | 0.1 | 0 | 0.0 |
| 合 計 | 45,920,000 | 43,272,000 | 100.0 | 2,648,000 | 6.1 |

単位:千円

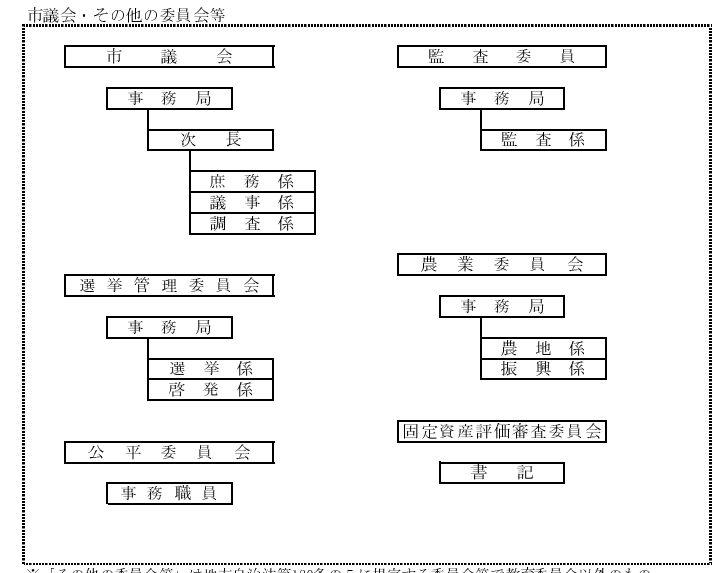
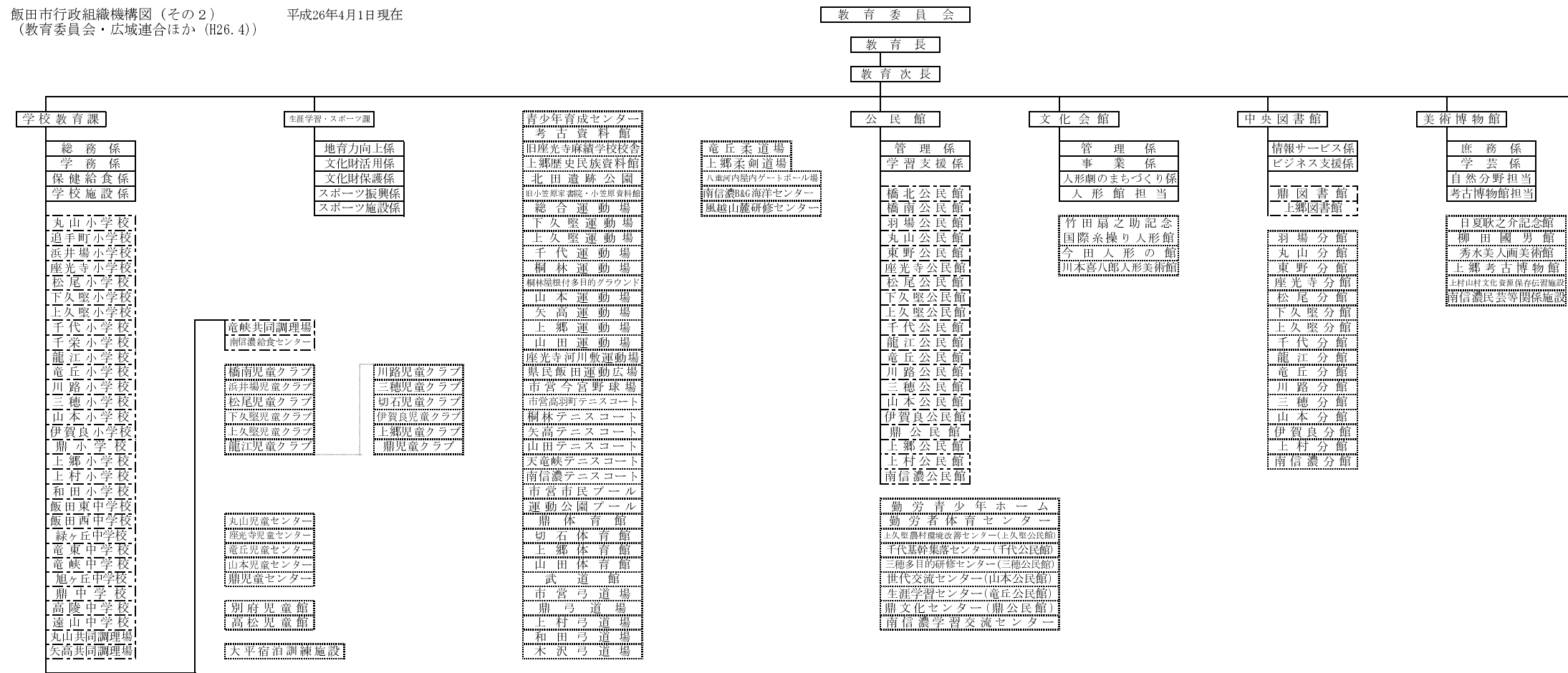
| 主 内 容 | 増 減 の 主 な 内 容 | |
|---|---|----------|
| 議会費 287,782 | 議員人件費 2,175 | 議会 |
| 庁舎整備 2,148,948 退職手当 536,863 総務一般管理 149,521 地域振興住宅整備 114,480 住民情報システム管理 110,288 地域自治支援 104,200 リニア中央新幹線飯田駅整備推進基金積立 100,000 市民バス等運行 99,511 リニア推進・調査 96,688 広域負担金 95,921 自治振興センター管理 93,359 課税事務委託 70,722 ケーブルテレビ特会繰出 45,100 文書管理 41,481 賦課費 38,567 地域交流センター管理費 35,310 | 庁舎整備 920,535 地域振興住宅整備 114,480 リニア調査 45,324 知事選挙 31,241 広域負担金 20,263 総務一般管理 15,908 農業委員会委員選挙 14,881 市民バス等運行 13,232 臨時統計調査 13,194 電子申請届出システム管理 9,858 リニア中央新幹線飯田駅整備推進基金積立 △200,000 集会施設整備 △50,947 市議会議員選挙 △44,774 参議院議員選挙 △38,200 | 総務 |
| 児童手当 1,873,935 障害者福祉 1,833,092 介護保険特会繰出 1,488,461 民間保育所運営 1,429,692 公立保育所 1,329,651 後期高齢者医療関係 1,322,825 生活保護措置 652,608 臨時福祉給付金給付 432,325 児童扶養手当 408,684 養護老人ホーム措置 345,045 障害者医療費給付 283,271 障害児通所支援 256,300 子ども医療費給付 209,721 介護老人保健施設特会繰出 140,700 子育て世帯臨時特例給付金給付 132,589 児童館・クラブ等 114,579 | 臨時福祉給付金 432,325 子育て世帯臨時特例給付金 132,589 特別養護老人ホーム等建設補助 64,920 障害児通所支援 59,716 障害者福祉 54,842 介護保険特別会計繰出 42,222 地域子育て支援拠点 37,323 ふれあいの郷管理 25,485 民間保育所施設整備 △231,092 | 民生 |
| 病院事業負担金 929,623 病院事業出資金 479,977 広域負担金(焼却場) 806,300 国保特会繰出 599,755 簡易水道費 403,688 ごみ収集処理 286,047 予防接種 201,204 妊婦健診 111,662 簡水特会繰出 97,800 がん検診 96,846 広域負担金(竜水園) 91,577 最終処分場管理 69,488 合併処理浄化槽普及促進 49,570 上村診療所運営費 51,619 容器包装リサイクル 50,389 | 病院事業出資金 479,977 広域負担金(焼却場) 236,515 簡易水道費 26,083 不法投棄対策 9,129 広域負担金(竜水園) 6,980 ごみ収集処理 5,216 病院事業負担金 △486,377 再生可能エネルギー推進基金積立 △40,000 予防接種 △36,656 がん検診 △21,699 合併処理浄化槽普及促進 △7,714 | 衛生 |
| 勤労者協調融資 170,000 勤労者福祉センター管理 44,547 雇用対策 11,525 勤労者共済会補助 11,421 人材誘導 3,529 | 勤労者福祉センター管理 967 雇用対策 △1,683 人材誘導 △300 | 労働 |
| 6次産業化推進 205,000 農業基盤整備資金償還補助 175,557 林道改良・舗装 96,425 市単土地改良 82,000 非補助土地改良 70,000 新規就農者支援 51,182 農作物被害対策 48,556 中山間地域等直接支払 44,796 意欲ある農業者支援 33,125 分収造林 29,327 農業委員会活動推進 23,481 林道管理 18,324 | 6次産業化推進 205,000 林道改良・舗装・開設 53,017 意欲ある農業者支援 33,125 農作物被害対策 12,173 土地改良施設維持管理適正化 △28,000 国営造成施設耐震対策 △20,000 非補助土地改良 △10,000 | 農林 |
| 中小企業金融対策 1,614,400 企業立地促進補助 93,427 上村観光施設管理 44,915 地場産業等振興 43,200 天龍峡整備(補助) 31,913 南信濃観光施設管理 31,352 商工会議所活動運営補助 28,500 観光施設管理 25,749 産業用地整備 25,000 遠山郷観光戦略プロジェクト 14,350 | 産業用地整備 25,000 企業立地促進事業補助 13,419 上村観光施設管理 8,495 天龍峡整備補助 △95,716 新産業クラスター △50,669 中小企業金融対策 △26,000 商工会議所活動運営補助 △21,099 | 商工 |
| 下水道特会繰出 1,874,000 道路改良(補助) 1,045,320 道路維持 469,700 道路改良(単独) 263,661 橋りょう長寿命化修繕 117,314 公園整備 94,690 公営住宅整備 62,739 除雪 56,154 都市公園維持管理 49,350 動物園管理 46,898 河川自然災害防止 40,000 潰地登記・道路台帳補正 33,846 道路自然災害防止 31,500 飯田子どもの森公園維持管理 28,340 | 道路改良(補助) 384,720 公園整備 50,631 下水道特会繰出 19,600 道路改良(単独) 13,784 地域振興住宅整備 △96,000 公営住宅整備 △85,868 橋りょう耐震整備 △46,200 県街路事業地元負担 △28,425 土地利用基本方針運用 △15,839 都市計画基本図作成 △6,036 県道関連 △4,284 | 土木 |
| 広域負担金(消防) 902,124 消防団運営 176,662 消防体制強化整備 79,874 住宅倒壊防止対策 22,427 | 住宅倒壊防止対策 6,387 消防体制強化整備 △207,799 災害対策備蓄 △48,827 | 消防 |
| 竜峡共同調理場改築 750,960 公民館等耐震化整備 519,275 学校給食関連 336,630 伊賀良小第2体育館整備 179,420 学校教育振興 178,301 体育施設管理 168,239 学校管理一般経費 145,090 学校教育補助員等雇用 116,153 公民館管理・運営 108,326 学校施設大規模改修 100,000 美術博物館管理 95,426 菱田春草生誕地整備 80,467 学校施設改修 78,504 体育施設改修 58,179 | 竜峡共同調理場改築 750,960 伊賀良小第2体育館整備 165,420 公民館等耐震化整備 154,271 菱田春草生誕地整備 79,467 体育施設改修 25,208 文化会館施設整備 △251,559 旧飯田測候所整備 △54,025 | 教育 |
| 長期債元金 4,521,586 長期債利子 458,710 一時借入金利子 2,000 | 長期債元金 36,980 長期債利子 △30,670 | 災害 公債 |
| 地域振興基金 300,000 学術研究振興基金 100 | | 諸支 |
| | | 予備 |
| | | |
| | | |

【平成26年度】一般会計 性質別歳出 増減内訳

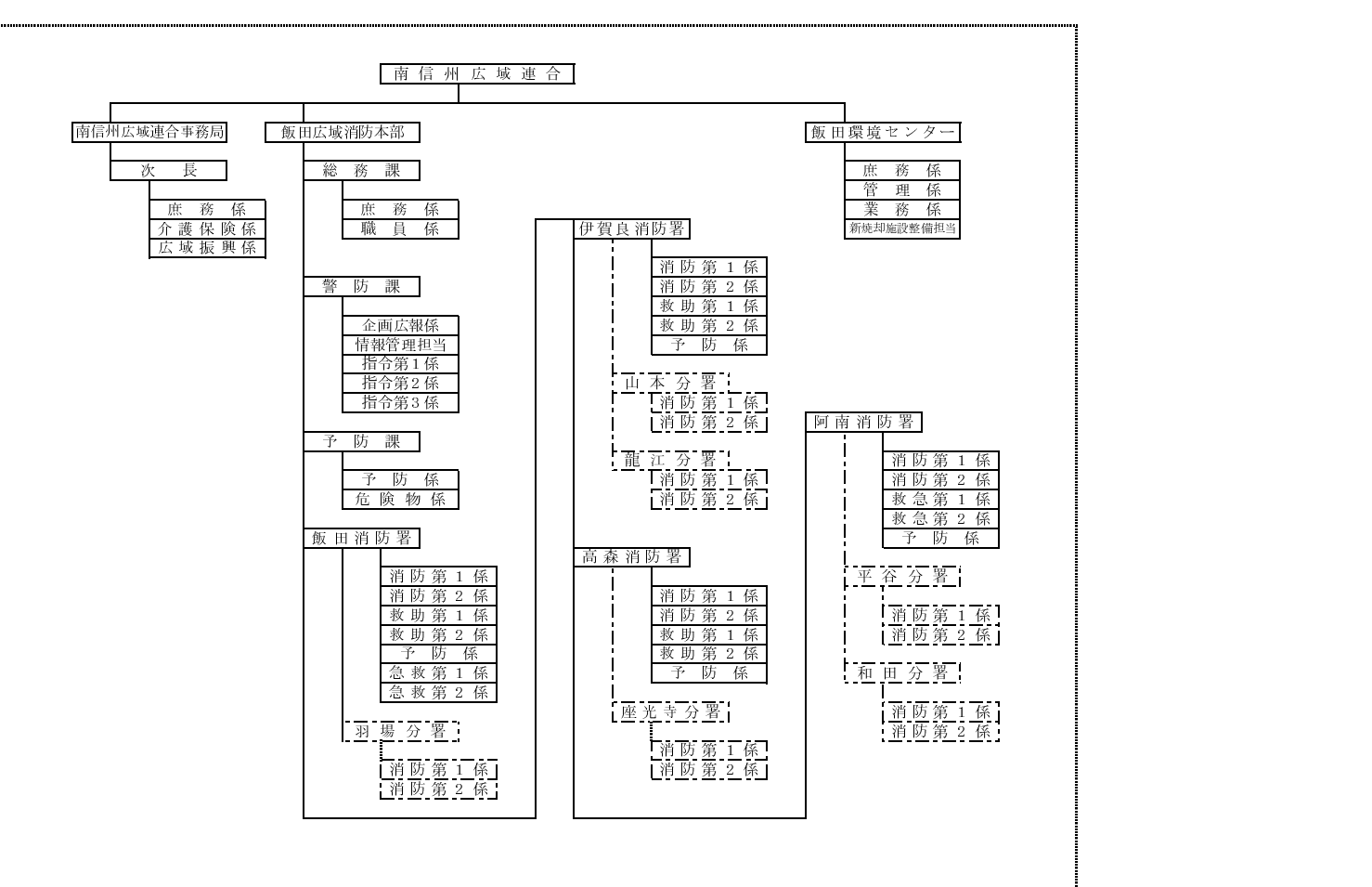
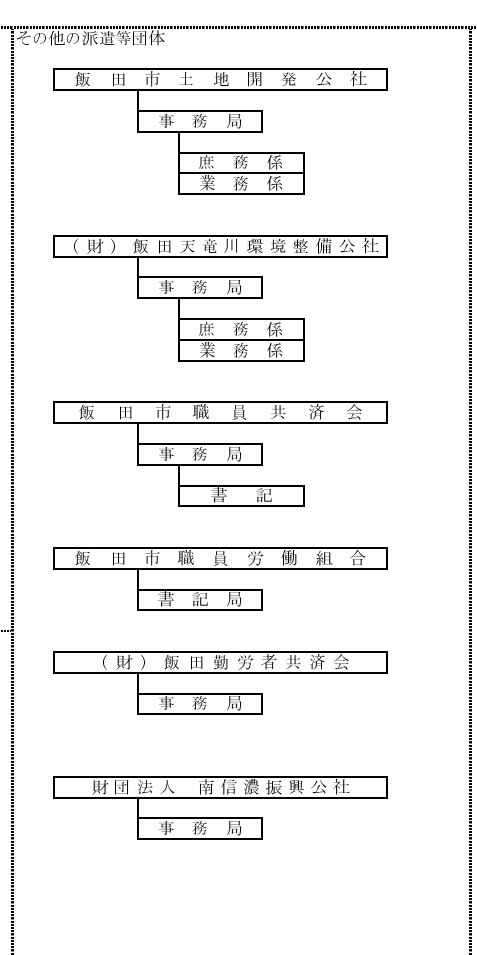
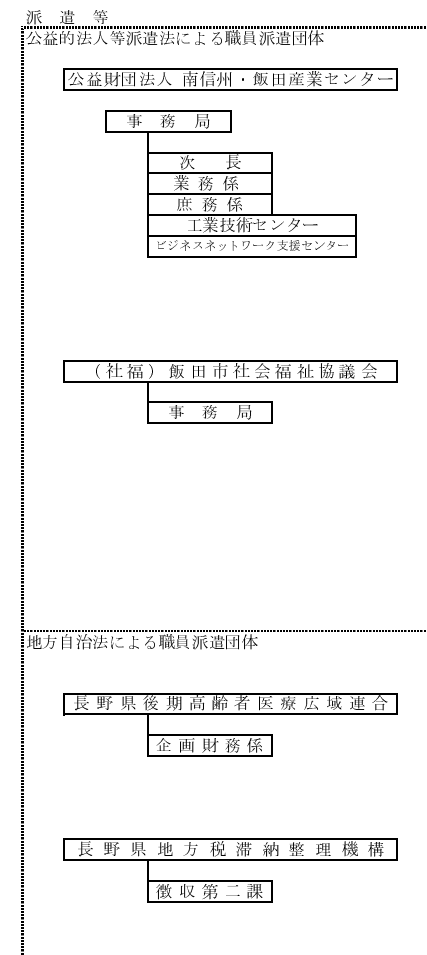
| | 26年度予算額 | | 25年度予算額 | | 増減 | |
|----------|------------|-------|------------|-------|-------------|---------|
| | (A) | 構成比 | (B) | 構成比 | (A)-(B) (C) | (C)/(B) |
| 1 人件費 | 6,032,947 | 13.1 | 5,906,859 | 13.7 | 126,088 | 2.1 |
| 2 扶助費 | 7,452,815 | 16.2 | 7,296,745 | 16.9 | 156,070 | 2.1 |
| 3 公債費 | 4,982,296 | 10.8 | 4,975,986 | 11.5 | 6,310 | 0.1 |
| 小計 | 18,468,058 | 40.1 | 18,179,590 | 42.1 | 288,468 | 1.6 |
| 4 物件費 | 5,562,645 | 12.1 | 5,609,936 | 13.0 | △ 47,291 | △ 0.8 |
| 5 維持補修費 | 546,416 | 1.2 | 540,673 | 1.2 | 5,743 | 1.1 |
| 6 補助費等 | 5,845,413 | 12.7 | 5,471,033 | 12.6 | 374,380 | 6.8 |
| 7 積立金 | 400,100 | 0.9 | 640,100 | 1.5 | △ 240,000 | △ 37.5 |
| 8 投資・出資金 | 672,273 | 1.5 | 0 | 0.0 | 672,273 | 皆増 |
| 9 貸付金 | 1,734,958 | 3.8 | 1,742,078 | 4.0 | △ 7,120 | △ 0.4 |
| 10 繰出金 | 5,598,785 | 12.2 | 5,542,011 | 12.8 | 56,774 | 1.0 |
| 11 投資的経費 | 7,051,352 | 15.4 | 5,506,579 | 12.7 | 1,544,773 | 28.1 |
| 補助 | 1,756,321 | 3.8 | 1,427,694 | 3.3 | 328,627 | 23.0 |
| 単独 | 5,295,031 | 11.6 | 4,078,885 | 9.4 | 1,216,146 | 29.8 |
| 普通建設費 | 7,047,052 | 15.4 | 5,502,279 | 12.7 | 1,544,773 | 28.1 |
| 補助 | 1,756,321 | 3.8 | 1,427,694 | 3.3 | 328,627 | 23.0 |
| 単独 | 5,290,731 | 11.6 | 4,074,585 | 9.4 | 1,216,146 | 29.8 |
| 災害復旧費 | 4,300 | 0.0 | 4,300 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 補助 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 単独 | 4,300 | 0.0 | 4,300 | 0.0 | 0 | 0.0 |
| 12 予備費 | 40,000 | 0.1 | 40,000 | 0.1 | 0 | 0.0 |
| 合計 | 45,920,000 | 100.0 | 43,272,000 | 100.0 | 2,648,000 | 6.1 |

単位：千円

| 主たる増減の内訳 | | |
|---|--|----|
| 退職手当 227,632 職員給与 △65,102 共済費 △42,423 | | 人件 |
| 障害者支援 115,633 民間保育所運営費負担金 20,317 医療給付 8,279 老人ホーム措置費 8,045 公立保育所費 3,062 生活保護 △6,749 | | 扶助 |
| 元金 36,980 利子 △30,670 | | 公債 |
| | | 小計 |
| 臨時福祉給付金事務 36,428 子育て世帯臨時特例給付金事務 13,033 災害対策備蓄 △48,827 予防接種 △39,129 認知症施策 △6,051 | | 物件 |
| 自治振興センター管理 2,988 地域振興住宅管理 1,102 公営住宅管理 866 道路維持 △3,807 | | 維持 |
| 臨時福祉給付金 395,000 広域連合負担金 263,758 6次産業化推進 205,000 子育て世帯臨時特例給付金 118,360 市民バス等運行補助 16,832 鳥獣被害対策 12,763 病院事業負担金 △486,377 水道事業補助金 △165,937 | | 補助 |
| リニア中央新幹線飯田駅整備推進基金積立金 △200,000 再生可能エネルギー推進 △40,000 | | 積立 |
| 病院事業会計出資金 479,977 水道事業会計出資金 192,296 | | 投資 |
| 農業資金預託金 10,000 奨学金貸付金 2,520 中小企業振興資金借換預託 △20,000 | | 貸付 |
| 国保 △4,495 後期高齢者 11,483 介護保険 42,222 簡水 △6,400 下水 19,600 介護老人保健施設 △11,100 上村ダイ 6,900 | | 繰出 |
| | | 投資 |
| | | 補助 |
| | | 単独 |
| | | 普建 |
| 社会資本整備（道路） 342,000 竜峡共同調理場改築 154,170 林道改良 79,218 菱田春草生誕地整備 74,816 伊賀良小第2体育館整備 36,495 民間保育所整備 △216,412 天龍峡整備 △94,688 旧飯田測候所整備 △53,383 | | 補助 |
| 庁舎整備 887,985 竜峡共同調理場改築 596,790 公民館等耐震化整備 154,271 伊賀良小第2体育館整備 140,455 文化会館整備 △261,548 消防救急デジタル無線 △210,000 集会施設整備 △50,947 橋りょう耐震整備 △46,200 | | 単独 |
| | | 災害 |
| | | 補助 |
| | | 単独 |
| | | 予備 |



*「その他の委員会等」は地方自治法第180条の5に規定する委員会等で教育委員会以外のもの。



| (飯田市関係職員数) | |
|--------------------|----------------|
| ○ 飯田市 | 正規 1,501 人 |
| ○ 公益的法人等派遣法による派遣 | 3 人 |
| ○ 地方自治法による派遣 | 1 人 |
| ○ その他 | 2 人 |
| 飯田市職員計 | 1,509 人 |
| <hr/> | |
| (広域連合への派遣職員数) | |
| 南信州広域連合事務局 | 7 人 |
| 飯田環境センター | 2 人 |
| 広域連合への派遣職員計 | 9 人 |

注1 飯田市の組織機構は、飯田市組織規則に基づく。
 注2 職員数は、正規職員数のみ、臨時・非常勤職員を含まない。
 注3 職員数は、兼務職員を含まない。
 注4 職員数は、市長、副市長、教育長を含まない。
 注5 職員数は、広域消防からの出向職員を含む。

職員の定数

(平成26年4月1日現在)

| 区 分 | 定 数 (人) | 実 数 (人) |
|---------------------|--------------------|---------|
| 市長の事務部局の職員 | 810 | 693 |
| 議会の事務部局の職員 | 9 | 6 |
| 教育委員会の事務部局及び教育機関の職員 | 158 | 129 |
| 選挙管理委員会の事務部局の職員 | 5 | 3 |
| 公平委員会の事務部局の職員 | 2 (市長部局職員兼務2) | 0 |
| 監査委員の事務部局の職員 | 4 | 3 |
| 農業委員会の事務部局の職員 | 25 (市長部局職員兼務14) | 5 |
| 固定資産評価審査委員会の事務部局の職員 | 2 (市長部局職員兼務2) | 0 |
| 病院事業の職員 | 710 | 642 |
| 水道事業の職員 | 55 | 20 |
| 小 計 | 1,780 | 1,501 |
| 市長部局付派遣職員 | | |
| (財)南信州・飯田産業センター | | 3 |
| (社福)飯田市社会福祉協議会 | | 2 |
| 長野県後期高齢者医療広域連合 | | 1 |
| 長野県地方税滞納整理機構 | | - |
| 飯田市職員労働組合専従 | | 2 |
| 小 計 | | 8 |
| 派遣職員(自治法派遣) | | |
| 南信州広域連合事務局 | | 7 |
| 飯田広域消防本部 | | - |
| 飯田環境センター | | 2 |
| 小 計 | | 9 |
| 合 計 | | 1,518 |

都市宣言

1 安全都市宣言

わが国における産業経済の成長と生活文化の向上は、近年著しいものがあり、わが飯田市も近代的生産都市として発展の一翼をにない、市勢も各方面にわたり伸展しつつある。反面、産業災害、交通事故、火災などの各種災害が多発し、日常生活をおびやかされていることは、憂慮にたえないところである。

もとより、災害を防止するための措置は、それぞれの分野において積極的に実施されているが、われわれはさらに進んで市民の生命尊重と、産業文化伸展の理念のもとに、各種の災害をより効果的に防止するため、飯田市各階層を一丸とする市民運動を強力に推進し市民の安全意識の高揚をはかることこそ緊要であると確信する。

われわれは、この際「国民安全の日」制定の意義に沿い、本市における産業・労働・交通・消防・教育・文化・婦人団体など各界の連携をはかり、市民生活のあらゆる面において安全を確保し、明るく住みよい都市建設を目指して、ここに飯田市を「安全都市」とすることを宣言する。

昭和36年6月26日

飯 田 市 議 会

2 明るい選挙都市宣言

民主政治の健全を期するためには、明るい選挙が行わなければならない。即ち、民主政治の基盤は選挙にある。

本市は、さきに公明選挙都市宣言をなし、これが運動を推進し、その実績をあげつつあるとはいえ、なお、遺憾な点なしとはいえない。

よって市民の代表である、本市議会はここに決意を新たにするとともに、市民の希望と熱意を結集し、これが現実を期するため、飯田市を「明るい選挙都市」とすることを宣言する。

昭和40年6月29日

昭和61年6月25日（一部変更）

飯 田 市 議 会

3 青色申告都市宣言

本市は自主申告納税の理想郷を実現するため、また市民が青色申告の本質を再認識して国民の基本的義務である納税についての思いを新たにし、かつ、その納税意欲の向上をはかって、社会経済の発展に貢献するとともに、市民相互の繁栄と幸福を築くため、ここに飯田市を「青色申告都市」とすることを宣言する。

昭和52年9月21日

飯 田 市 議 会

4 電波障害防止都市宣言

今日の情報化社会において、テレビ・ラジオは市民生活にとって不可欠のものとなっている。

しかるに、都市の近代化による高層建築物の増加、電気設備などの高度化は電波障害を誘発する要因となっている。

当市議会は、かつて昭和41年9月、他の市町村に先駆けて「電波無雑音都市宣言」を議決し、多大の成果を得て今日にいたっている。

今後、都市の近代化がさらに進む中で発生を免れない電波障害を一掃し、市民の快適な生活環境を築くため、その宣言の精神を一層敷延化して、ここに本市を電波障害防止都市とすることを宣言する。

昭和54年12月21日

飯 田 市 議 会

5 シートベルトヘルメット着用都市宣言

飯田市における交通事故は激増の一途をたどり、悲惨な事故のために多くの市民がその犠牲となっており、昭和56年度における人口1万人当りの事故率は55.3人で、県下17市中第1位という極めて憂慮される事態を迎え、事故絶滅は現下の緊急課題である。

交通事故の実態を見ると、シートベルト並びにヘルメットの着用は被害の防止、軽減を図る上で大きな効果が認められているが、その着用率は未だ十分といえない状況である。交通量の増加に伴い、ますます交通事故の危険が迫る現状にかんがみ、運転者のなお一層の交通安全意識を高めるため、ここに「シートベルト並びにヘルメットの着用」を宣言する。

昭和57年12月21日

飯 田 市 議 会

6 非核平和都市宣言

世界の恒久平和は、人類共通の願望である。

しかるに、米・ソ超核大国による核軍拡競争は拡大均衡をめざすという口実でますます激化し、世界の平和と安全に重大な脅威と危機をもたらしている。

わが国は、世界唯一の核被爆国としてこの地球上に広島、長崎の惨禍を再びくりかえしてはならないと訴えるものである。

飯田市は、平和憲法の本質にのっとり、「非核三原則」を将来ともに尊重し、あらゆる国のあらゆる核兵器の廃絶を全世界に強く訴え、核兵器の全面撤廃と軍縮を推進し、もって世界の恒久平和達成をめざすものである。

ここに、飯田市を「非核平和都市」とすることを宣言する。

昭和59年6月28日

飯 田 市 議 会

7 振替納税推進都市宣言

期限内完納の思想の高揚をはかるため、市民が振替納税の本質を理解して国民の基本的義務である納税意識が向上し、社会経済の発展と市民相互の繁栄に貢献することを願い、ここに飯田市を「振替納税推進都市」とすることを宣言する。

昭和60年6月29日

飯 田 市 議 会

8 暴力団追放都市宣言

飯田市は、美しい自然と長い歴史と伝統文化にまつまれた人情豊かなまちとして、平和で明るく住みよいまちづくりに積極的に取り組んでいるところである。

しかしながら、暴力団による不法行為は増加の一途を辿り、暴力団同志によるけん銃発砲事件も発生し、善良な市民生活が脅かされるなど、美しい郷土のイメージが損なわれことは、まことに遺憾であり、強い憤りを感じるものである。

善良な市民の平穏な日常生活と安全を守る立場から全市民の総意を結集し、暴力を是認しない地域づくりにつとめ、すべての暴力の根絶を図らなければならない。

よって、本市議会は、犯罪のない平和な住みよい郷土の建設をめざし、暴力行為を壊滅し、すべての暴力団を追放するため、ここに飯田市を「暴力団追放都市」とすることを宣言する。

昭和61年12月22日

飯 田 市 議 会

9 人権尊重都市宣言

私たちは、だれもが人間らしく幸福に生きる権利を有し、だれからも尊重され、親しまれ、愛されながら豊かに暮らすことを求めています。そして、美しい自然と同様に、だれ隔てなく接する思いやりのある美しい心を持つ市民が明るく生活するまちちを目指して努力しています。

しかし、大変残念なことに、現実には偏見による差別など様々な人権侵害が存在しています。このことは、早急に解決しなければならない重要な課題です。

よって、私たちは基本的人権を正しく理解し、尊重し、人権擁護の良き実践者となるとともに、善意を広め、互いに励まし合い、手を取り合ってあらゆる人権侵害を根絶することを誓うため、ここに飯田市を「人権尊重都市」とすることを宣言します。

平成8年6月24日

飯 田 市 議 会

10 環境文化都市宣言

私たち飯田市民は、地球環境問題が人類共通の課題であることに着目し、人と自然のかかわりを見つめ直して、日々の生活から産業活動まですべての営みが自然と調和するまちづくりに、先駆的に取り組んできました。

自然環境や生活環境などを取り巻く状況が厳しさの度を増している今日、「持続可能性」と「循環」を基本にして自分たちのライフスタイルから社会の有り様に至るまでをあらためて見直し、「環境に配慮」する日常の活動を「環境を優先」する段階へと発展させながら、新たな価値観や文化の創造へと高めていく必要があります。

私たちは、かけがえのない地球にある生態系の中で自然と共生する地球市民の一員としての原点に立ち返り、先人から受け継いだ美しい自然環境と多様で豊かな文化を活かしながら、市民、事業者、行政など多様な主体の積極的な参加と行動とによって人も自然も輝く個性ある飯田市を築くことを誓い、ここに「環境文化都市」を宣言します。

平成19年3月23日

飯 田 市 議 会

市政提携に関する覚書

長野県飯田市（以下「甲」という）と岡山県津山市（以下「乙」という）は、市政執行の面において相互に啓発し、いっそう市政の伸展と住民福祉の向上を期するため、緊密に提携することを協定し、当面、この目的達成のため、次の事項を実行することを確認する。

記

1 この目的達成のため、甲、乙において作成したあらゆる行政事務資料で、相手方の参考になると考えられるものは、相互に送付するものとする。この場合は窓口は、総務課 扱いとする。

2 甲、乙は、必要に応じて協議の上、相互に研修のため職員を派遣することができる。この派遣職員の滞在に要する経費は、それぞれ派遣する側の負担とする。ただし、執務に要する事務的経費は、委託を受けた側が負担する。

3 この協定書以外の特別な事項で必要があると認めるときは、その都度双方協議のうえ、決定する。

以上この協定を証するため、覚書2通を作成し、甲・乙各1通を保有する。

昭和44年3月25日

| | | |
|---|------|------|
| 甲 | 飯田市長 | 清水重美 |
| 乙 | 津山市長 | 生末敏夫 |

友好都市締結

盟 約 書

日本国長野県飯田市とフランス共和国アルデンヌ県シャルルヴィル・メジエール市は、共に古きよき伝統を有し、人形劇芸術において重要な役割を果たしつつある。

両市の市民と市民が構成するさまざまな組織間の相互理解と友情を深めることにより、日本国とフランス共和国の親善を促進し、世界の平和に貢献することを希求し、ここに両市が友好都市として提携することを盟約する。

昭和63年8月5日

日本国 長野県
飯田市
市長 松澤太郎

フランス共和国アルデンヌ県
シャルルヴィル・メジエール市
市長 ロジェ・マス

飯田市の主要年表

| 年 月 | 事 項 |
|---------|---|
| 昭和12. 4 | 飯田・上飯田町合併 飯田市誕生 人口31,289人 |
| 5 | 第1回市議会議員選挙 |
| 6 | 飯田市初議会で、市長に野原文四郎氏を推挙 |
| 14. 11 | 市瀬泰一氏第2代目市長に就任 |
| 17. 5 | 市議選翼賛選挙で無投票当選 |
| 18. 8 | 伊那電鉄など飯田線となる |
| 19. 12 | 県立飯田保健所開所 |
| 21. 4 | 戦後初の衆議院選挙 飯田市の人口33,772人 |
| 7 | 飯田駅前大火 |
| 22. 4 | 公選による知事、市長選。高田茂氏当選 第4代目市長に |
| 4 | 飯田市大火 市街地の3分の2を焼失 |
| 23. 3 | 飯田市消防本部、消防署発足 |
| 26. 12 | 飯田市立病院開院 |
| 28. 11 | りんご並木の植付始まる |
| 29. 4 | 飯田長姫高校全国高校野球選抜大会で優勝 |
| 10 | 飯田市公民館、復興記念館開館 |
| 30. 4 | 市長選に松井卓治氏当選、第5代目市長に就任 |
| 31. 9 | 飯田市、座光寺村、松尾村、竜丘村、三穂村、伊賀良村、山本村、下久堅村が合併、新飯田市発足 |
| 31. 10 | 合併初の市議会 飯田市公民館で開催、議員数145名 合併後の市長選 松井卓治氏無投票当選 |
| 32. 4 | 松井市長、鼎町と上郷村へ合併を申入れる |
| 34. 7 | 飯田市下水処理場供用開始。県下初、全国で6番目 |
| 35. 7 | 飯田市民プール完成 |
| 36. 3 | 川路村を合併 |
| 6 | 梅雨前線豪雨伊那谷を襲う 死者11人 行方不明5人 |
| 37. 10 | 建設大臣伊那谷の災害地を視察 |
| 11 | 飯田市役所新庁舎落成 |
| 38. 10 | 低開発地域工業開発地区に指定される |
| 12 | りんご並木後援会発足 |
| 39. 3 | 龍江村、千代村、上久堅村を合併 |
| 40. 7 | 市立病院新館落成 |
| 9 | 組合立、飯田衛生センター落成 |
| 12 | 老人ホーム川路寮開設 |
| 41. 1 | 市議会、地財法準用を議決 |
| 10 | 中央自動車道杭打式（今宮球場附近） |

| 年 月 | 事 項 |
|---------|------------------------------|
| 昭和42. 5 | 飯田勤労者福祉センター開館 |
| 9 | 飯田市議会 財政再建のため議員報酬5割削減可決 |
| 11 | りんご並木15周年記念式典を行う |
| 11 | 市制施行30周年記念式典を行う |
| 43. 4 | 飯田市・鼎町・上郷村消防組合発足 |
| 5 | りんご並木、NHK総合テレビで放映される |
| 8 | 飯田市・鼎町・上郷村下水道組合発足 |
| 10 | 市長選に清水重美氏当選 第6代目市長に |
| 44. 3 | 岡山県津山市と市制業務提携 |
| 8 | 36年災害復旧状況視察のため皇太子御夫妻来飯 |
| 11 | 飯伊地域広域市町村圏協議会発足 |
| 45. 2 | 飯田市・鼎町・上郷村上下水道組合発足 |
| 11 | 大平部落解散式 |
| 11 | 飯田卸売団地開設 |
| 46. 3 | 飯田市・鼎町・上郷町消防組合本部開設 |
| 6 | 名誉市民日夏耿之介氏死去 行年81才 |
| 6 | 市議会、生活改善推進を議決 |
| 8 | りんご並木の碑除幕式 |
| 47. 4 | 飯田文化会館竣工 |
| 10 | 市長選に松澤太郎氏当選 第7代目市長に |
| 49. 3 | 飯田市農業協同組合発足 |
| 5 | 松川ダム完成、妙琴浄水場通水式 |
| 50. 1 | 飯田中央農業協同組合発足 |
| 6 | 飯伊特別養護老人ホーム「飯田荘」完成 |
| 8 | 中央自動車道西の宮線開通（中津川一駒ヶ根間） |
| 51. 2 | 鼎町・上郷町へ合併の申し入れをする |
| 3 | 市議会議員定数を30人に削減 |
| 10 | 松尾終末処理場供用開始 |
| 11 | 飯田市公民館竣工 |
| 52. 5 | 飯田市総合運動場、勤労者体育センター完成 |
| 6 | 市民憲章制定 |
| 53. 10 | 第33回国民体育大会「やまびこ国体」開催（ラグビー会場） |
| 12 | 飯田市基本構想、基本計画策定 |
| 54. 7 | 飯伊モデル定住圏地域の指定を受ける |
| 8 | 人形劇カーニバル始まる |
| 12 | 飯田市墓地霊園、桐林に完成 |

| 年 月 | 事 項 |
|---------|---|
| 昭和55. 3 | 市営弓道場移転完成 |
| 4 | 橋北コミュニティ防災センター完成 |
| 56. 4 | 飯田地区広域消防組合発足（松川町・喬木村・大鹿村・豊丘村・高森町・清内路村・阿智村が加入） |
| 9 | 鼎町早期に合併したいとの回答 |
| 57. 3 | 飯田市武道館完成 |
| 7 | 上郷町に再度合併の要請 |
| 8 | 飯田まつりに新曲「りんごん」を踊る |
| 11 | 中央自動車道西宮線全線開通 |
| 12 | 飯田市・鼎町両議会合併協議会設置を可決 |
| 58. 1 | 第1回飯田市・鼎町合併協議会開かれる |
| 3 | 飯田市保健センター完成 |
| 9 | 台風10号大きな被害を受ける |
| 59. 2 | 座光寺小学校完成 |
| 3 | 橋南にコミュニティ防災センター完成 龍江公民館、支所完成 |
| 8 | 飯田市と鼎町との合併調印式 |
| 12 | 鼎町を合併 |
| 60. 3 | 天竜川治水基本協定の調印 |
| 4 | 旭ヶ丘中学校の開校 |
| 4 | 鼎町と合併後初の市議選 |
| 5 | 「三遠南信道路」3県レベル同盟会の設立 |
| 10 | 「美術博物館」基本構想委員会発足 |
| 61. 3 | 座光寺公民館・支所完成 |
| 8 | 人形劇アジア会議開催 |
| 10 | 飯田消防署新庁舎完成 |
| 12 | 北方地区土地区画整理事業着工 |
| 62. 1 | 飯田市立病院新副院長人事発令 |
| 2 | 飯田工業技術センター完成 |
| 3 | イタチガ沢埋立地完成 丸山地区土地区画整理事業着工 |
| 4 | 飯田コンピュータ専門学校開校 |
| 8 | 飯田市子ども議会開催 |
| 10 | 市制施行50周年記念式典 |
| 11 | りんご並木ヘニュートンのりんごの木、国道153号線バイパスへりんご植付 |
| 12 | 飯田市基本構想、基本計画策定 |

| 年 月 | 事 項 |
|-------|---|
| 昭和63. | 3 市道知久町中村線・国道153号線バイパス第1工区竣工 |
| | 6 飯田市・上郷町両議会合併協議会設置可決 |
| | 7 第1回飯田市・上郷町合併協議会開かれる 人形とけい塔ハミングパル並木通りに設置 |
| | 8 シャルルビル・メジュール市と友好都市提携 飯田人形劇場開館 世界人形劇フェスティバル開催 |
| | 10 飯田市美術博物館10月1日落成式 市長選に田中秀典氏当選 第8代目市長に |
| 平成元. | 3 桐林クリーンセンター完成 飯田運動公園県営飯田野球場完成 |
| | 6 桐林運動広場完成 |
| | 8 アフィニスセミナー開催 山梨リニア実験線、建設正式決定 三遠南信自動車道、程野・飯田東IC間のルート公表 |
| 1. | 9 伊那谷高速交通フェア開催 第2. 4土曜日の閉庁実施 |
| | 10 飯田市美術博物館開館 |
| | 11 飯田市立病院、総合病院となる |
| | 12 飯田勤労者総合福祉センター完成 |
| 2. | 3 松尾公民館・支所完成 |
| | 4 名勝天竜峡温泉利用開始 |
| | 8 新病院本体建設着工 |
| | 11 新し尿処理場着工 |
| | 12 県議定数（飯田地区）2人から3人に |
| 3. | 1 市営駐車場30分無料化 |
| | 2 テレトピアモデル都市に指定 |
| | 3 千代診療所完成 |
| | 7 飯田市斎苑完成、動物炉が新設される |
| | 9 今田人形座が仏国で開催の人形劇世界フェスに出演 |
| | 10 飯田工業高校跡地一帯が建設省「平成記念子供のもり公園」に指定される |
| | 12 飯田農協と飯田中央農協が合併「信州いいだ農協」が誕生 |
| 4. | 2 天竜川治水対策事業起工式が行われる |
| | 3 飯田市で初の「かなえデイサービスセンター」完成 国道153号線バイパス第2工区と飯田下山線開通 飯田運動公園弓道場竣工 |

| 年 月 | 事 項 |
|--------|--|
| 平成4. 3 | 飯田市有線放送局閉局 |
| 4 | オフトーク通信事業開始 かなえデイサービスセンター開所 飯田ふれあい農園開園 |
| 6 | オフトーク通信による議会本会議生中継開始 緑ヶ丘中学校プール完成 |
| 7 | 新し尿処理場「飯田竜水園」運転開始 伊賀良「育良町」誕生 |
| 9 | 新市立病院竣工式 |
| 10 | 国道153号線バイパス新市立病院まで開通 新市立病院開院（外来診療開始） |
| 12 | 飯田市・上郷町合併調印式 飯伊地域が地方拠点都市第一次指定される |
| 5. 1 | 地方拠点都市整備計画策定室設置 |
| 2 | 丸山羽場第2地区区画整理事業起工式 |
| 3 | 男女共同参画型社会をめざして「信州飯田女性プラン」（女性行動計画） まとまる 上久堅福祉企業センター竣工 |
| 4 | 市役所の業務が毎週土曜日閉庁となる |
| 6 | 飯田駅前にアイパーク竣工 |
| 7 | 上郷町を合併し、人口が106千人となる |
| 8 | 人形劇カーニバル15周年を迎える アフィニスセミナー5周年を迎える |
| 10 | 飯田のシンボル「りんご並木」が40周年を迎える 浜松市のフルーツパークに飯田のりんごの苗木が植樹される また両市の美術館で所蔵品の交換展を開催 特別養護老人ホーム第二飯田荘が開所 |
| 12 | 飯伊地方拠点都市地域基本計画が知事承認を受ける |
| 6. 2 | 三遠南信地域の振興を考える「三遠南信サミット」が浜松で開かれる 天竜川治水対策事業、龍江側で盛土工事本格着工 |
| 3 | 三遠南信自動車道「矢筈トンネル」供用開始 山本公民館、支所竣工 |
| 4 | 今田人形の館竣工 飯伊広域行政組合発足 オフトーク通信事業の放送業務を民間委託 |
| 6 | ゆとり宣言都市指定モニュメント「ゆとり創造の樹」完成 |

| 年 月 | 事 項 |
|--------|--|
| 平成6. 9 | 飯田市議長が友好都市フランスのシャルルビル・メジエール市を訪問 |
| 10 | 飯田市議会だより100号記念発行 飯田市総合運動場全面改修工事竣工 |
| 12 | 国土利用計画（飯田市計画）策定議決 |
| 7. 2 | 中心市街地から「西友」撤退 阪神大震災被災地へ支援 飯田市下水道整備計画策定 |
| 4 | 北部・竜東デイサービスセンター開所 天竜峡活性化センター「あざれあ」開館 |
| 7 | 飯田運動公園プール「アクアパーク I I D A」竣工 飯田市立病院に併設の伝染病棟隔離病舎（飯伊広域行政組合）供用開始 |
| 8 | 戦後50年平和祈念事業を開催（8～11月） |
| 10 | 「三遠南信サミット&シンポジウム i n 飯田」開催 第41回風越登山マラソン開催（7年ぶりに復活） |
| 12 | 飯田市議会12月定例会で条例定数は現行31人で議決 飯田農業振興地域整備計画を変更、都市計画の用途地域も変更 |
| 8. 2 | 天竜川治水対策事業、川路、竜丘側築堤工事起工式 市民構成劇「かざこし姫となかまたち」上演 |
| 3 | 市議会本会議で「飯田市部等設置条例の一部を改正する条例の規定について」否決 |
| 4 | 飯田市農政プラン策定 第4次基本構想・基本計画「環境文化都市をめざして」策定 飯田市工業振興マスタープラン策定 飯田やまびこマーチ10周年 |
| 5 | 矢高共同調理場竣工 |
| 6 | 人権尊重都市宣言 「飯田市部等設置条例の一部を改正する条例の規定について」可決 |
| 7 | 市役所組織機構改革が実施される（7月1日より） |
| 12 | さんとびあ飯田竣工 信州飯田ふるさと大使館開館 21' いいだ環境プラン策定 |
| 9. 2 | ハートヒル川路竣工 |
| 4 | 市制施行60周年 |
| 5 | 市議会改選 |
| 5 | 市誌編さん委員会誕生 |
| 7 | 太陽光発電に無利子融資 |

| 年 月 | 事 項 |
|---------|---|
| 平成9. 7 | エコタウン地域に指定される |
| 8 | 全国夏期巡回ラジオ体操会 |
| 10 | 世界地方都市十字路会議 |
| 12 | J Aみなみ信州発足 |
| 平成10. 2 | 市民バス運行開始 |
| 2 | 長野オリンピック冬季競技大会開催 |
| 3 | 長野パラリンピック冬季競技大会開催、飯田市より2人参加 |
| 3 | 議員の各種審議会報酬辞退を全会一致で可決 |
| 4 | 天竜川治水対策・龍江側工事完成 |
| 6 | 飯田市役所ISO14001を取得する方針決定 |
| | 第1回飯田市藤本四八写真文化賞 (芳賀日出男さん、宮島功さん、南島孝さん受賞) |
| 8 | 第20回人形劇カーニバル (20回を記念して世界人形劇フェステバル開催) |
| | 第10回アフィニス夏の音楽祭ロストロ・ポーヰチ氏を迎え開催 |
| 平成11. 3 | 市議会「政策調査研究部会」報告(農業振興・交通施策・観光施策3部会の平成9年・10年度の2カ年の研究報告) |
| | 病院問題特別委員会審査終了 |
| | 飯田工業技術研修施設・EMCセンターオープン |
| | りんご並木リニューアル |
| 4 | 南信州広域連合発足 |
| 7 | よこね田んぼ「日本の棚田100選」に選ばれる |
| 12 | ごみ処理費用負担制度開始 |
| 平成12. 1 | I S O 14001認証取得 |
| 3 | 市議会「政策調査研究部会」報告(地方分権・I S O・工業振興3部会の平成12年度の1カ年の研究報告) |
| 4 | 介護保険制度がスタート |
| 7 | 丸山羽場地区区画整理事業第1地区完成 |
| 10 | 三遠南信パテントメッセ・EMCシンポジウムと工業技術交流相次ぐ |
| 平成13. 1 | 観測開始以来の大雪に見舞われ市民生活に大きな影響が出る |
| 3 | 政務調査費の交付に関する条例の制定 |
| 4 | 市議会改選 |
| 7 | 橋南第1地区再開発ビル「トップヒルズ本町」完成 |
| 8 | 地域交流センター「りんご庁舎」オープン |
| 10 | いいだFM開局 |
| 11 | りんご並木「かおり風景100選」に選ばれる |

| 年 月 | 事 項 |
|---------|--|
| 平成14. 4 | 平成記念かざこし子どもの森公園開園 |
| 9 | 天竜川治水対策事業完成 |
| 10 | 菱田春草作「菊慈童」を購入 |
| 平成15. 1 | ISO14001自己適合宣言 |
| 3 | 市議会「在り方研究会」「合併問題調査研究会」報告(半年間の研究報告) 「環境首都コンテスト」人口規模別第1位、総合第4位 |
| 5 | 南信州グリーンツーリズム特区取得 |
| 8 | 飯田市・喬木村・上村・南信濃村の4市村、任意合併協議会設立 |
| 10 | りんご並木50周年記念事業 |
| 12 | 飯田市歴史研究所オープン |
| 平成16. 1 | 橋南第2地区市街地再開発ビル着工 |
| 2 | 第1回ほんもの体験フォーラムin南信州の開催 |
| 3 | オーライ!ニッポン大賞グランプリ内閣総理大臣賞受賞 |
| 3 | 飯田お練りまつり盛大に開催 |
| 5 | 「わがまちの“憲法”を考える市民会議」の発足 |
| 5 | 第12回環境自治体会議「いいだ会議」開催 |
| 6 | 自治体環境グランプリ環境大臣賞受賞 |
| 7 | 市立病院が地域医療支援病院として県から承認を受ける |
| 10 | 飯田市長選で、牧野光朗新市長誕生 |
| 平成17. 4 | 地域経済活性化プログラム2005を策定、農業課と農業委員会の事務所移転 |
| 6 | 国際自転車レース「第9回ツアー・オブ・ジャパン南信州ステージ」を開催 |
| 7 | 高校統廃合問題に関連し、鼎公民館で「高校改革シンポジウム」を開催 |
| 10 | 上村及び南信濃村と合併 |
| 10 | 日独地域国際化サミットを飯田市で開催 |
| 平成18. 4 | 飯田やまびこマーチ20回記念大会 結いターンキャリアデザイン室を設置 |
| 6 | 一般廃棄物最終処分場(千代地区)の建設工事開始 |
| 9 | 自治基本条例の制定 |
| 10 | 橋南第二地区市街地再開発ビル トップヒルズ第二オープン |
| 平成19. 3 | 第5次基本構想基本計画と環境文化都市宣言を可決 川本喜八郎人形美術館オープン 市制70周年記念式典を開催 |
| 4 | 自治基本条例、地域自治区、第5次基本構想基本計画、総合的土地利用計画、行財政改革大綱など地域の自立に向けた新しい枠組みスタート 全国さくらシンポジウムin飯田開催 |
| 11 | 南信濃地域交流センター完成 |

| 年 月 | 事 項 |
|-------|---|
| 平成20. | <p>4 三遠南信自動車道飯喬道路 1 工区（飯田山本IC～天竜峡IC）が供用開始</p> <p>6 天龍峡再生元年として天龍峡百年再生館オープン</p> <p>8 北京オリンピックに、飯田市出身初の選手として矢澤一輝選手がカヌースラローム競技に出場</p> <p>人形劇のまち30年を記念して「世界人形劇フェスティバル・いいだ人形劇フェスタ2008」を開催</p> <p>アフィニス夏の音楽祭が20回をもって終了</p> <p>10 飯田市・南信州広域連合・みなみ信州農協が共同で運営するマーケティングショップ「南信州ファームプロダクツマーケット」を名古屋市内にオープン、地元の旬の農産物の販売や地域への産地ツアーを企画</p> |
| 平成21. | <p>1 飯田市が内閣府から環境モデル都市に選出</p> <p>3 グリーンバレー千代（最終処分場）竣工</p> <p>4 市内の商工会議所、商工会が統合され新しい飯田商工会議所が誕生</p> <p>5 オーケストラと友に音楽祭開催</p> <p>7 飯田下伊那市町村による定住自立圏形成協定書の合同調印式</p> <p>8 市企画部内に「リニア推進対策室」が設置される</p> <p>10 飯田北部地区の農免道路が開通（上郷丹保地区～高森町下市田地区）</p> <p>低炭素社会実現に向け「レンタサイクル事業」開始</p> <p>11 新型インフルエンザが流行</p> |
| 平成22. | <p>2 メガソーラーいいだ太陽光発電所 飯田市と中部電力(株)で共同建設することについて協定を締結</p> <p>3 飯田お練りまつり 約32万人 42団体が参加</p> <p>4 リニア中央新幹線推進本部設置（市役所内）</p> <p>5 介護保健施設ゆうゆう 竣工</p> <p>6 日本の環境首都コンテスト2009（第9回）で飯田市が総合2位（昨年3位）</p> <p>7 集中豪雨による土砂災害（南信濃で昭和58年に次ぐ観測史上2番目となる223mmの降水量 土砂崩れや建物の全壊、床下浸水などの被害）</p> <p>9 天龍峡盆踊りが25年ぶりに復活</p> <p>10 定住自立圏全国市長村長サミット2010in南信州が開催</p> |
| 平成23. | <p>1 メガソーラーいいだ太陽光発電所 運用開始</p> <p>2 飯田大学連携会議「学輪IIDA」の設立</p> <p>3 東日本大震災発生。避難者の受け入れ</p> <p>3 飯田市美術博物館デジタルプラネタリウムを導入</p> <p>5 国土交通大臣が全国新幹線鉄道整備法に基づき、リニア中央新幹線の整備計画を決定</p> <p>6 三六災害から50年。三六災害50年シンポジウム開催</p> |

| 年 月 | 事 項 |
|------------------------------|--|
| 平成23. 6 9 9 12 | 日本の環境首都コンテストで「明日の環境首都賞」を受賞 フランス シャルルヴィル・メジエール市に「飯田通り」誕生 菱田春草没後百年 飯田市美術博物館で「没後百年記念特別展」開催 第5次飯田市基本構想後期基本計画策定 |
| 平成24. 4 5 7 8 11 | 飯田市立動物園リニューアルオープン（ちびっこランド） 8月にはペンギン舎、10月にはコンドル舎がリニューアル エコハウスがJIA環境建築賞住宅部門で優秀賞を受賞 第10回スローライフまちづくり全国都市会議（スローライフサミット）開催 ロンドンオリンピックに、飯田市出身の矢澤一輝選手がカヌースラローム男子カヤックシングルで、北京大会に続き出場 第7回マニフェスト大賞地方議会部門最優秀成果賞受賞 |
| 平成25. 3 4 4 8 9 | 東和町交差点を周辺の改良工事にあわせ、全国で初めて信号機付交差点からラウンドアバウト方式に変更して整備 「地域環境権」をうたう飯田市再生可能エネルギーの導入による持続可能な地域づくりに関する条例が施行 市役所新庁舎建設工事着工 人形劇フェスタ15周年を記念しアジア人形劇フェスティバルを開催 リニア中央新幹線のルート及び飯田市内への駅設置の決定が発表される |

飯田市自治基本条例

平成18年9月21日条例第40号

一部改正：平成23年11月30日条例第25号

一部改正：平成25年3月25日条例第2号

目次

前文

第1章 総則(第1条—第3条)

第2章 自治の基本原則(第4条—第7条)

第3章 市民等の役割(第8条—第10条)

第4章 地域自治(第11条—第15条)

第5章 市政運営(第16条—第21条)

第6章 市議会の役割(第22条—第27条)

第7章 市の執行機関の役割(第28条—第34条)

第8章 住民投票(第35条)

第9章 条例の見直し(第36条)

附則

わたくしたちの住む飯田市は、美しい自然に恵まれ、地域の風土に根付いた伝統や文化に支えられた人情豊かなまちとして知られ、伊那谷の中心都市として躍進しています。

わたくしたちは、これまで互いに助け合い協力し、特色のある地域活動やまちづくりを実践してきました。

わたくしたちは、分権型社会や少子高齢社会の到来により、社会構造が大きく変化する中で、まちづくりに進んで参加する「ムトス」の精神を、次の時代へ確実に引き継がなくてはなりません。

わたくしたちは、飯田市市民憲章にうたわれた市民としての心構えと理念を尊重し、協働して、市民が主体の住みよいまちづくりを推進するため、ここに、新たな自治の仕組みを定める飯田市自治基本条例を制定します。

第1章 総則

(目的)

第1条 この条例は、本市の自治の基本的な原則及びまちづくりに関する市民、市議会及び市の執行機関の役割を明らかにするとともに、市政運営についての基本的な指針を定めることにより、市民が主体のまちづくりを協働して推進することを目的とします。

(条例の位置付け)

第2条 この条例は、自治及び市政に関する基本的な原則を定めた最高規範であり、市民及び市は、この条例を誠実に遵守するものとします。

2 市は、条例、規則等を解釈し、又は制定、改廃する場合には、この条例の趣旨を尊重し、この条例に定める事項との整合性を図ります。

3 市は、基本構想等の計画の策定、政策の立案及び実施に当たっては、この条例の趣旨を尊重し、この条例に定める事項との整合性を図ります。

(用語の定義)

第3条 この条例において使用する用語の意義は、次のとおりとします。

- (1) 市民 市内に住所を有する人(以下「住民」といいます。)、市内で働き、若しくは学ぶ人又は市内において活動する人若しくは団体をいいます。
- (2) 市民組織 市民により自主的に形成され、まちづくりのために、互いに協力し多様な活動を行う組織をいいます。
- (3) 事業者 市内で、事業を営む個人及び法人その他の団体をいいます。
- (4) 市 市議会及び市の執行機関で構成する地方公共団体をいいます。
- (5) 市の執行機関 市長、教育委員会、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、農業委員会及び固定資産評価審査委員会をいいます。
- (6) まちづくり 「ムトス」の言葉に象徴される、まちを活気のある明るく住みよくするための事業や活動を総称します。
- (7) 自治 市民が市政に参加し、その意思と責任に基づき市政が行われることのほか、地域の公共的活動を自ら担い、主体的にまちづくりを推進することをいいます。
- (8) 協働 まちづくりのために、市民と市とが情報を共有し、それぞれの役割を担いながら対等の立場で協力し、共に考え行動することをいいます。
- (9) 基本構想 本市における総合的かつ計画的な行政の運営を図るための基本となる考え方をいいます。

第2章 自治の基本原則

(自治の基本原則)

第4条 市民と市とは、この章に掲げる自治の原則に基づき、協働して自治を推進するものとします。

(市民主体の原則)

第5条 まちづくりは、市民一人ひとりが主体となり、市民相互及び市と協調することにより推進します。

2 市民は、地域社会の一員として尊重され、その個性や能力を十分発揮することができます。

(情報共有の原則)

第6条 まちづくりは、市政についての情報が市民に公開され、市民が市政について意見を提出し、その情報や意見を市民と市とが共有することにより推進します。

(参加協働の原則)

第7条 まちづくりは、市民に市政への多様な参加の場と機会とが保障され、市民と市とが適切に役割分担し、協働することにより推進します。

第3章 市民等の役割

(市民の権利)

第8条 市民は、まちづくりの主体として、まちづくりに参加する権利を有します。

2 市民は、市政に関する計画や政策の立案段階から参加する権利を有し、意見を述べるすることができます。

- 3 市民は、市政についての情報を知る権利を有し、市に対し市が保有する情報の公開を求めることができます。

(市民の役割)

第9条 市民は、まちづくりの主体として、市と協働し、地域社会の発展に寄与するよう努めます。

- 2 市民は、互いの活動を尊重し、自らの発言と行動に責任を持つものとします。

(事業者の役割)

第10条 事業者は、地域社会の一員として、地域社会との調和を図るとともに、従業員の行う地域活動にも配慮し、まちづくりに寄与するものとします。

第4章 地域自治

(市民組織の尊重)

第11条 市は、市民組織の自主性及び自立性を尊重し、市民組織が活動するために必要な支援を行います。

- 2 市民は、市民組織がまちづくり推進の主要な担い手であることを認識し、市民組織を尊重し、守り育てるものとします。

(地域自治の推進)

第12条 市は、地域の特性と自主性が活かされた、個性豊かで魅力ある地域のまちづくりを推進するため、自治の基本原則に基づき、分権によるまちづくりの仕組みを目指します。

(地域自治区)

第13条 市は、市民に身近な事務事業を市民の意見を反映させて処理するとともに、地域の自治を促進するため、法律に基づく地域自治区を設けます。

- 2 地域自治区に置かれる地域協議会は、地域の住民により構成され、地域の意見を調整し、協働によるまちづくりを推進します。

(まちづくりのための委員会等)

第14条 市は、市民組織が地域のまちづくりに取り組むため組織する委員会等の自主的及び自立的な運営を尊重します。

(自治活動組織)

第15条 市民は、地域社会の一員として、自治活動組織(地域市民により形成され、まちづくりに取り組む市民組織をいいます。)の役割について理解を深め、協力するとともに、自治活動組織への加入に努めます。

- 2 市民は、可能な範囲内で、自治活動組織の活動に参加し、地域社会において個性や意欲を発揮することができるものとします。
- 3 自治活動組織は、地域市民の加入や参加が促進されるために必要な環境づくりに努めます。

第5章 市政運営

(協働して行う市政運営)

第16条 市は、市政に関する計画や政策の立案段階から市民の参加を促進し、市民と協働して市政運営を行います。

2 市は、市民の多様な参加の機会を整備し、協働のまちづくりを推進し、自治の拡充を図ります。

(市民意見の公募)

第17条 市は、別に定めるところにより、重要な計画及び政策の策定又は変更について事前に案を公表し、市民の意見を求めます。

2 市は、市民から提出された意見を尊重し、意見についての考え方を公表します。

(附属機関の委員の任命)

第18条 市の執行機関は、特定事項について審議又は調査等を行う附属機関に、市民の多様な意見が反映されるように委員を任命します。

(情報の公開)

第19条 市は、公正で開かれた市政の実現を図るため、市政についての情報の公開に関する総合的な施策に基づき、積極的に情報を公開します。

2 市は、市民の必要とする情報について、適切かつ速やかな提供に努めます。

(個人情報の保護)

第20条 市は、市民の個人情報に関する権利を保障するとともに、個人情報を適正に管理します。

(基本構想等)

第21条 市は、まちづくりの理念に基づき、市議会の議決を経て基本構想を定め、総合的かつ計画的な市政運営に努めます。

2 市は、基本構想、基本計画その他市の施策の基本となる計画を策定するに当たっては、市民参加の機会を保障します。

第6章 市議会の役割

(市議会の責務)

第22条 市議会は、市民の代表機関として、市という団体の意思決定機関であり、法律若しくはこれに基づく政令又は条例の定めるところにより議決の権限を行使し、市民の意思が的確に反映されるよう活動します。

2 市議会は、市の執行機関の活動を監視、評価することにより、適正な行政運営の確保に努めます。

3 市議会は、政策の立案、提言の内容の充実を図るための調査研究活動に努めます。

4 市議会は、合議体として論点、課題等について議論を深めるため、議員相互間の自由な討議を重んじて活動します。

(開かれた議会運営)

第23条 市議会は、市議会が保有する情報を公開するとともに、会議及び委員会等を公開し、並びに議会活動について市民に説明することにより、市民との情報の共有に努めます。

- 2 市議会は、市民の意見を聞くため議会活動への市民参加を推進し、市民に開かれた議会運営に努めます。
- 3 市議会は、議会報告会の開催等を通じ、前2項に規定することの実現に努めます。

(市議会議長の責務)

- 第24条 市議会議長は、市議会を代表し、公正中立に職務を遂行するとともに、円滑かつ効率的な議会運営を図るよう努めます。
- 2 市議会議長は、市議会に関する事務を統一的に処理するため、議会事務局の職員を適切に指揮監督し、職員の能力の向上を図るよう努めます。

(市議会議員の責務)

- 第25条 市議会議員は、市民の意向把握や情報収集に努め、市民全体の利益を優先して政策提言を行います。
- 2 市議会議員は、政治倫理の確立に努め、公正かつ誠実に責務を遂行し、市民の負託にこたえます。
 - 3 市議会議員は、市議会の役割及び責務を自覚し、その誠実な遂行のため自己研鑽に努めます。

(政策の調査、審議のための機関)

- 第26条 市議会は、政策の調査、立案のために必要な専門的事項に係る調査、審議を、学識経験を有する者等に求めることができます。
- 2 市議会は、前項の学識経験を有する者等の指定に当たっては、市民の多様な意見が反映されるようにします。

(市議会事務局職員の責務)

- 第27条 市議会事務局職員は、市議会の持つ権能が十分発揮されるよう、全力をあげて市議会の活動を補佐します。
- 2 市議会事務局職員は、職務の遂行に必要な知識と能力の向上に努めます。

第7章 市の執行機関の役割

(市長の責務)

- 第28条 市長は、市の代表者として公正かつ誠実に市政を運営します。
- 2 市長は、自治の基本原則に基づき、市の計画及び政策の策定、実施、評価等を行います。

(市の執行機関の責務)

- 第29条 市の執行機関は、条例、予算その他の議会の議決に基づく事務及び法令、規則その他の規程に基づく事務を適正に管理、執行します。

(市の執行機関の組織運営)

- 第30条 市の執行機関は、行政組織について効率的かつ機能的なものとするとともに、相互の連携を図り、最小の経費で最大の行政効果を上げるよう運営します。
- 2 市の執行機関は、職員を適切に指揮監督し、職員の能力の向上を図るよう努めます。

(説明責任)

第31条 市の執行機関は、行政運営の透明性を高めるため、市政について、市民に分かりやすく説明する責任を果たします。

2 市長その他の執行機関は、市議会に対して、市政に関する意思決定の過程及び行政運営の状況を随時報告するものとします。

(行政評価)

第32条 市の執行機関は、市の施策や事務事業の執行状況を、基本構想等に基づき検証し、継続的な見直しを行い、効果的に執行します。

2 市の執行機関は、施策や事務事業の達成状況を公表し、市民から理解を得られる行政運営を進めます。

(財政状況の公表)

第33条 市長は、市の財源の確保とその効率的かつ効果的な運用により、財政の健全性に努めます。

2 市長は、財政状況を市民にわかりやすく公表するように努めます。

(市の執行機関の職員の責務)

第34条 市の執行機関の職員は、全体の奉仕者として、公平、公正かつ誠実に、全力をあげて職務を遂行します。

2 市の執行機関の職員は、職務の遂行に必要な知識と能力の向上に努めます。

第8章 住民投票

(住民投票)

第35条 市は、市政の特に重要な事項について、直接住民の意思を確認する必要があるときは、市議会の議決を経て住民投票を実施することができます。

2 市は、住民投票の結果を尊重します。

3 住民投票の実施に関し必要な事項は、その都度条例で定めます。

第9章 条例の見直し

(条例の見直し)

第36条 市は、社会の変化に対応して、本条例が第1条の目的を達成するために必要があるときは、条例の見直しを行います。

附 則

この条例は、平成19年4月1日から施行します。

附 則(平成23年11月30日条例第25号)

この条例は、公布の日から施行する。

附 則(平成25年3月25日条例第2号)

この条例は、公布の日から施行する。

飯田市市歌

堀内 敬三 作曲
宮脇 至 作詞
西條 八十 補

一、山はアルプス赤石の

峰にかがやくしらゆきを

高き心のすがたとあおぎ

かける理想よ我らが飯田

二、谷は伊那谷天竜の

あぐるしぶきにたつ虹を

清き命の泉となして

希望もえたつ我らが飯田

三、南信濃に伝統の

文化花咲く美し町

協す力にいぶきも新た

のびよ久遠に我らが飯田

飯田市歌

犬塚 利国 作詞
飯田 景広 編曲

一、山紫に 水明らかに

生業栄え 人皆和して

希望の光 遍く充てり

げに飯田市の 輝く天地

二、南信濃の 陽は照り映えて

四季行楽に 名を負うところ

観光都市の 誉れも添ひて

げに飯田市の 輝く前途

三、落葉に残す 千古の偉業

烈婦偲ぶ 不断の煙り

大儒の松風 今なお高し

げに飯田市の 輝く誇り

四、ああ天恵に 幸負う我等

協同進取の 旗なびかせて

目指すは彼方 久遠の理想

げに飯田市の 輝く使命

飯田市議会要覧 平成26年度版

発行日 平成26年9月発行

編集・発行 飯田市議会事務局

〒 395-8501

長野県飯田市大久保町2534番地

TEL 0265-22-4523 (直通) 0265-22-4511 (内線2611)

FAX 0265-53-8821

e-mail igikai@city.iida.nagano.jp

URL <http://www.city.iida.lg.jp/>